

# 協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書



平成 25 年 10 月  
(平成 25 年 7 月実施)

豊 島 区



# 目次

## I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	1
5 報告書を見る際の注意事項	1
6 回答者の基本属性	2

## II 調査結果

<b>第1章 豊島区の印象について</b>	<b>7</b>
1-① 住み心地〔問1〕	7
1-② 住み心地の変化〔問1-2〕	10
1-③ 住み心地の変化の理由〔問1-3〕	13
2 定住意向〔問2〕	16
3 地域への愛着〔問3〕	19
<b>第2章 地域の生活環境について</b>	<b>23</b>
〔設問設定の考え方〕	23
1 目指すべき生活環境に対する「最近の評価」〔問4〕	26
① 福祉	26
② 健康	27
③ 子育て	28
④ 教育	29
⑤ コミュニティ・協働	30
⑥ 環境	31
⑦ 都市再生	32
⑧ 安全・安心	33
⑨ 観光・産業	34
⑩ 文化	35
● グループ全体を通して見た「最近の評価」	36
2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問4〕	37
① 福祉	37
② 健康	38
③ 子育て	39
④ 教育	40
⑤ コミュニティ・協働	41
⑥ 環境	42
⑦ 都市再生	43
⑧ 安全・安心	44
⑨ 観光・産業	45

⑩ 文化 .....	46
3 「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問4〕 .....	47
① 福祉 .....	48
② 健康 .....	50
③ 子育て .....	52
④ 教育 .....	54
⑤ コミュニティ・協働 .....	56
⑥ 環境 .....	58
⑦ 都市再生 .....	60
⑧ 安全・安心 .....	62
⑨ 観光・産業 .....	64
⑩ 文化 .....	66
4 総合分析の経年比較〔問4〕 .....	68
① 福祉 .....	68
② 健康 .....	69
③ 子育て .....	70
④ 教育 .....	71
⑤ コミュニティ・協働 .....	72
⑥ 環境 .....	73
⑦ 都市再生 .....	74
⑧ 安全・安心 .....	75
⑨ 観光・産業 .....	76
⑩ 文化 .....	77
<b>第3章 区の情報・窓口サービス・政策等について .....</b>	<b>79</b>
1 区の情報を知るための手段〔問5〕 .....	79
2 土・日曜日の開庁、夜間窓口の利用しやすさ〔問6〕 .....	81
3-① 土・日曜日、夜間窓口の利用したいサービス〔問7〕 .....	83
3-② 利用したい手続き・相談〔問7-1〕 .....	86
4 職員対応について注意すべき点〔問8〕 .....	89
5 過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故〔問9〕 .....	92
6 池袋駅周辺の体感治安〔問10〕 .....	94
7 交通事故発生場所等の認知度〔問11〕 .....	96
8 地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問12〕 .....	97
9 防災訓練や避難訓練への参加〔問13〕 .....	99
10 「救援センター」の認知度〔問14〕 .....	103
11 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動〔問15〕 .....	107
12-① 高齢者虐待に対する区民の理解度〔問16〕 .....	109
12-② 児童虐待に対する区民の理解度〔問16〕 .....	111
12-③ DV（ドメスティック・バイオレンス）に対する区民の理解度〔問16〕 ..	113
13 区政全般への要望〔問17〕 .....	115
● 総合分析 .....	122
<b>Ⅲ 調査票 .....</b>	<b>123</b>

# I. 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体との協働を基本とした新しい区政運営を実現するため、区民の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等についての意見や要望を把握し、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数：区民 5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成25年7月4日（木）～7月26日（金）

## 3 調査内容

- 豊島区の印象について
- 地域の生活環境について
- 区の情報・窓口サービス・政策等について
- 調査対象者の基本属性について

## 4 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,757件	35.1%

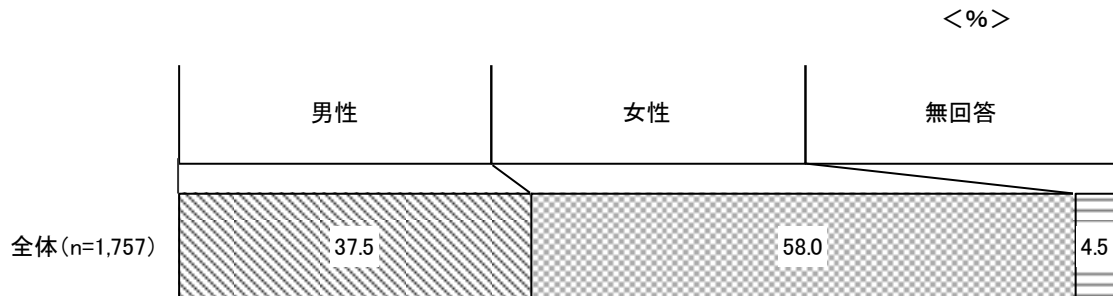
## 5 報告書を見る際の注意事項

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- 図表中の「-」は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。
- 複数選択ができる設問では、設問当該者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。なお、その場合には、グラフ中に「※2つ選択」や「※あてはまるものすべて選択」などと記載している。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。

## 6 回答者の基本属性

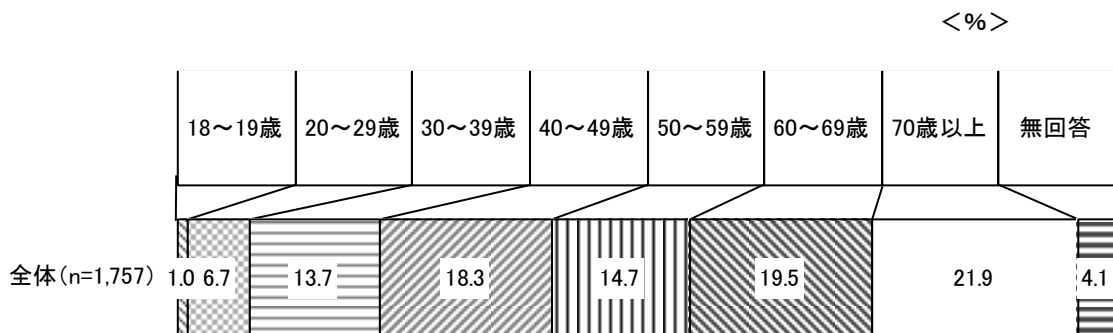
### (1) 性別

- 「女性」が6割弱、「男性」が4割弱である。



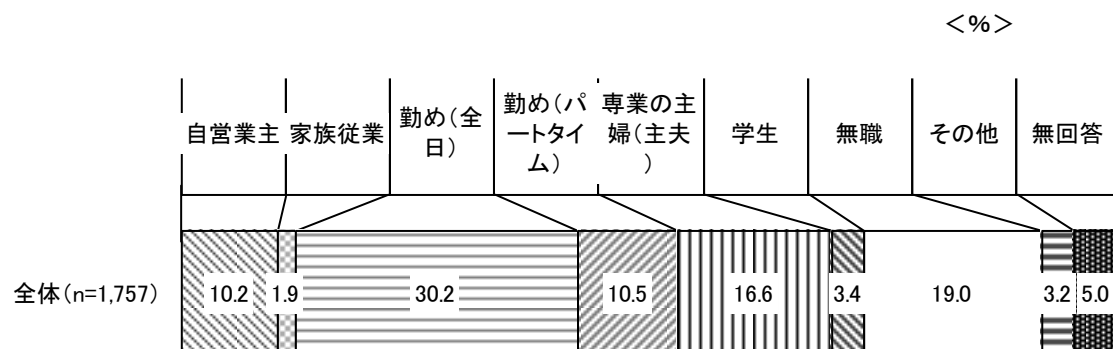
### (2) 年齢

- 「70歳以上」(21.9%)、「60～69歳」(19.5%)、「40～49歳」(18.3%)がそれぞれ約2割となっている。



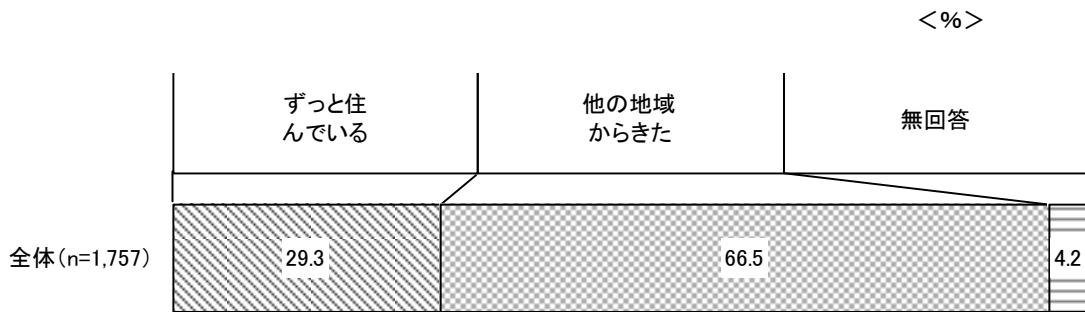
### (3) 職業

- 「勤め(全日)」(30.2%)が約3割と最も高く、次いで「無職」(19.0%)、「専業主婦(主夫)」(16.6%)となっている。



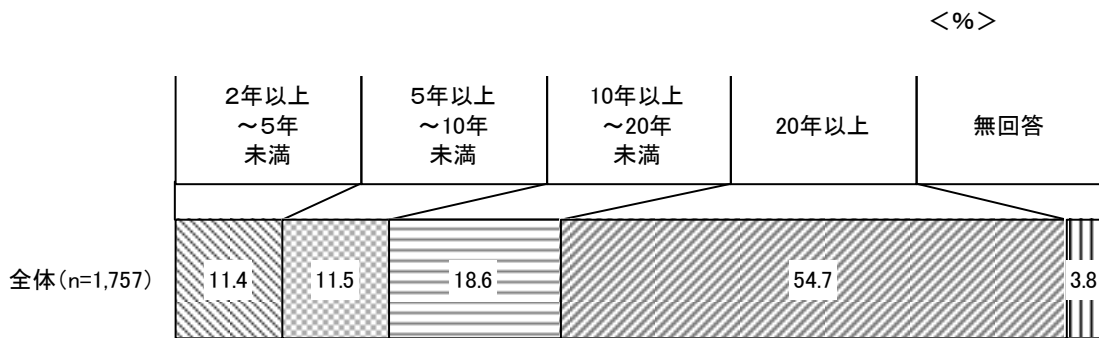
(4) 居住歴

- 「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」(29.3%) は約3割であり、「他の地域からきた」(66.5%) は6割台半ばとなっている。



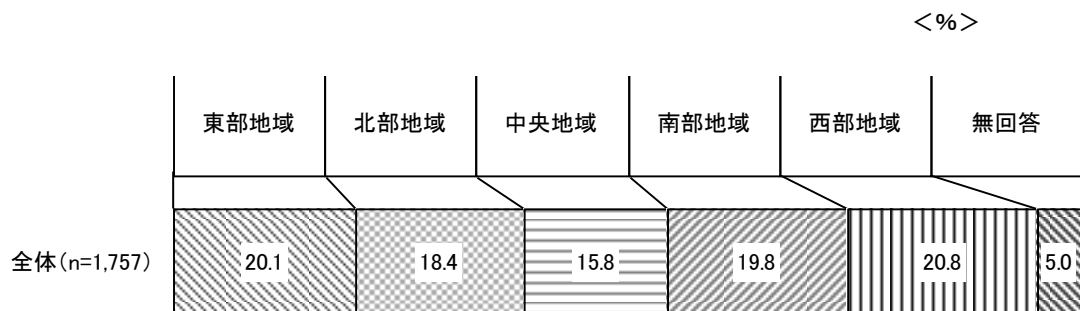
(5) 居住年数

- 「20年以上」(54.7%) が5割台半ばと最も高く、次いで「10年以上～20年未満」(18.6%) となっている。「5年以上～10年未満」と「2年以上～5年未満」はほぼ同数となっている。



(6) 居住地域

- 5地区区分では、東部・北部・南部・西部のそれぞれの地域が約2割、中央地域が1割台半ばとなっている。

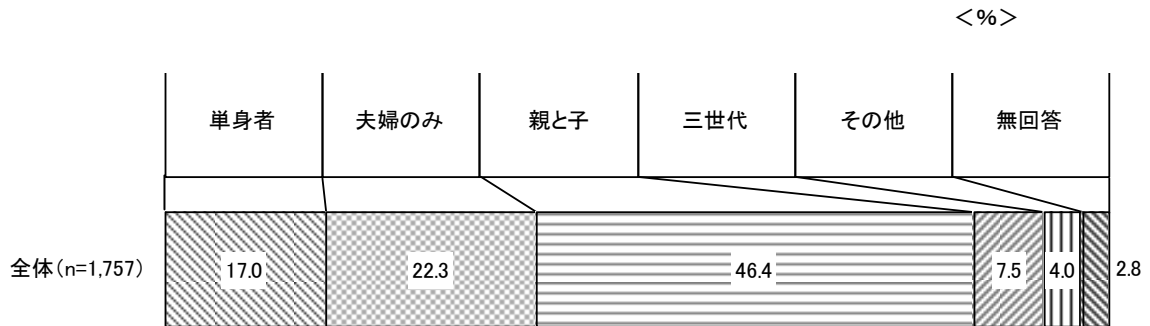


注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巢鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巢鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

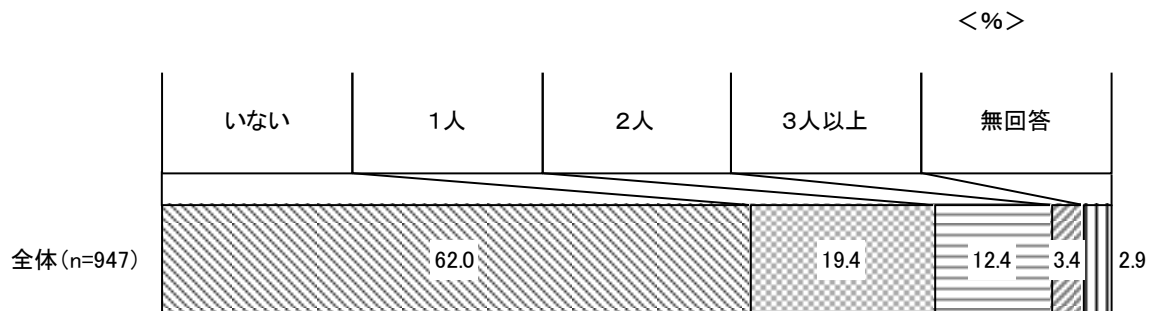
(7) 世帯構成

- 「親と子」の世帯構成が4割台半ばと最も高く、次いで「夫婦のみ」が2割強、「単身者」が2割弱と続いている。



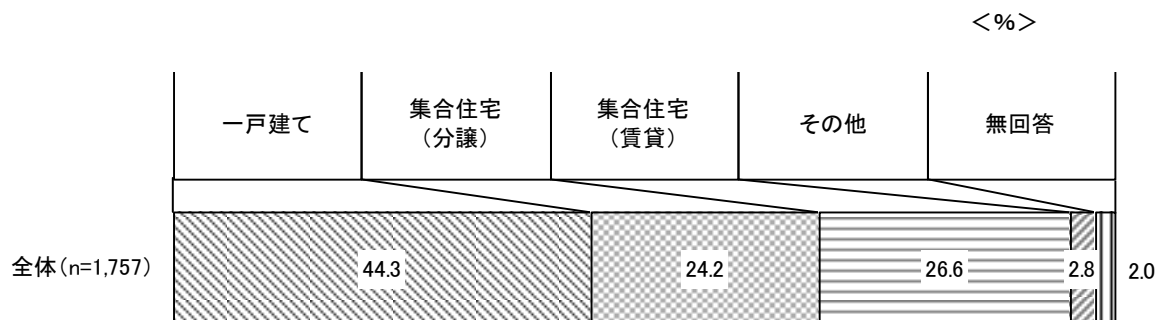
(8) 中学生以下の子どもの有無

- 「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」が6割を超えている。
- 中学生以下の子どもの数は、「1人」が最も高く、「2人」、「3人以上」の順となっている。



(9) 住まい形態

- 「一戸建て」(44.3%) が4割台半ばと最も高く、次いで「集合住宅(賃貸)」(26.6%)、「集合住宅(分譲)」(24.2%) がそれぞれ2割台半ばとなっている。





## 《今回調査と前回（平成22年度）調査の回答者の基本属性比較》

(%)

		平成25年度 調査(今回) (n=1,757)	平成22年度 調査(前回) (n=2,040)
①性別	男性	37.5	38.5
	女性	58.0	59.4
	無回答	4.5	2.1
②年齢	18～19歳	1.0	0.8
	20～29歳	6.7	7.1
	30～39歳	13.7	15.0
	40～49歳	18.3	16.0
	50～59歳	14.7	15.6
	60～69歳	19.5	20.7
	70歳以上	21.9	22.5
	無回答	4.1	2.3
③職業	自営業主	10.2	10.0
	家族従業	1.9	3.1
	勤め(全日)	30.2	30.6
	勤め(パートタイム)	10.5	10.5
	専業の主婦(主夫)	16.6	19.0
	学 生	3.4	2.5
	無 職	19.0	20.4
	その他	3.2	1.1
無回答	5.0	2.7	
④居住歴	ずっと居住	29.3	26.4
	他の地域から	66.5	71.3
	無回答	4.2	2.4
⑤居住年数	2年以上～5年未満	11.4	11.8
	5年以上～10年未満	11.5	11.9
	10年以上～20年未満	18.6	16.7
	20年以上	54.7	57.5
	無回答	3.8	2.2
⑥居住地域	東部地域	20.1	19.5
	北部地域	18.4	19.9
	中央地域	15.8	18.3
	南部地域	19.8	20.0
	西部地域	20.8	20.2
	無回答	5.0	2.0
⑦世帯構成	単身者	17.0	19.7
	夫婦のみ	22.3	23.3
	親と子	46.4	42.6
	三世帯	7.5	10.0
	その他	4.0	2.2
	無回答	2.8	2.2
⑧中学生以下の 子どもの有無	いない	62.0	62.8
	1人	19.4	18.2
	2人	12.4	12.6
	3人以上	3.4	4.2
	無回答	2.9	2.1
⑨住まい形態	一戸建て	44.3	46.8
	集合住宅(分譲)	24.2	21.1
	集合住宅(賃貸)	26.6	26.1
	その他	2.8	3.3
	無回答	2.0	2.6

注) 平成22年度調査は、平成22年6月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。



## Ⅱ. 調査結果

### 第1章

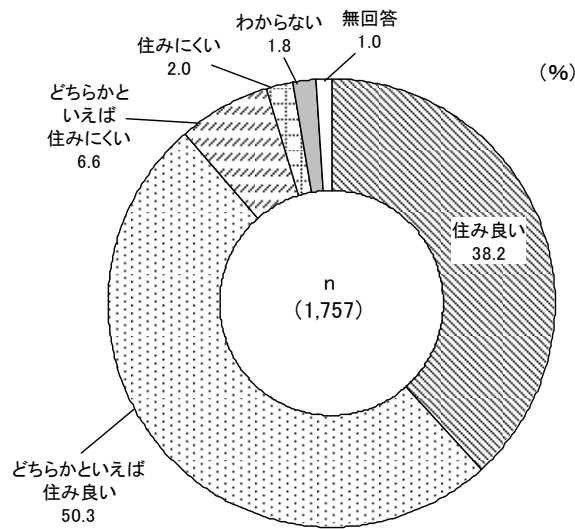
#### 豊島区の印象について



# 第1章 豊島区の印象について

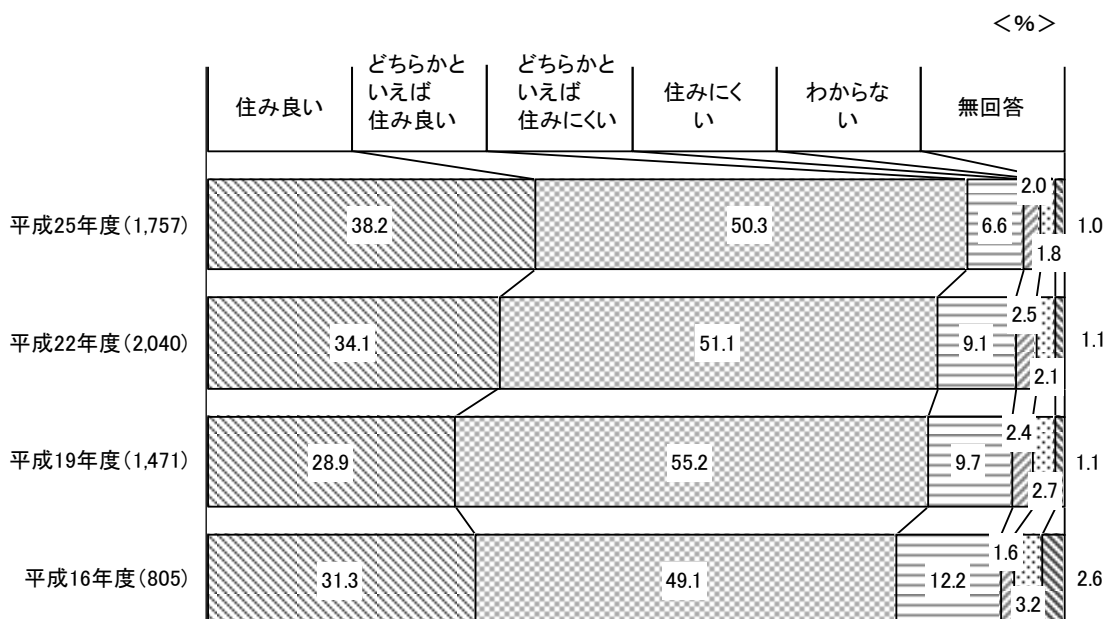
## 1-① 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「どちらかといえば住み良い」(50.3%)が最も高く、「住み良い」(38.2%)と合わせた“住み良い”(88.5%)としてみると、約9割となっている。
- 「どちらかといえば住みにくい」(6.6%)と「住みにくい」(2.0%)を合わせた“住みにくい”(8.6%)としてみると、約1割となっている。



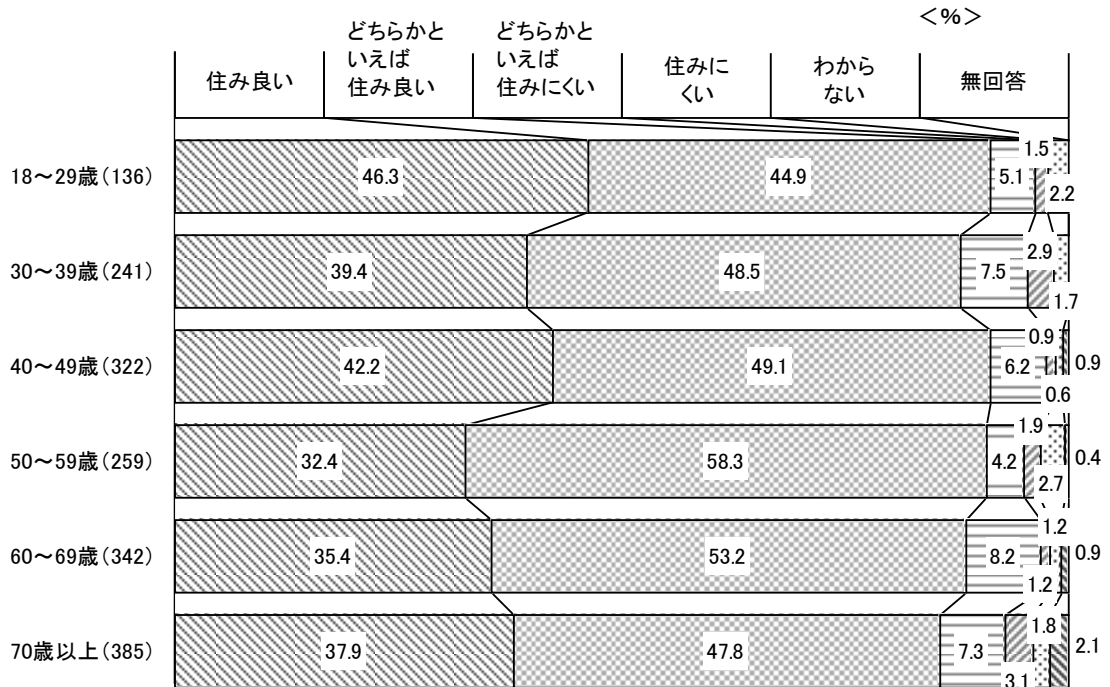
### 【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み良い”は平成16年度調査から8.1ポイント高くなっている。



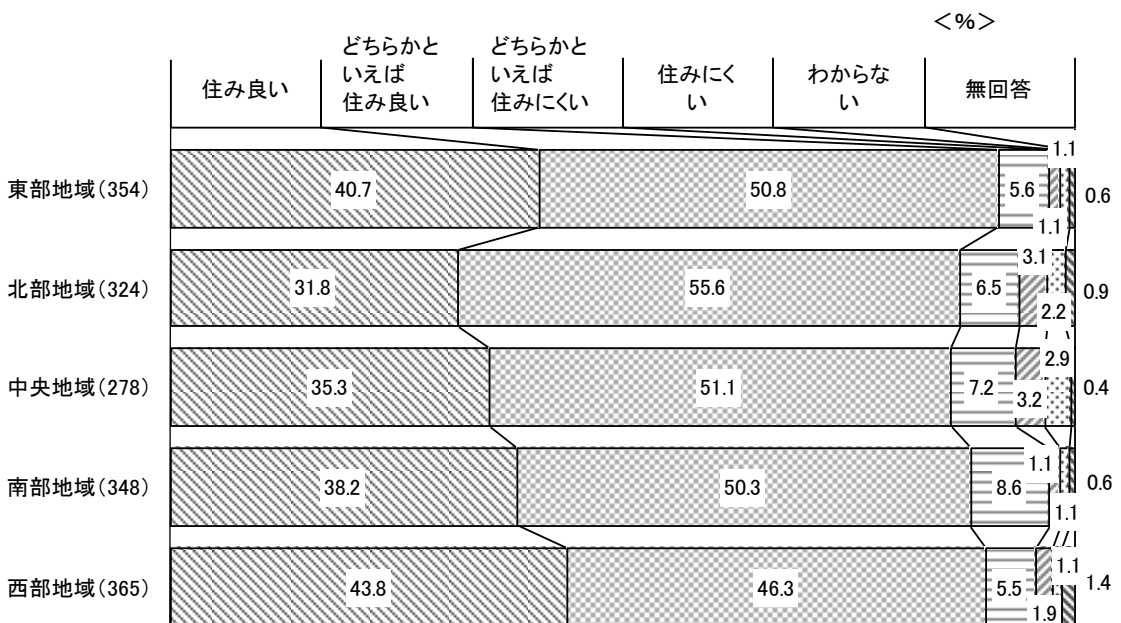
**【年齢別】**

- “住み良い” は40～49歳（91.3%）、18～29歳（91.2%）、50～59歳（90.7%）で9割を超えている。
- “住みにくい” は30～39歳（10.4%）と70歳以上（10.4%）で1割を超えている。



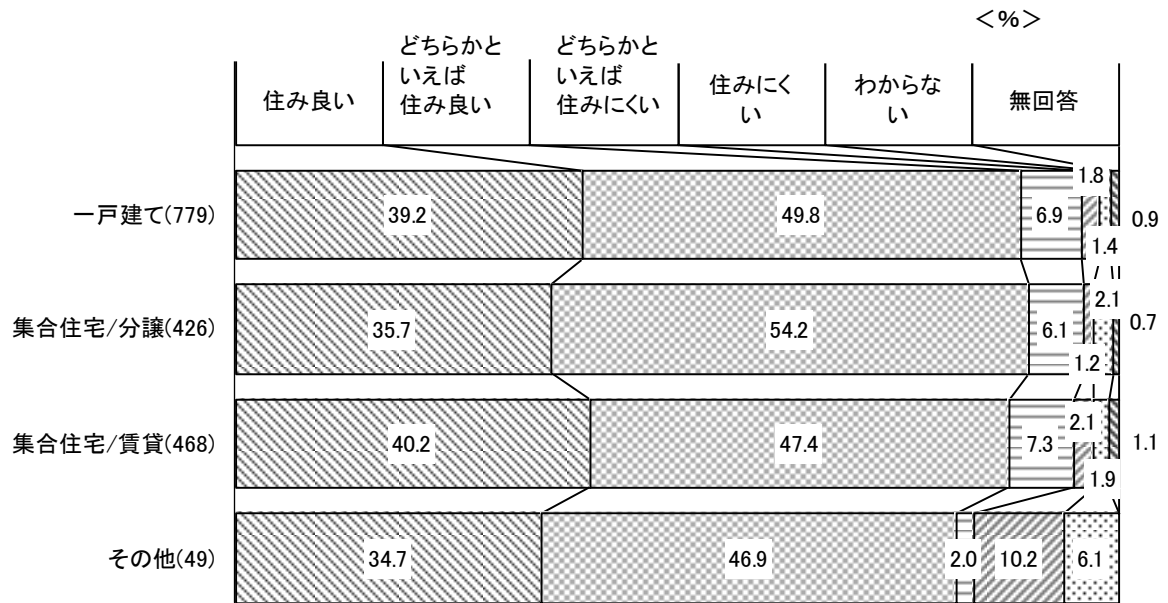
**【地域別】**

- “住み良い” は東部地域（91.5%）と西部地域（90.1%）で9割を超えている。
- “住みにくい” は中央地域（10.4%）で1割を超えている。



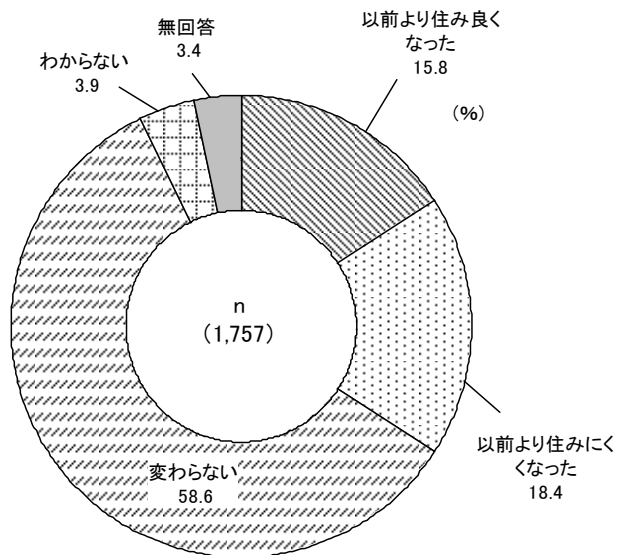
【住まい形態別】

- “住み良い” は集合住宅（分譲）（89.9%）で最も高く、次いで、一戸建て（89.0%）、集合住宅（賃貸）（87.6%）となっている。



## 1-② 住み心地の変化〔問1-2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(58.6%)が約6割と最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」(18.4%)が「以前より住み良くなった」(15.8%)よりも2.6ポイント高くなっている。



### 【経年比較】

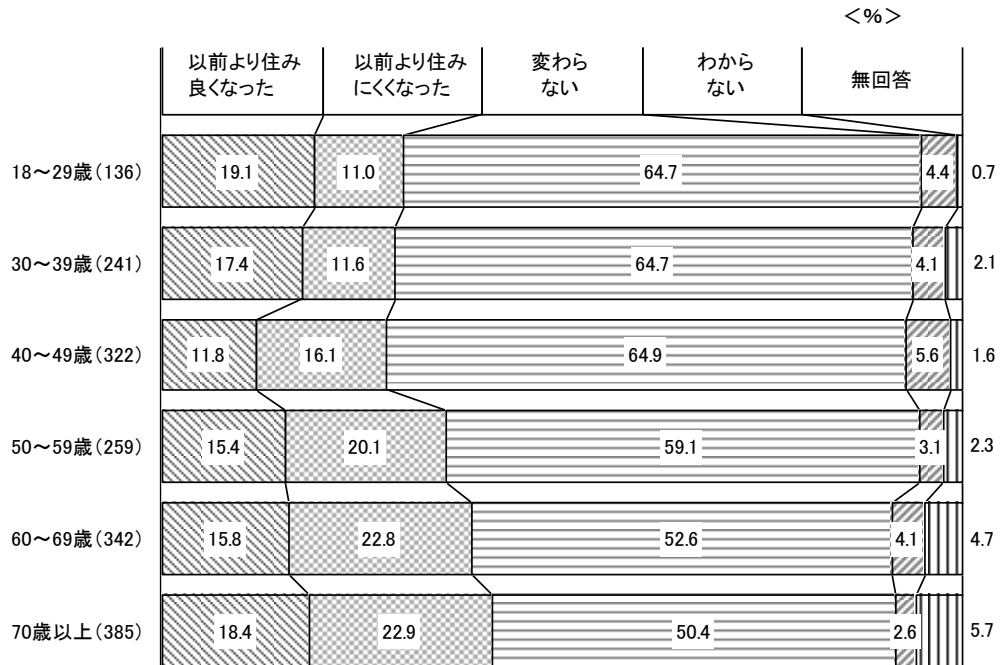
- 過去の調査と比較すると、「以前より住み良くなった」は平成19年度調査から4.2ポイント高くなり、「以前より住みにくくなった」は平成19年度調査から7.4ポイント低くなっている。

	<%>				
	以前より住み良くなった	以前より住みにくくなった	変わらない	わからない	無回答
平成25年度(1,757)	15.8	18.4	58.6	3.9	3.4
平成22年度(2,040)	15.0	22.0	56.7	3.8	2.5
平成19年度(1,471)	11.6	25.8	55.5	4.2	2.9



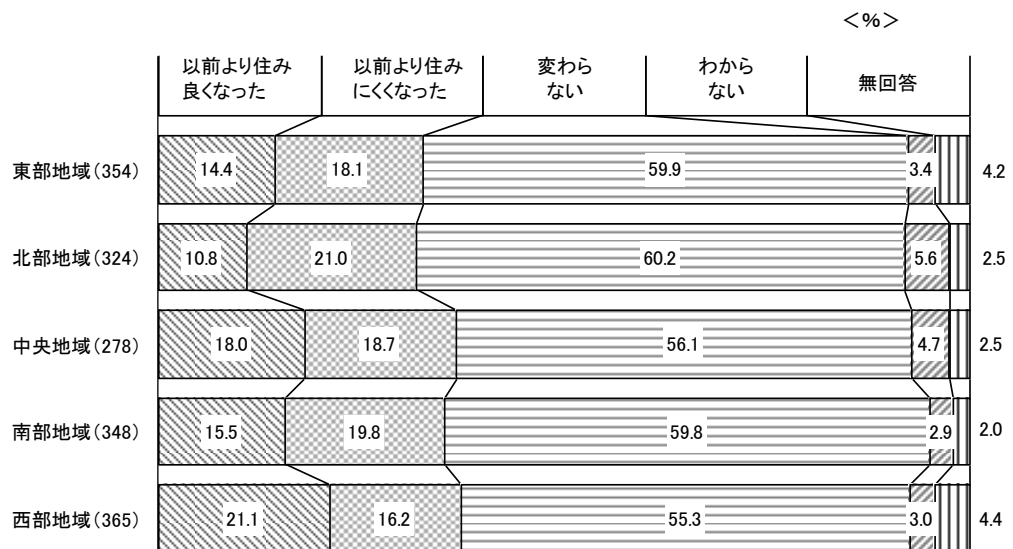
【年齢別】

- 「以前より住み良くなった」は18～29歳（19.1%）で約2割となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は70歳以上（22.9%）、60～69歳（22.8%）、50～59歳（20.1%）で2割を超えている。



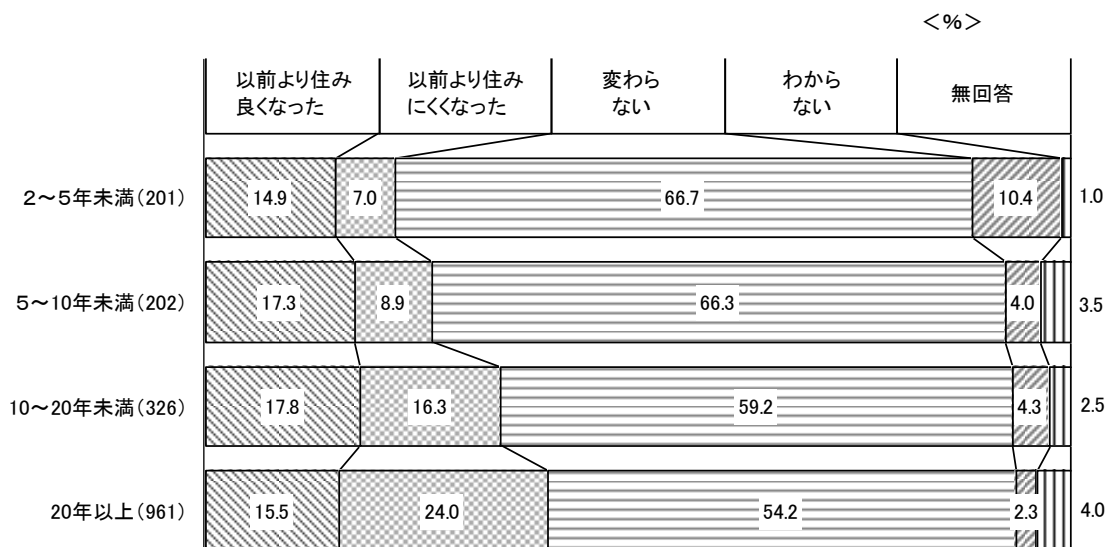
【地域別】

- 「以前より住み良くなった」は西部地域（21.1%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は北部地域（21.0%）で2割を超えている。



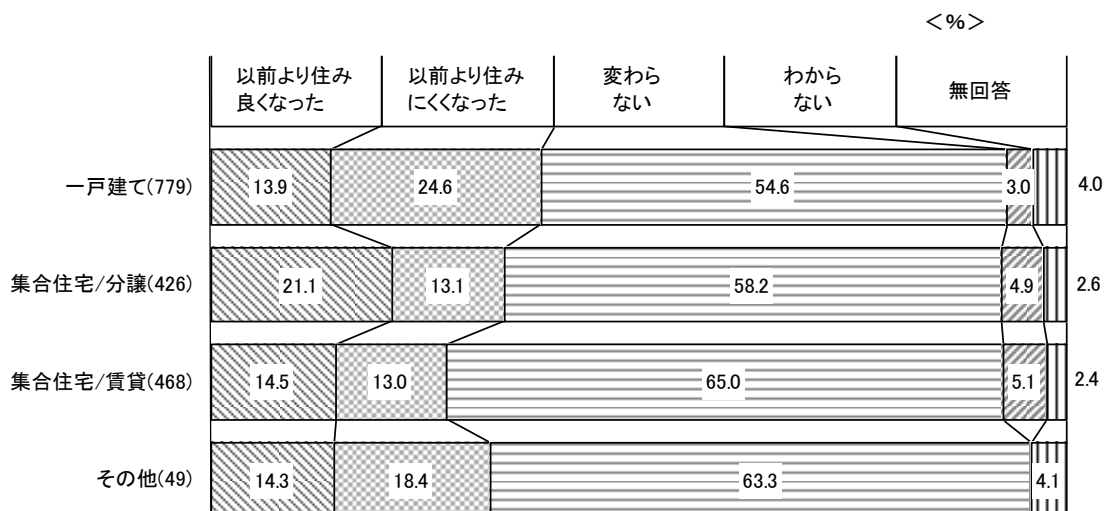
### 【居住年数別】

- 「以前より住み良くなった」は5～10年未満（17.3%）と10～20年未満（17.8%）でほぼ同じ割合となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（24.0%）で最も高くなっている。



### 【住まい形態別】

- 「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（21.1%）で2割を超えている。
- 「以前より住みにくくなった」は一戸建て（24.6%）で2割台半ばとなっている。



## 1-③ 住み心地の変化の理由〔問1-3〕

〔問1-2〕で「以前よりも住み良くなった」「以前よりも住みにくくなった」と回答した人に、その理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

### 【以前よりも住み良くなった主な理由】

区分	件数	主な意見
街づくり	67件	道路が整備された
		自転車専用道ができ、安心して歩けるようになった
		道路がきれいになった
		駅前・駅周辺がきれいになった
		街がきれいになった
		駅周辺の活性化
		駅ビルの完成
		駅にエレベーター・エスカレーターが設置された
		駅の南北通路ができた
		バリアフリー化が進んだ
		住環境がよくなった
		近くに公園ができ、環境がよくなった
		道路整備に伴い、家の建て替えが進んだ
		周辺のアパートが建て替わってきれいになった
		空き地がなくなった
		緑が多くなった
買い物が便利になった	66件	駅周辺に自転車駐輪場ができた
		放置自転車が少なくなった
		近所にスーパーができた
		近所にコンビニができた
		生活必需品の低価格販売店ができた
		大塚駅前の開発に伴い、スーパーが充実した
		飲食店が増えた
巣鴨駅に駅ビルができた		
買い物する場所の選択肢が多い		
交通の便がよくなった	64件	副都心線が開通した
		駅が近くなった
		家の近くにバス停ができた
		池袋・新宿間の道路ができた
		交通の便が更によりよくなり、アクセス範囲が広がり、時間が短縮された
		どこへ出るにも更に便利になった
各種施設ができた	9件	病院ができた
		スポーツジムやプールができた
		図書館が充実した
		介護施設が新設された

区分	件数	主な意見
人間関係がよくなった	9件	ベッドタウン的で、地域に住んでいる人がつきあいやすい
		少しずつ知り合いが増えて、町にとけ込んでいる実感が深まった
		道で会った時に自然とあいさつする人が増えた
		様々な地域活動を通じて、良い人間関係を築くことができた
		地域の方とのつながりや、子どもの見守りなど、地域全体で子育てが行える
治安がよくなった	7件	パトカーの巡回があり、治安が良い
		防犯カメラの設置などにより、安全な街になった
		公園に深夜、若者が集まる事がなくなった
行政がよくなった	5件	駅の出入り口に横断歩道が作られるなど区民の声が届いたのが嬉しかった
		区民のためのいろいろな催事があり利用している
		公共施設の職員が親切で安心できる
騒音がなくなった	4件	まわりが静かで落ち着く
		周辺の工事が落ち着いている
住居がよくなった	2件	都営住宅の外装がきれいになり、地域の印象も良くなった
		一戸建てにした
その他	31件	引っ越してきて、前の居住地より環境が良くなった
		芸術の街で文化的要素が増えた
		可燃ごみの区別が簡単になった
		若い人が多くなった

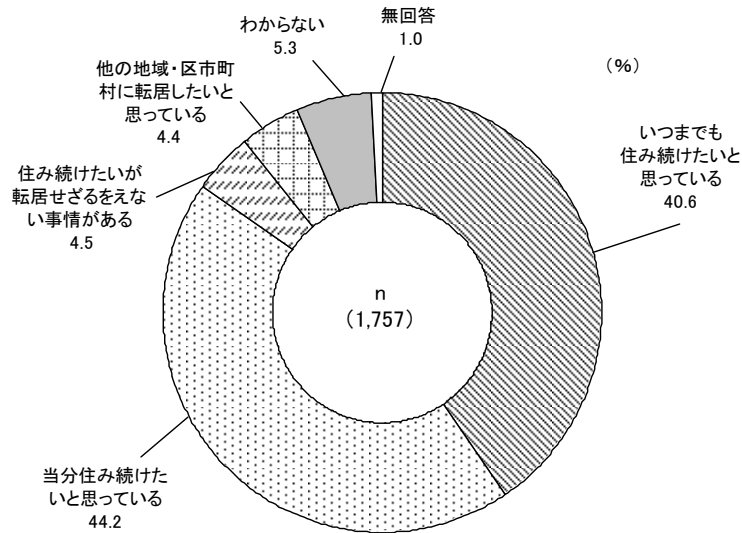
#### 【以前よりも住みにくくなった主な理由】

区分	件数	主な意見
治安・マナー	64件	治安が悪くなった
		外国人が増えて不安を感じる
		外国人やワンルームマンション居住者が、ゴミ出しのルールを守らない
		ゴミ出しマナーの良くない人がいる
		自転車に乗っている人のマナーが悪い
		ホームレスや不審者が増えた
		隣家が空き家になり、放火や空き巣が心配
		夜間に騒ぐ人が増えた
		外灯が暗い
		飼い犬の糞をそのままにする人がいる
		駅前通りで客引きや風俗店がある
		ゴミやたばこのポイ捨てが多い
		街が汚くなった
		犯罪が増えた
コミュニティ・近隣関係	58件	近所づきあいがなくなった
		挨拶しても返事がない
		向こう三軒両隣という感覚が薄くなった
		新しく入ってきた人たちは付き合いを好まない
		知らない人が増えた
		となり近所に無関心な人が増えた

区分	件数	主な意見
		地域活動へ参加する人が減った ワンルームマンションが多く、災害時に地域での連携が取りにくいと思う 道路を広くするために、多くの人が引っ越していき寂しくなった
新しくマンションや住宅が建設され、住環境が悪化した	50件	高層ビルが増えた 風害がひどくなった 日当たりや景観が悪くなった 人や車の出入りが多くなった 相続などで土地が分割されて密集住宅地になる 小部屋賃貸マンションが急増した 空が狭くなり、息苦しく圧迫感がある
近所に商店がなくなり買い物が不便になった	41件	コンビニは増えたが、個人商店が少なくなった 地元の商店街が衰退している 生活に必要な小売店が家や駅の周辺からなくなった 近所にスーパーがない
道路・交通	22件	近所に道路ができ、交通量が増えた 上下水道やガスの工事が多く、道路が不整備の状態である 住宅が増えた割に、道路が狭い 駐輪場が少なくなった 駐輪場が遠く不自由している コイン駐輪場が駅周辺に増え、歩道が狭く感じるようになった 地下鉄ができたが、都電がなくなりバス路線が減った
騒音	18件	騒音がひどい 近隣で夜間騒ぐ人が増えた 近くに公共施設ができ、昼夜人の声がうるさくなった 工事による振動、騒音がひどい 若い世代の親子が多くなり、騒がしくなった 地下鉄の音がうるさくなった
緑・オープンスペース	14件	子どもができてから、公園の少なさを感じる人が多い 公園や子どもが遊べるスペースが少なくなった 犬を放せる公園が少ない 公園のゴミ箱が撤去され、ゴミのポイ捨てが増えた 地域の緑が少なくなった
行政	9件	高齢者や一人暮らしの方への情報提供が少ない がん研病院を上池袋にとどめることができなかつたのは大きな失政だった 東池袋5丁目は区画整理が全然進んでいない
各種施設	3件	保育園に力を入れており、3年保育の幼稚園がない 公園として使えそうな所が閉鎖され、電話で予約して鍵を借りなければ使えないのは不便
住居	2件	家賃がそこそこのファミリー向けのマンションが少ない 不動産が良くない
その他	41件	野良猫が多い 外国人が増えた 空き地が増えた

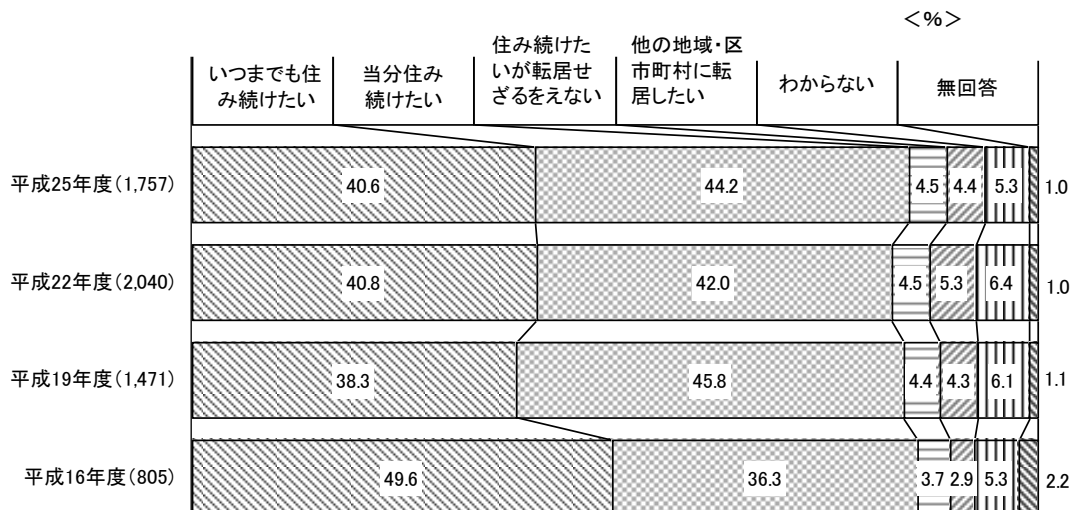
## 2 定住意向〔問2〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたいと思っている」(44.2%) が最も高く、「いつまでも住み続けたいと思っている」(40.6%) と合わせた“住み続けたい”(84.8%) としてみると、8割台半ばとなっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(4.4%)、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.5%) はともに1割を下回っている。



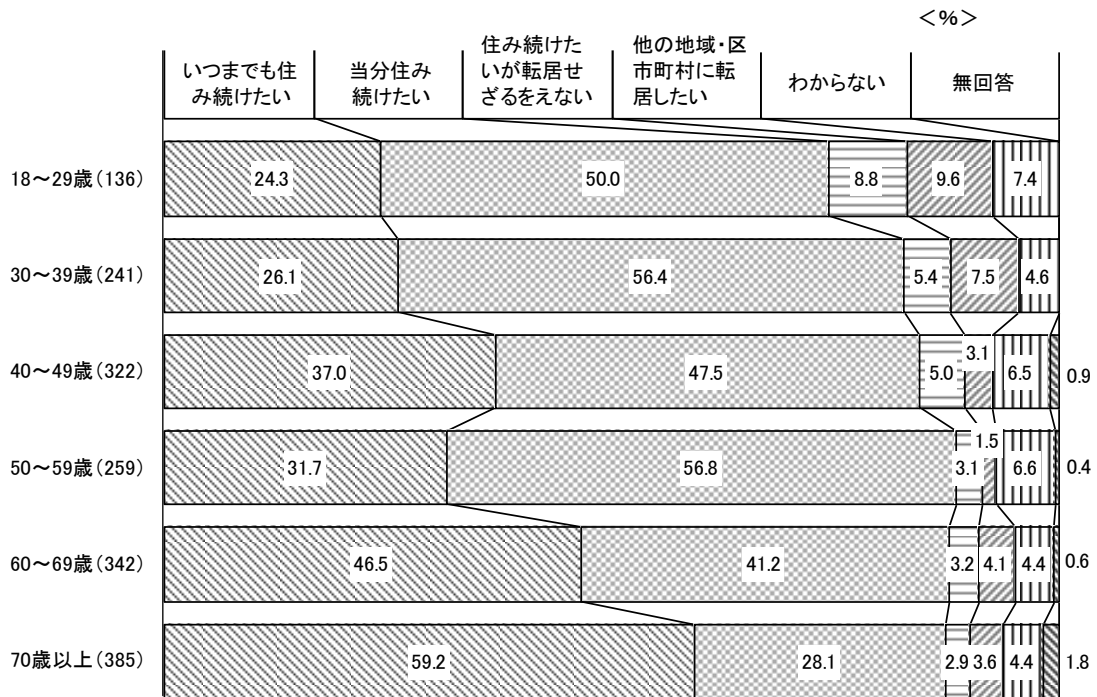
### 【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、平成19年度以降は大きな違いがみられない。



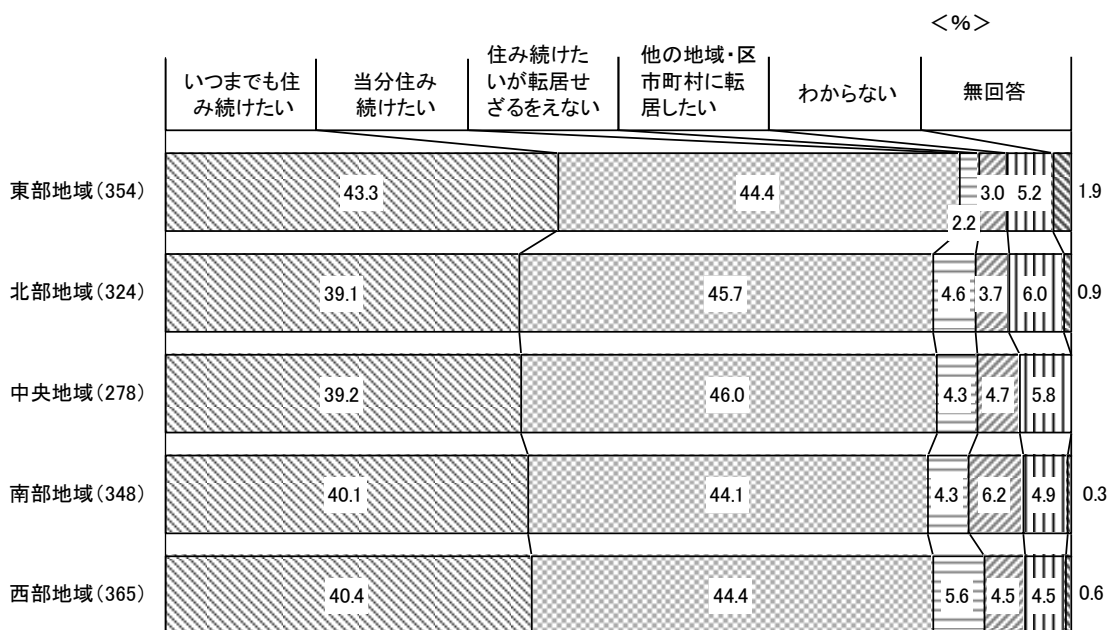
【年齢別】

- 「いつまでも住み続けたい」はおおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上(59.2%)で約6割となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したい」は18~29歳(9.6%)で約1割となっている。



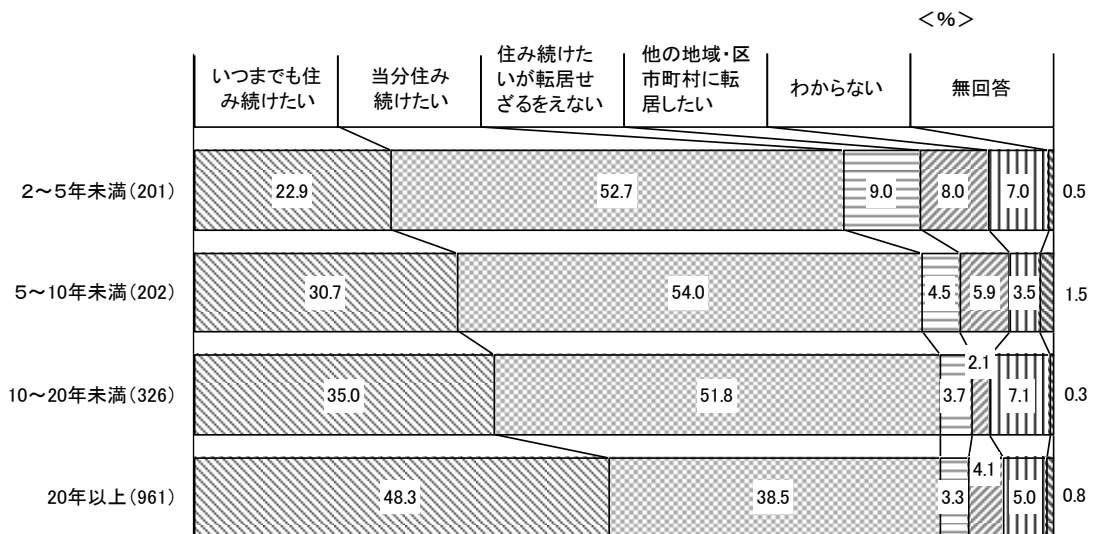
【地域別】

- 「いつまでも住み続けたい」は東部地域(43.3%)で4割台半ばと最も高くなっている。



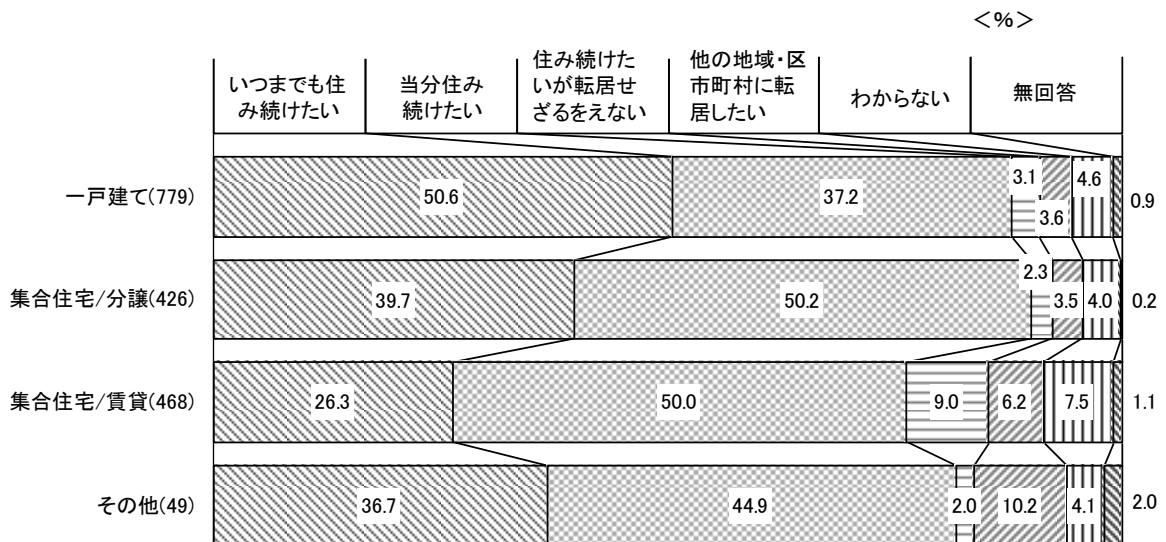
### 【居住年数別】

- “住みたい”は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（86.8%）と10～20年未満（86.8%）で最も高くなっている。



### 【住まい形態別】

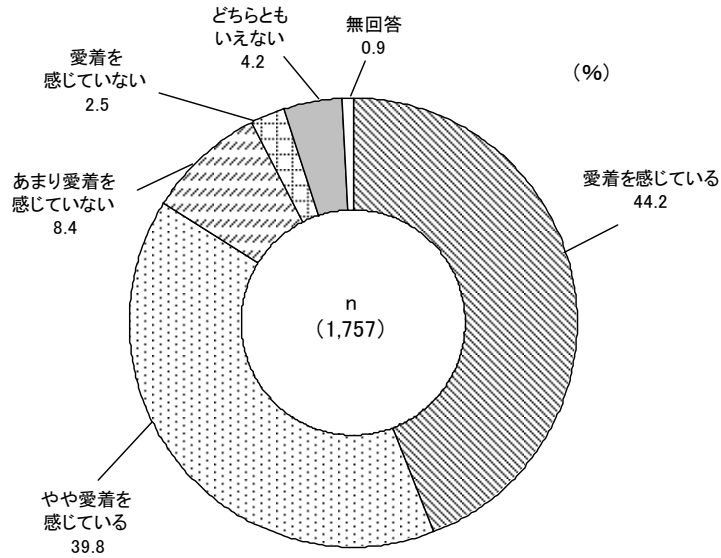
- “住みたい”は集合住宅（分譲）（89.9%）で約9割と最も高く、次いで、一戸建て（87.8%）となっている。
- 「住みたいが転居せざるをえない」は集合住宅（賃貸）（9.0%）で約1割となっている。





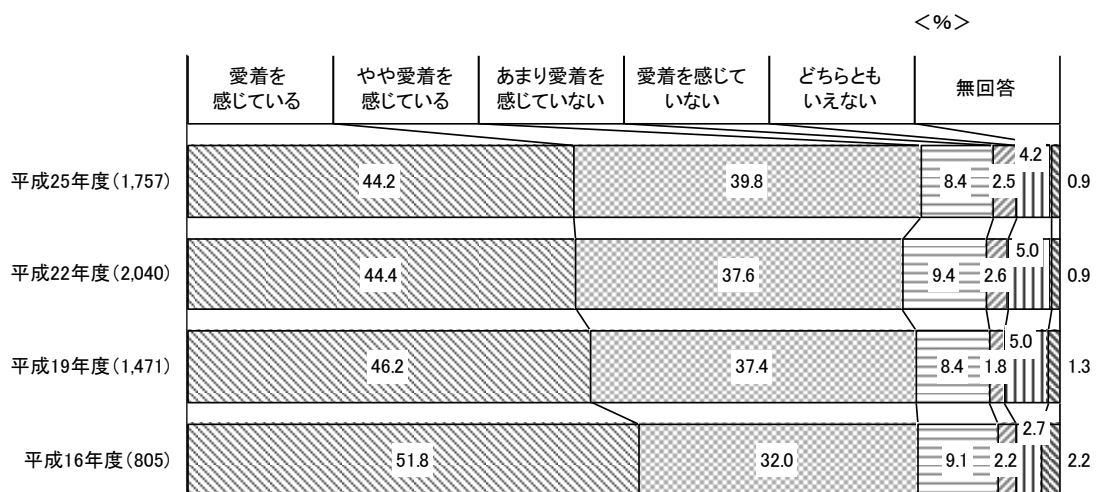
### 3 地域への愛着〔問3〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(44.2%)で4割台半ばと最も高く、「やや愛着を感じている」(39.8%)と合わせた“愛着を感じている”(84.0%)としてみると8割台半ばとなっている。
- 「あまり愛着を感じていない」(8.4%)と「愛着を感じていない」(2.5%)を合わせた“愛着を感じていない”(10.9%)としてみると、1割を超える程度となっている。



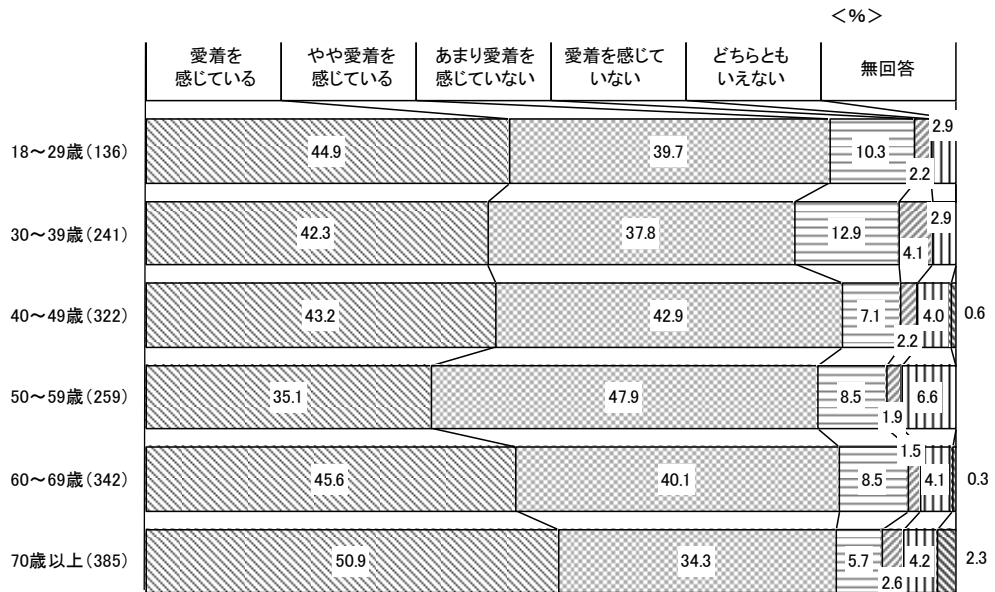
#### 【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛着を感じている」(44.2%)は平成16年度から7.6ポイント低くなっているが、“愛着を感じている”としてみると、0.2ポイント高くなっている。



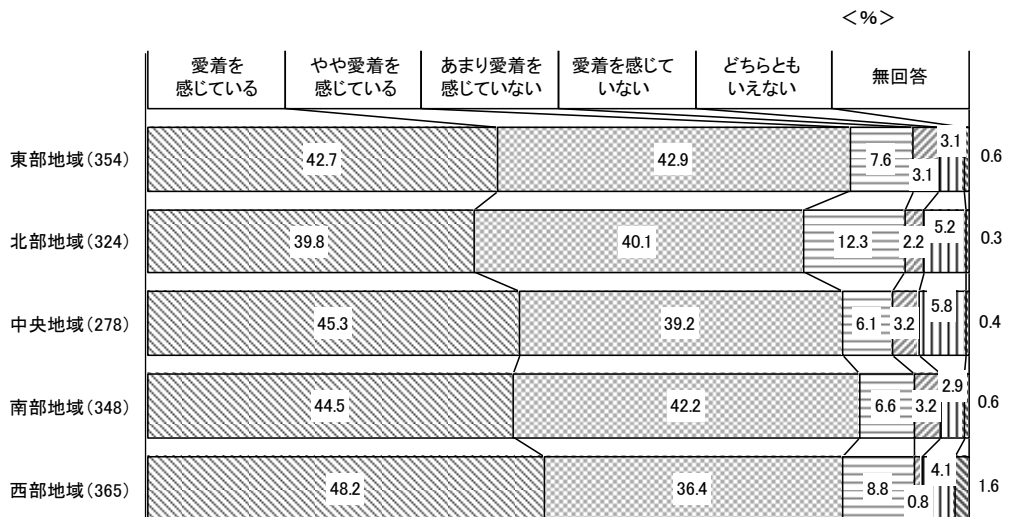
**【年齢別】**

- “愛着を感じている” は40～49歳（86.1%）、60～69歳（85.7%）、70歳以上（85.2%）、18～29歳（84.6%）で8割台半ばとなっている。



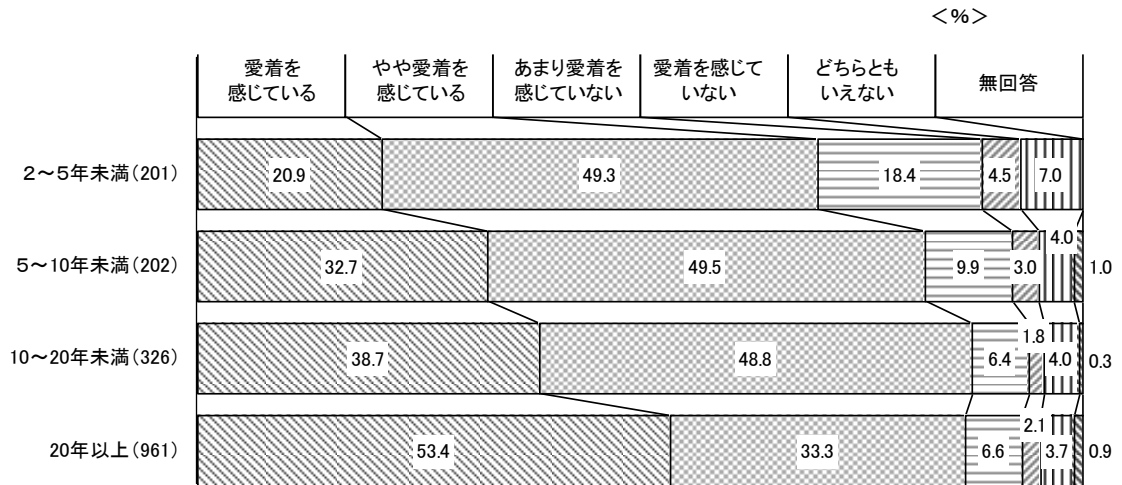
**【地域別】**

- “愛着を感じている” は北部地域（79.9%）を除く全ての地域で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない” は北部地域（14.5%）で1割台半ばとなっている。



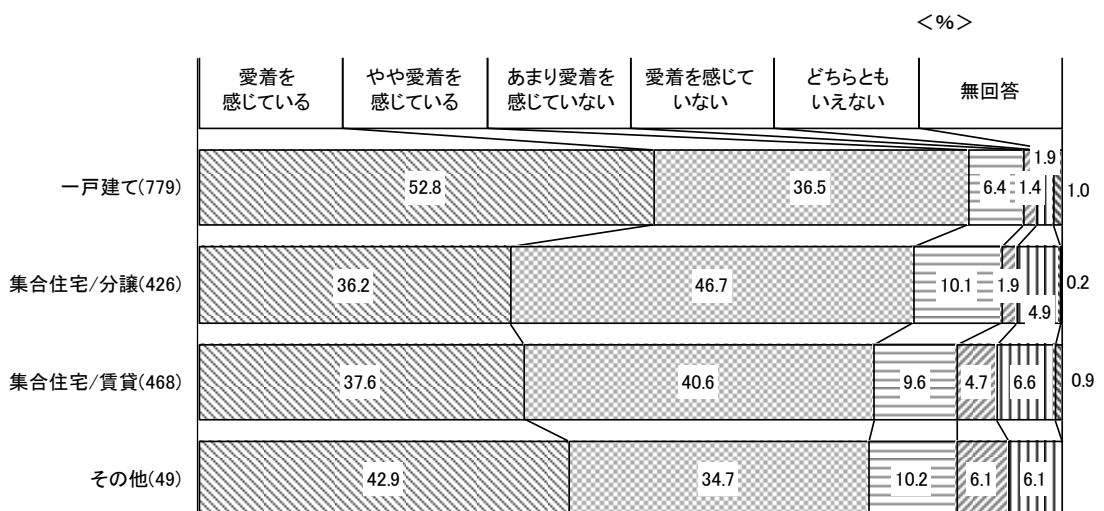
【居住年数別】

- “愛着を感じている”は10～20年未満(87.5%)で8割台半ばを超えており、20年以上(86.7%)で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない”は2～5年未満(22.9%)と2割を超えている。



【住まい形態別】

- “愛着を感じている”は一戸建て(89.3%)で約9割と最も高く、次いで、集合住宅(分譲)(82.9%)となっている。





## 第2章

### 地域の生活環境について



## 第2章 地域の生活環境について

### 〔設問設定の考え方〕

「豊島区基本計画」（平成 18 年 3 月策定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく 10 のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で 72 項目あり、10 のグループごとに、各項目について、「最近の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

#### 《調査にあたり策定した 10 のグループ》

①福祉	⑥環境
②健康	⑦都市再生
③子育て	⑧安全・安心
④教育	⑨観光・産業
⑤コミュニティ・協働	⑩文化

#### 《各項目についての調査内容》

<p>①目指すべき生活環境に対する「最近の評価」</p> <p>※ “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思うわない” の 3 つから実感に近いものを選択。</p> <p>※ “どちらかというと思う” から “どちらかというと思うわない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。</p>
<p>②目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」</p> <p>※ 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を 2 つ又は 3 つまで選択。</p>

## 《グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧》

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 福 祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる
	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる
	5	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	7	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている
	8	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる
② 健 康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある
	10	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある
	11	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している
	12	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	13	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
③ 子 育 て	14	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている
	15	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	16	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる
	17	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある
	18	家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる
	19	区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている
④ 教 育	20	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている
	21	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている
	22	地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている
	23	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	24	学校の周辺及び通学路が安全である
	25	家庭での教育に対する支援が充実している
	26	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている
⑤ コ ミ ュ ニ ティ ・ 協 働	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている
	28	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	29	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
	30	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	31	地域の課題に対する関心が高まっている
	32	地域で外国人との交流がある
	33	地域社会において平和と人権が尊重されている
	34	男女が共同で社会に参画できる



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑥ 環 境	35	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある
	36	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	37	騒音、大気汚染などに悩まされることがない
	38	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	42	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている
⑦ 都 市 再 生	43	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	44	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる
	47	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	身近な生活道路が快適に通行できる
⑧ 安 全 ・ 安 心	51	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている
	52	鉄道・バス等の交通が便利である
	53	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	54	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています
	55	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	56	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
⑨ 観 光 ・ 産 業	57	治安がよく、安心して暮らせる
	58	交通事故が少ない
	59	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている
	60	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される
	61	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	62	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
⑩ 文 化	63	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している
	64	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	65	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている
	66	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	68	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い
	69	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている
70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	
71	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	
72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	

# 1 目指すべき生活環境に対する「最近の評価」〔問4〕

## ① 福祉

- 福祉に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」と「民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる」となっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」である。

<%>

	どちらかという と思う	どちらともい えない	どちらかという と思わない	
地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある (1,557)	21.4	53.1	25.5	(-4.1)
民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる (1,444)	16.0	63.9	20.1	(-4.1)
高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる (1,469)	15.2	62.9	21.9	(-6.7)
高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている (1,460)	16.8	59.6	23.6	(-6.8)
必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる (1,439)	14.6	62.8	22.7	(-8.1)
生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる (1,419)	12.3	67.2	20.6	(-8.3)
要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある (1,452)	17.7	56.2	26.1	(-8.4)
グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている (1,464)	19.9	49.8	30.3	(-10.4)

## ② 健康

- 健康に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある」であり、以下、「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」と「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」が続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」である。

		<%>				
		どちらかという と思う	どちらともいえ ない	どちらかという と思わない		
がんに関する正しい知識が 広がり、がん検診が受けや すい環境にある	(1,567)	45.6	41.2	13.1	(32.5)	
健康診断や保健指導、相談 など、疾病を予防するた めの保健サービスが充実し ている	(1,551)	39.1	47.3	13.5	(25.6)	
感染症や食中毒等に不安を 感じる事が少ない	(1,562)	37.6	50.4	12.0	(25.6)	
誰もが身近な場所で適切な 医療サービスの提供を安心 して受けられる	(1,570)	36.7	48.5	14.8	(21.9)	
子どもから高齢者まで、健 康づくりに取り組むた めの、多様な機会や場、情 報がある	(1,533)	28.0	52.1	19.9	(8.1)	

### ③ 子育て

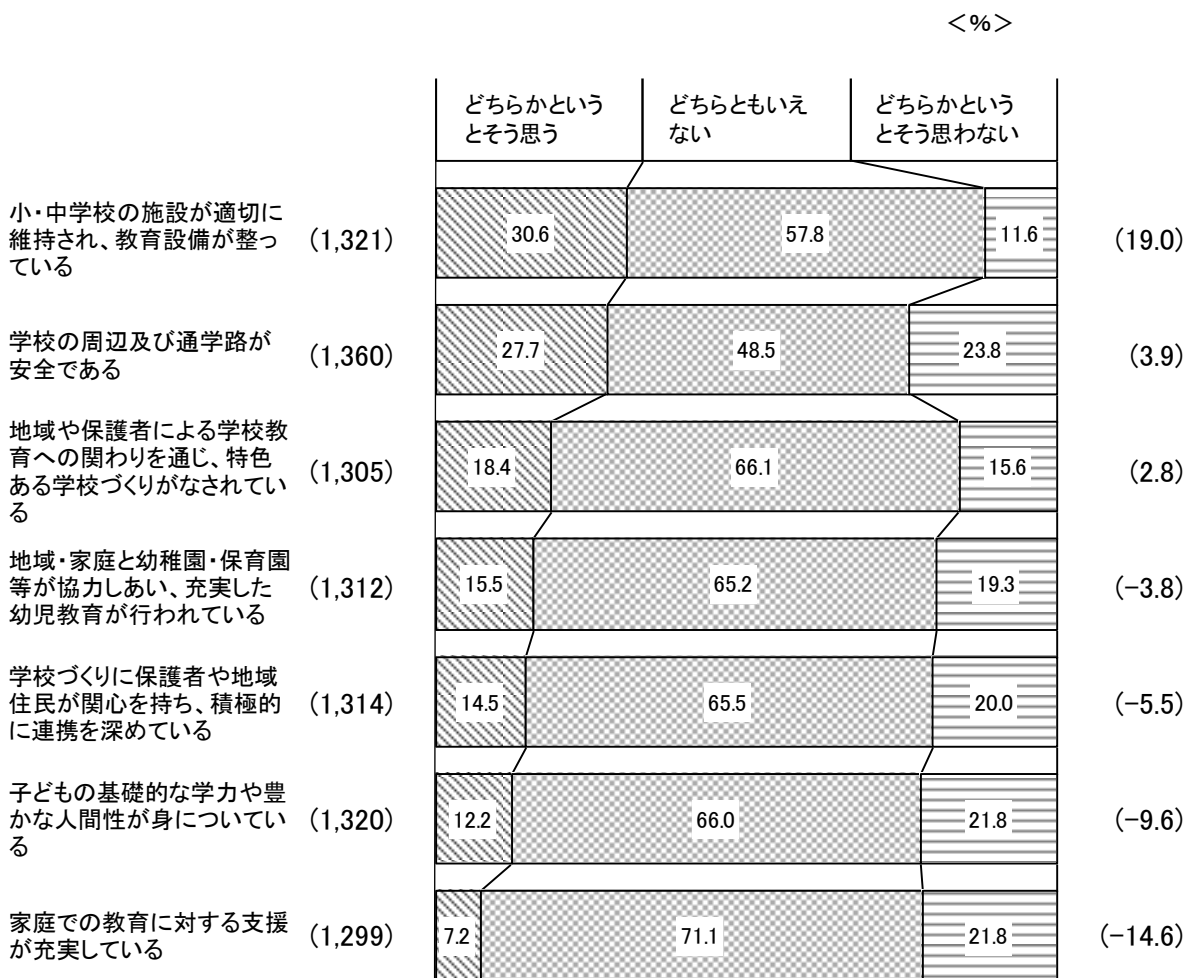
- 子育てに関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている」であり、以下、「子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある」、「子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」である。

<%>

		どちらかという と思う	どちらともいえ ない	どちらかという と思わない	
家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	(1,348)	17.5	67.7	14.8	(2.7)
子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	(1,328)	14.4	65.4	20.3	(-5.9)
子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	(1,356)	19.5	54.5	26.0	(-6.5)
家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる	(1,323)	11.4	67.2	21.4	(-10.0)
区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている	(1,313)	10.7	65.4	23.9	(-13.2)
いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	(1,333)	7.8	68.0	24.2	(-16.4)

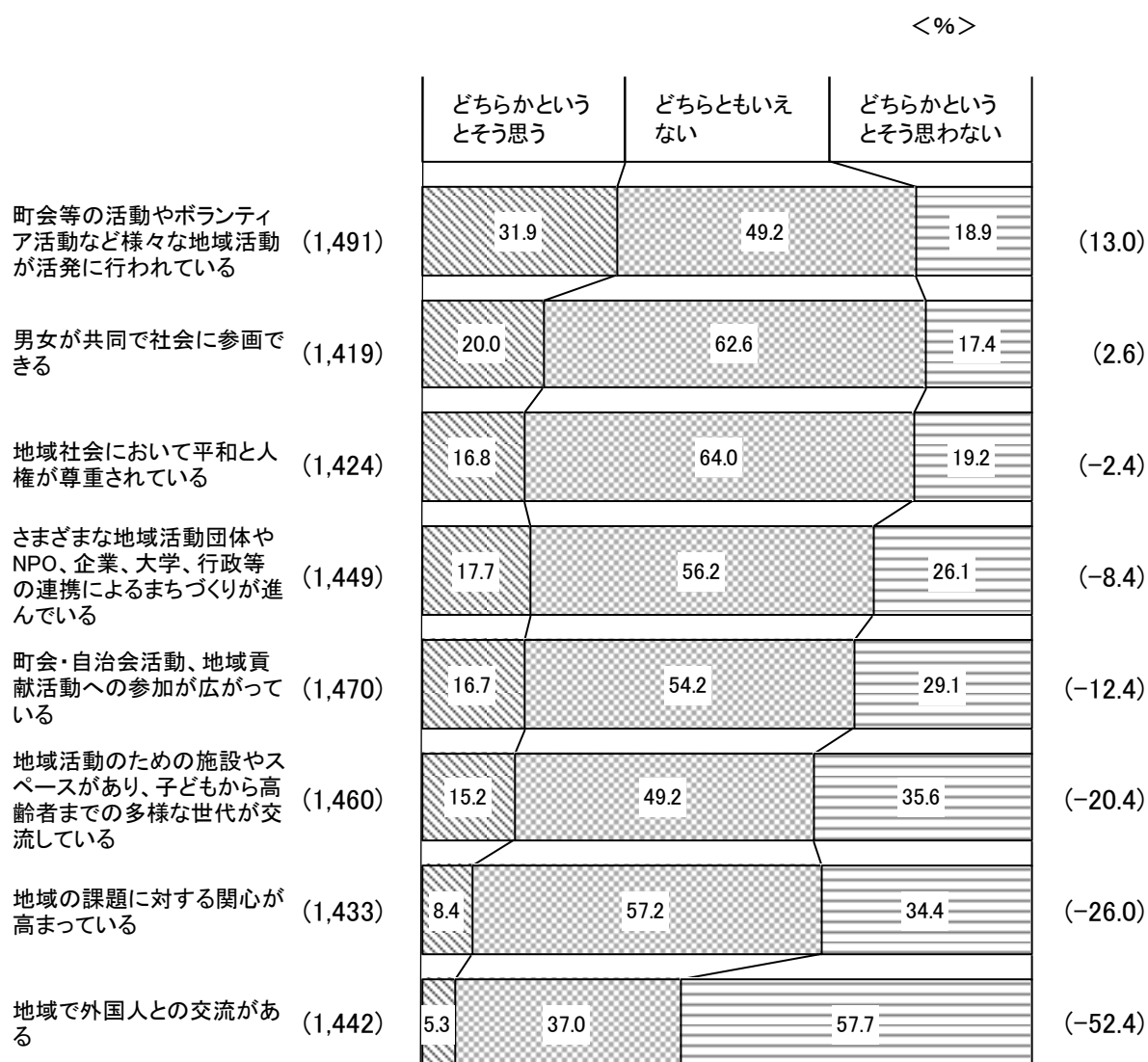
④ 教育

- 教育に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」であり、以下、「学校の周辺及び通学路が安全である」、「地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭での教育に対する支援が充実している」である。



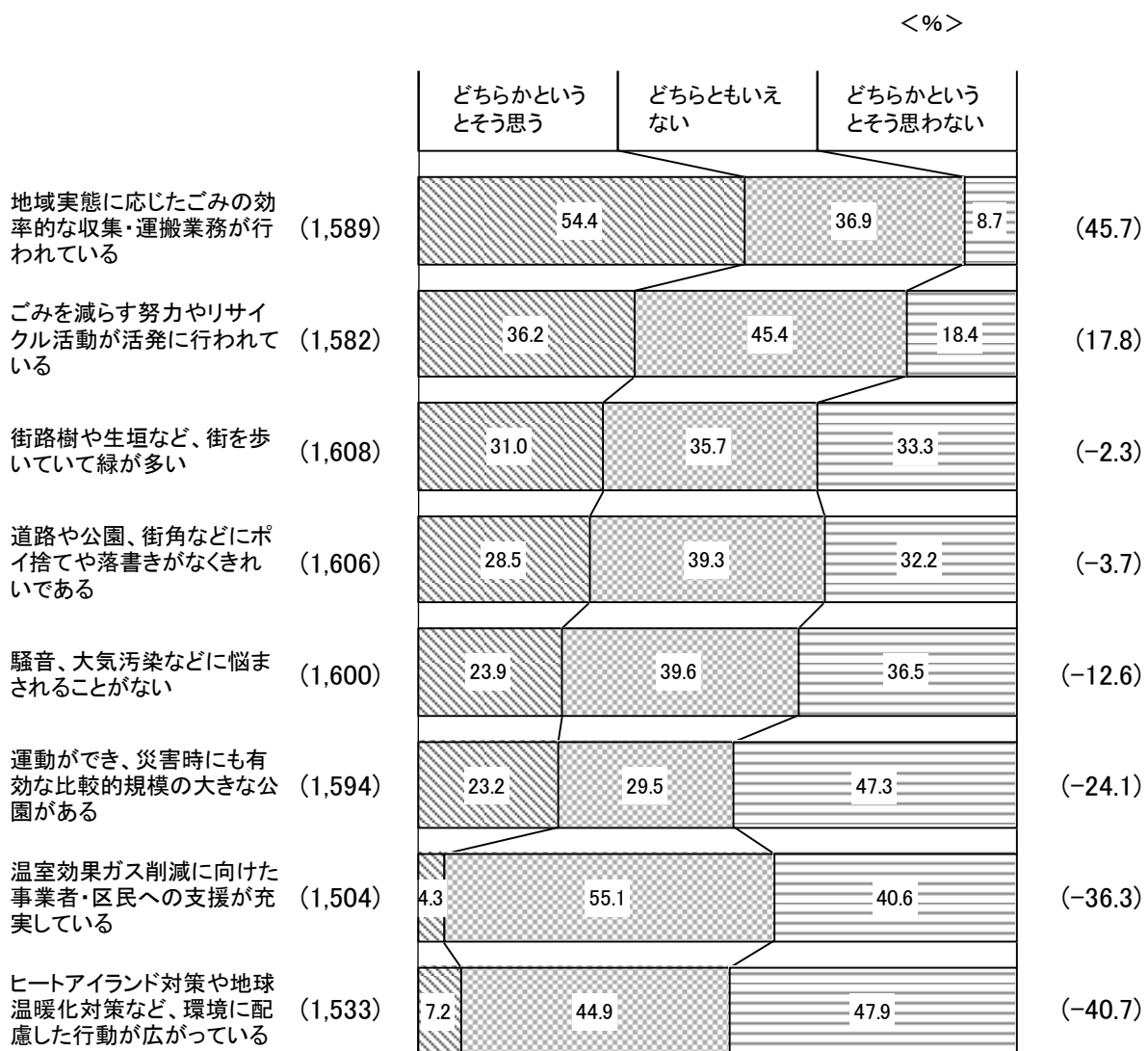
## ⑤ コミュニティ・協働

- コミュニティ・協働に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」であり、以下、「男女が共同で社会に参画できる」、「地域社会において平和と人権が尊重されている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。



⑥ 環境

- 環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」であり、以下、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」である。



## ⑦ 都市再生

- 都市再生に関する生活環境について、下記の 10 の項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、以下、「駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」、「駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みにつづけるための住宅制度が充実している」である。

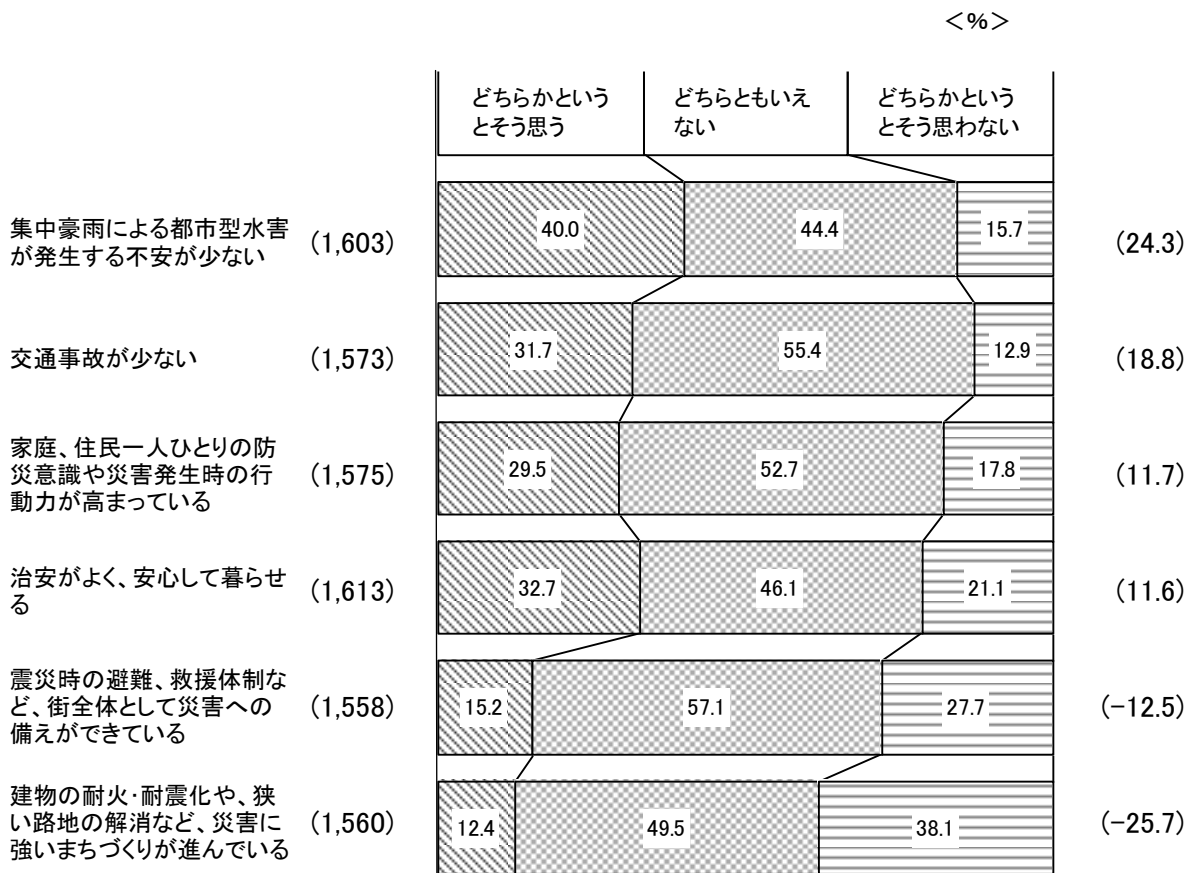
<%>

		どちらかという と思う	どちらともいえ ない	どちらかという と思わない	
鉄道・バス等の交通が便利 である	(1,621)	75.9	19.0	5.1	(70.8)
駅及び駅周辺が整備され、 利用しやすくにぎわっている	(1,590)	39.2	42.6	18.2	(21.0)
駅周辺に駐輪場が整備さ れ、放置自転車が少なく なっている	(1,606)	44.9	30.9	24.2	(20.7)
新庁舎整備をはじめとして、 池袋駅を中心とした広範な まちづくりが進んでいる	(1,556)	31.8	44.3	23.8	(8.0)
身近な生活道路が快適に 通行できる	(1,597)	32.1	41.0	26.9	(5.2)
まちの中で地域の個性や文 化、歴史を感じることができ る	(1,576)	29.1	46.0	24.9	(4.2)
地域特性にあわせたまちづ くりが進み、快適な街並み が生まれている	(1,568)	18.8	55.4	25.8	(-7.0)
池袋周辺で、新宿、渋谷な どにない魅力あるまちづくり が進んでいる	(1,561)	19.3	46.5	34.2	(-14.9)
単身向け、ファミリー向けな ど、良質な住宅がバランス よく供給されている	(1,524)	10.1	55.6	34.3	(-24.2)
地域に住みにつづけるための 住宅制度が充実している	(1,531)	7.3	58.9	33.8	(-26.5)



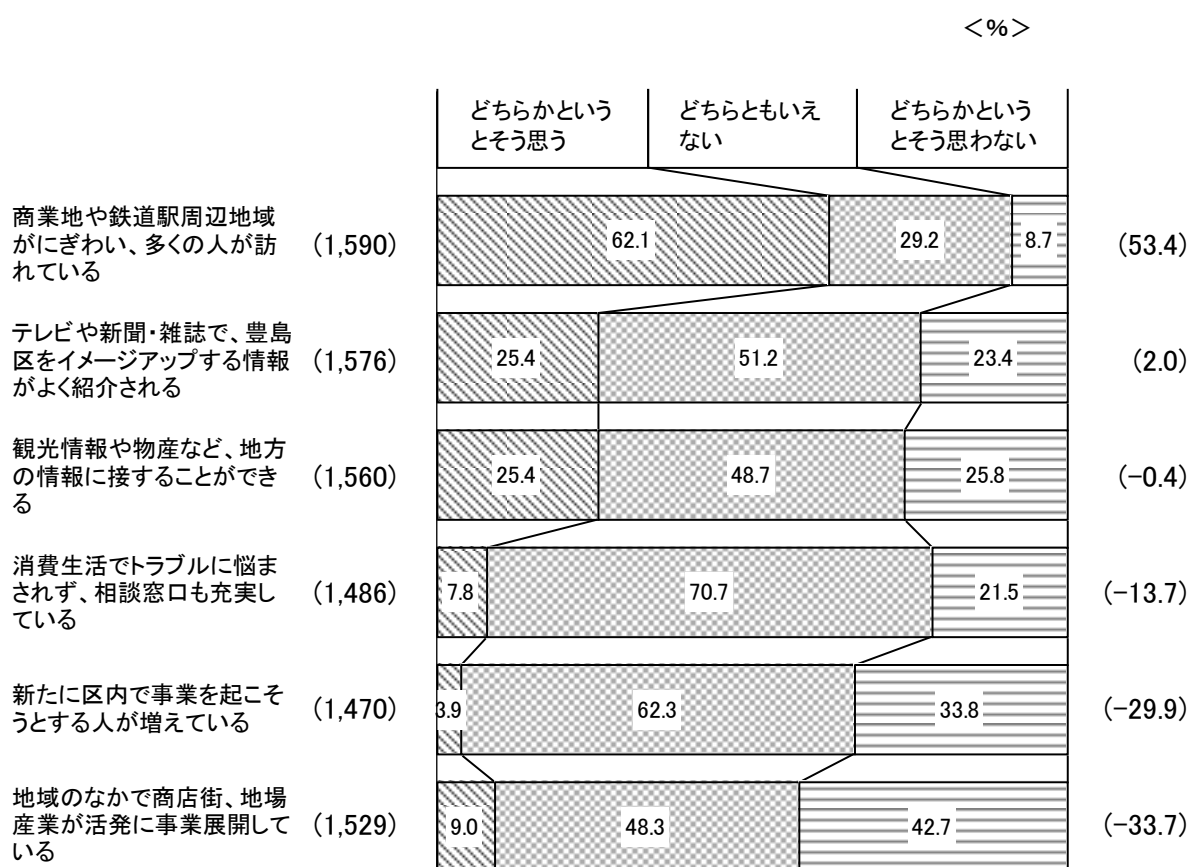
⑧ 安全・安心

- 安全・安心に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、以下、「交通事故が少ない」、「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」である。



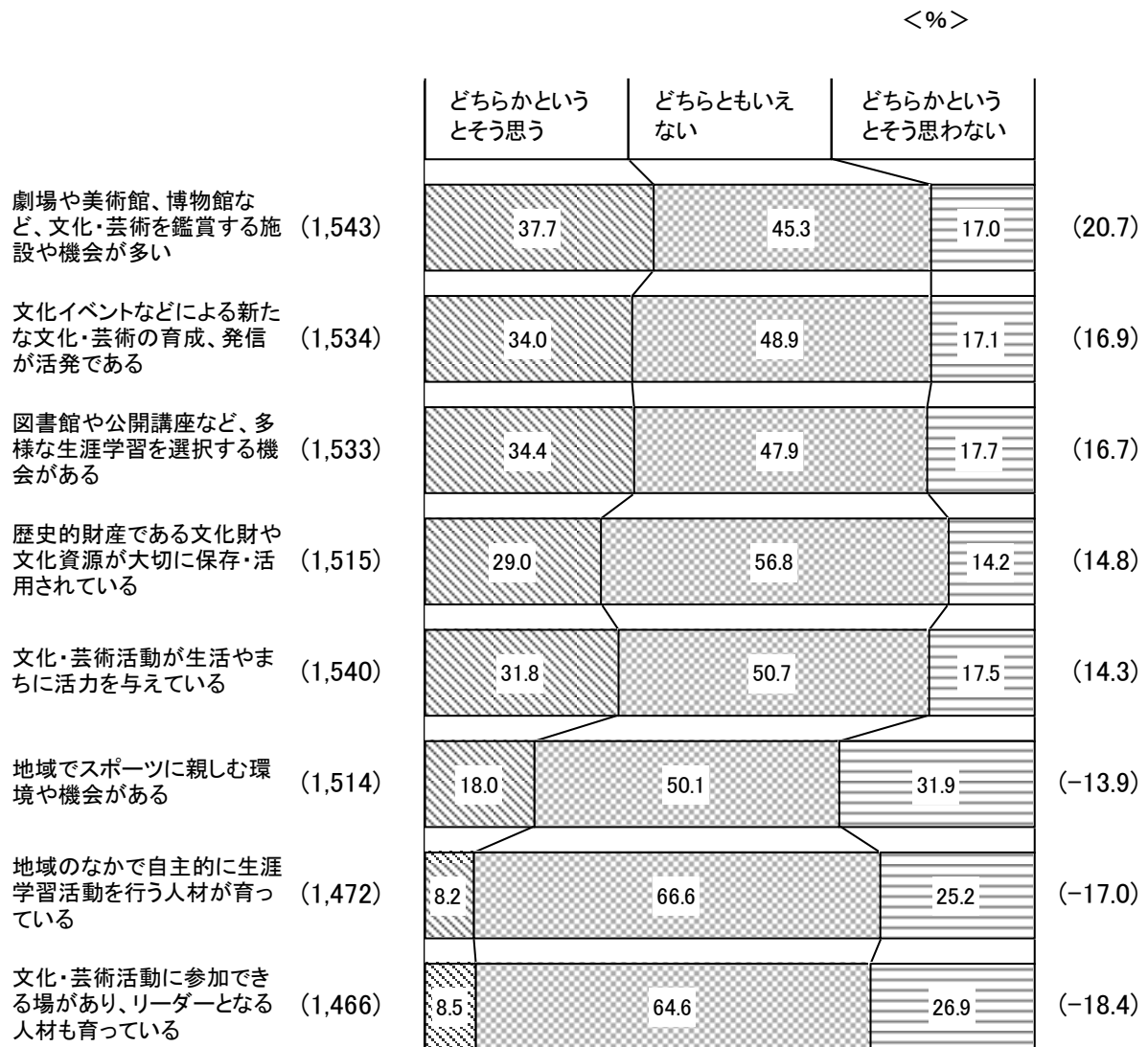
## ⑨ 観光・産業

- 観光・産業に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている」であり、以下、「テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」、「観光情報や物産など、地方の情報に接することができる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」である。



⑩ 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」であり、以下、「文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である」、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている」である。



## ● グループ全体を通してみた「最近の評価」

### ア「最近の評価（満足度）」が高い項目

生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い（満足度が高い）項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第 1 位	⑦都市再生	鉄道・バス等の交通が便利である	70.8
第 2 位	⑨観光・産業	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	53.4
第 3 位	⑥環境	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	45.7
第 4 位	②健康	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある	32.5
第 5 位	②健康	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	25.6
第 6 位	②健康	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	25.6
第 7 位	⑧安全・安心	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	24.3
第 8 位	②健康	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	21.9
第 9 位	⑦都市再生	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	21.0
第 10 位	⑦都市再生	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	20.7

### イ「最近の評価（満足度）」が低い項目

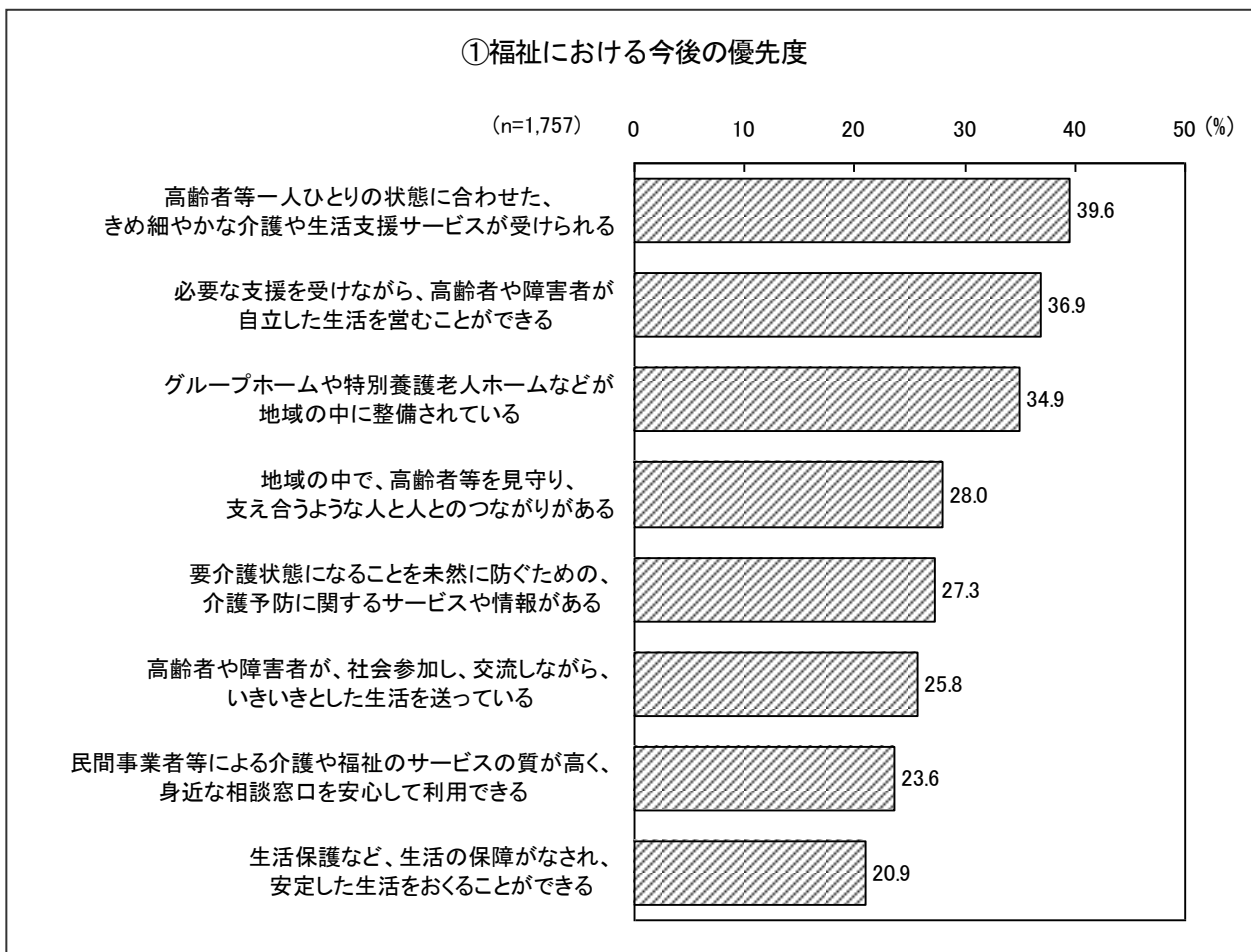
生活環境について設定した全 72 項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い（満足度が低い）項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第 1 位	⑤コミュニティ・協働	地域で外国人との交流がある	-52.4
第 2 位	⑥環境	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	-40.7
第 3 位	⑥環境	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-36.3
第 4 位	⑨観光・産業	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	-33.7
第 5 位	⑨観光・産業	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	-29.9
第 6 位	⑦都市再生	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	-26.5
第 7 位	⑤コミュニティ・協働	地域の課題に対する関心が高まっている	-26.0
第 8 位	⑧安全・安心	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-25.7
第 9 位	⑦都市再生	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-24.2
第 10 位	⑥環境	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	-24.1

## 2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問4〕

### ① 福祉

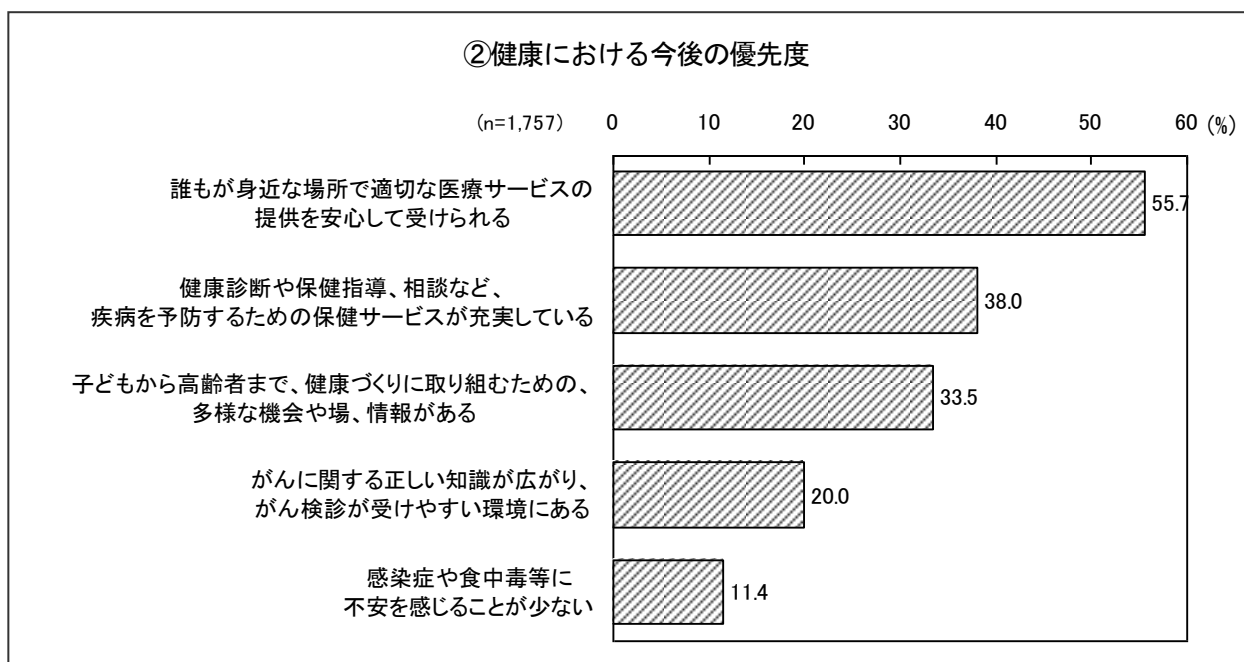
- 福祉に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」(39.6%) が約4割と最も高く、以下、「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」(36.9%)、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」(34.9%) などとなっている。



※3つ選択

## ② 健康

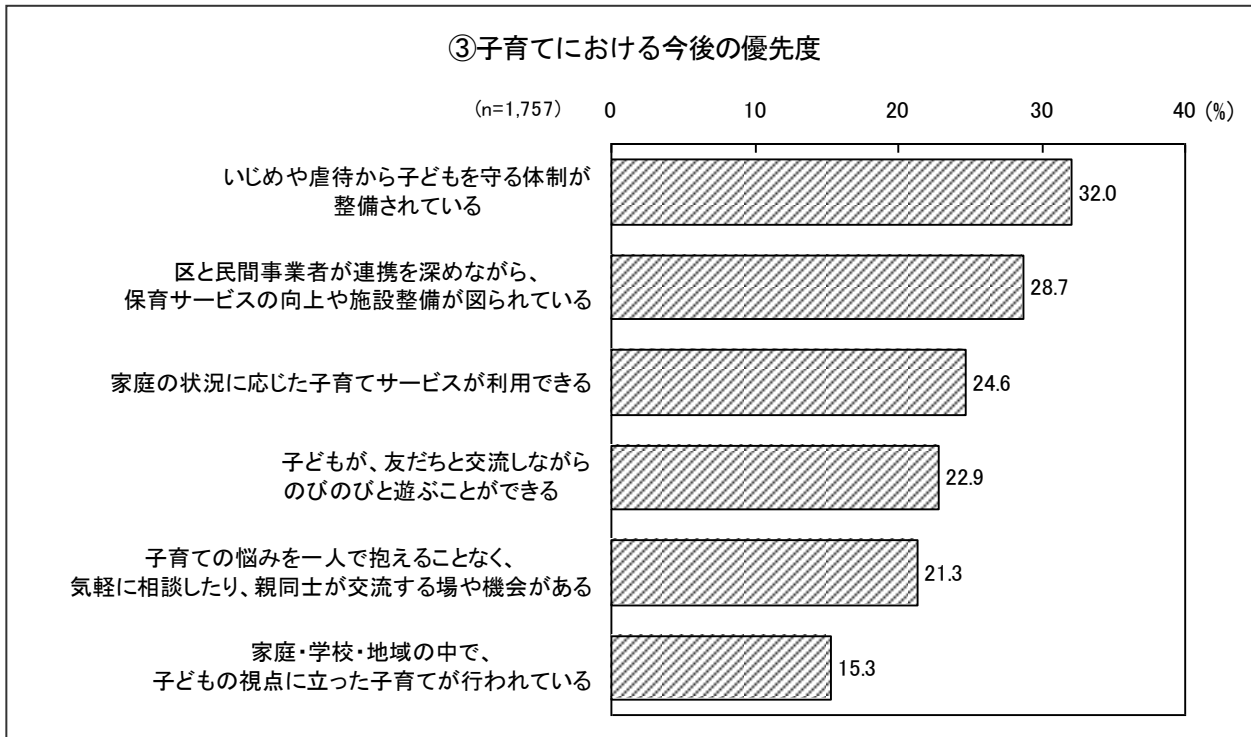
- 健康に関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(55.7%)が5割台半ばと最も高く、以下、「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」(38.0%)、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」(33.5%)などとなっている。



※2つ選択

### ③ 子育て

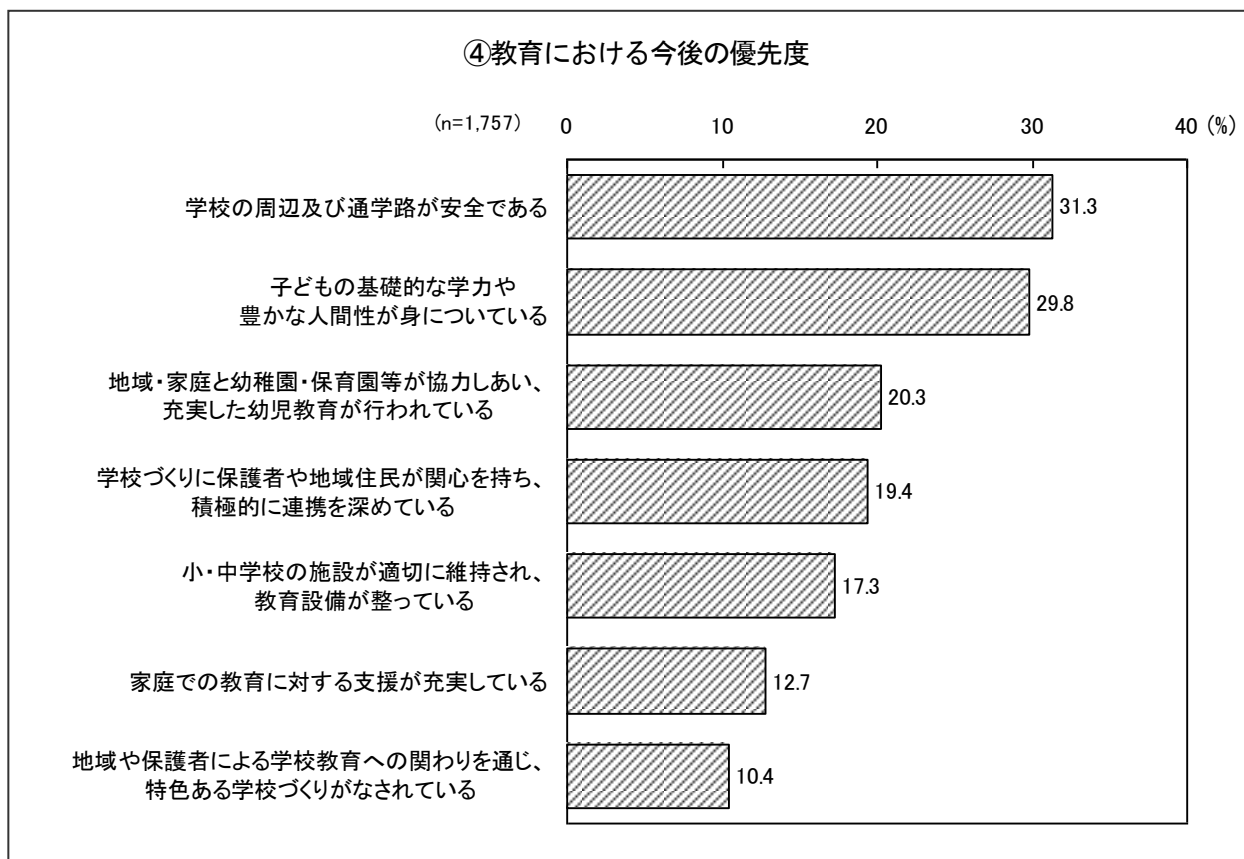
- 子育てに関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」(32.0%)が3割強と最も高く、以下、「区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている」(28.7%)、「家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる」(24.6%)などとなっている。



※2つ選択

#### ④ 教育

●教育に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「学校の周辺及び通学路が安全である」(31.3%)が約3割と最も高く、以下、「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」(29.8%)、「地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている」(20.3%)などとなっている。

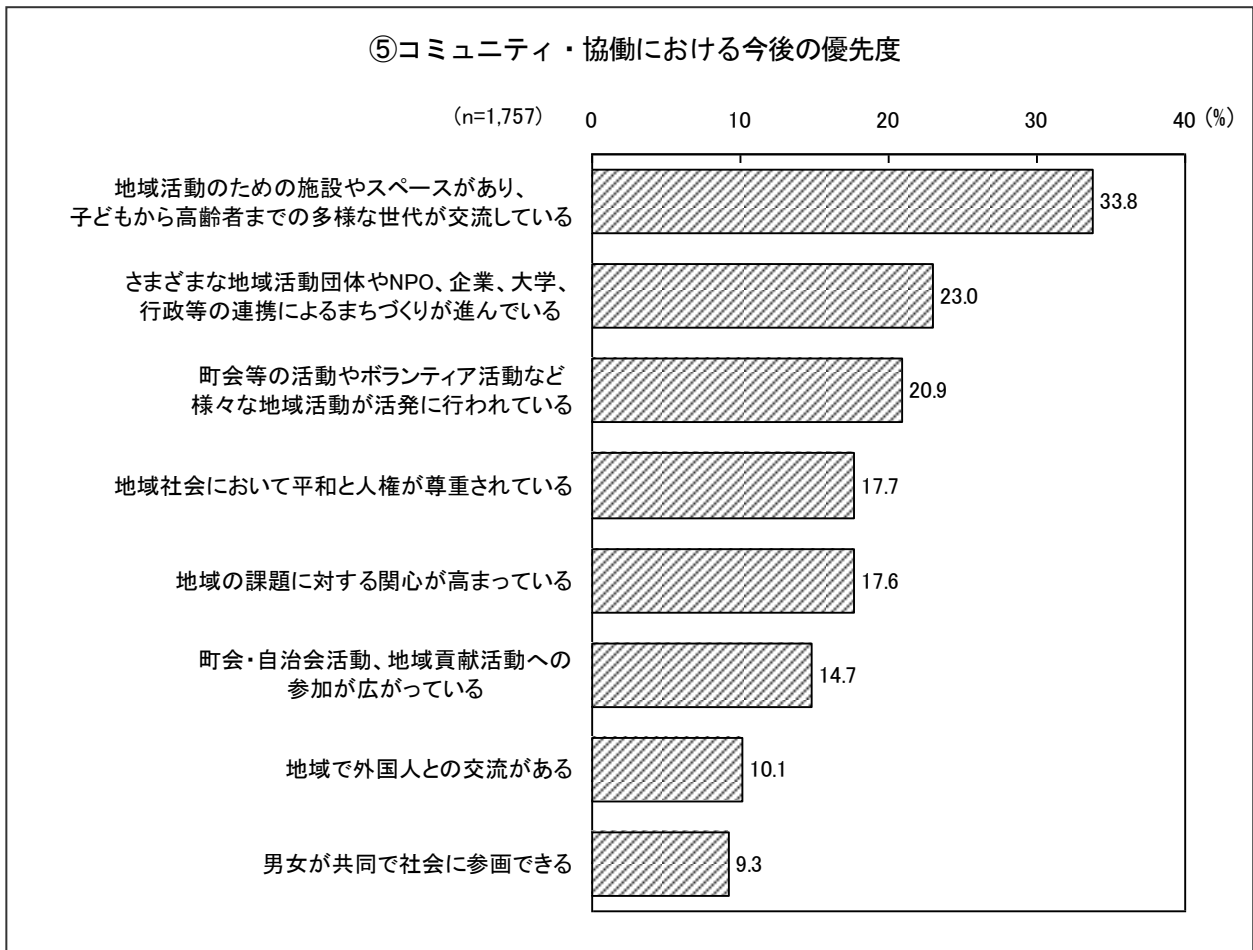


※2つ選択



## ⑤ コミュニティ・協働

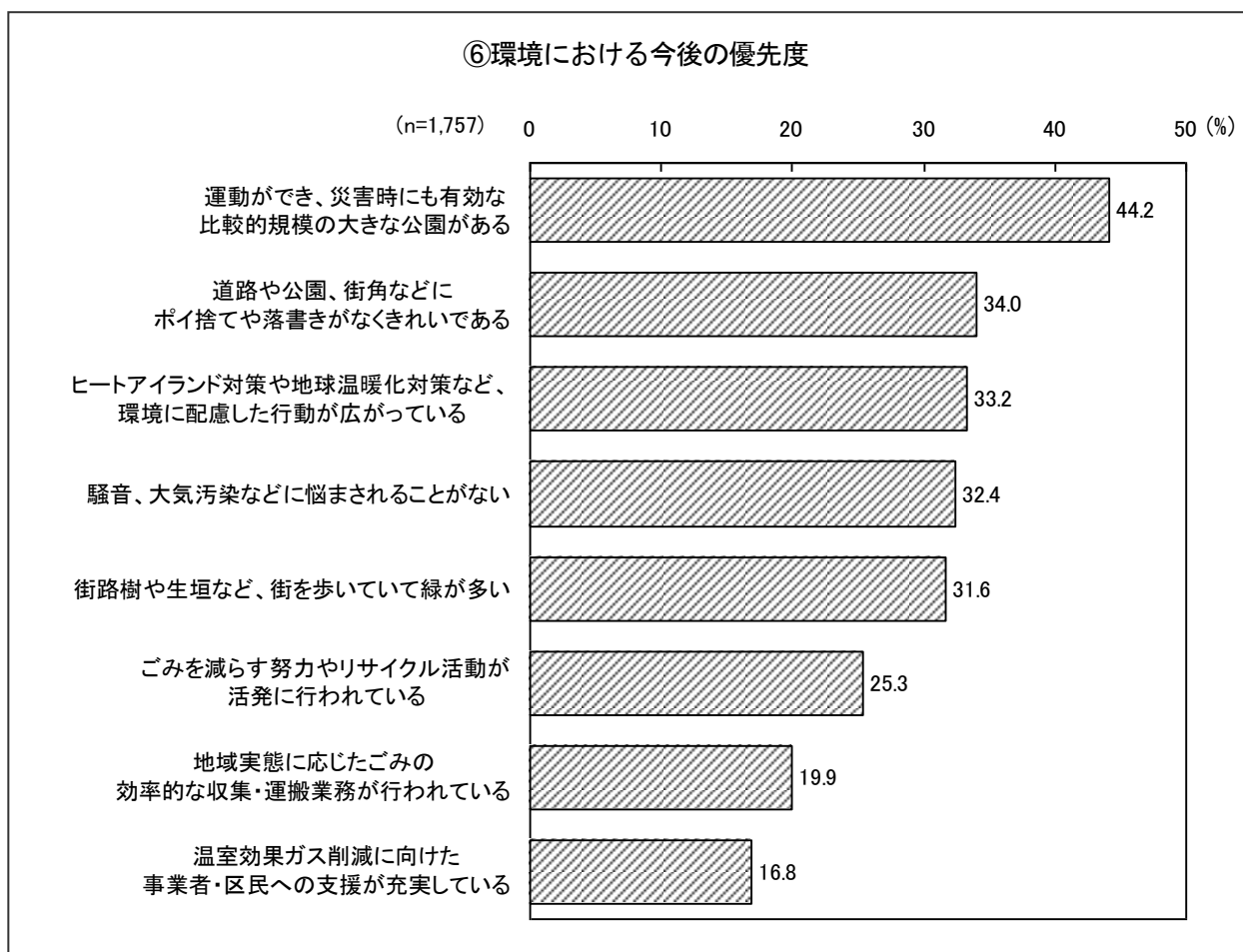
- コミュニティ・協働に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(33.8%) が3割台半ばと最も高く、以下、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(23.0%)、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」(20.9%) などとなっている。



※3つ選択

## ⑥ 環境

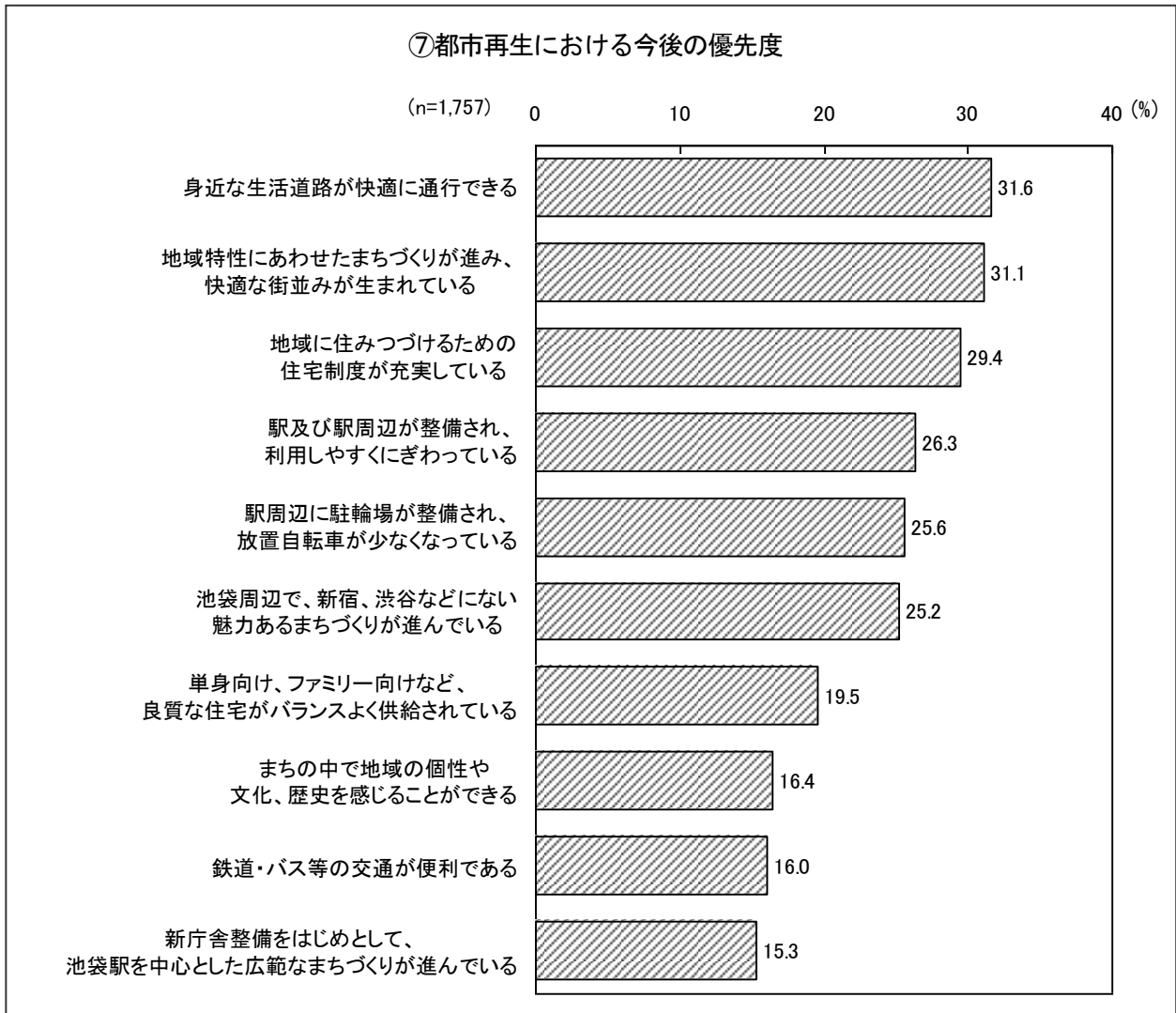
●環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」(44.2%)が4割台半ばと最も高く、以下、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(34.0%)、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」(33.2%) などとなっている。



※3つ選択

## ⑦ 都市再生

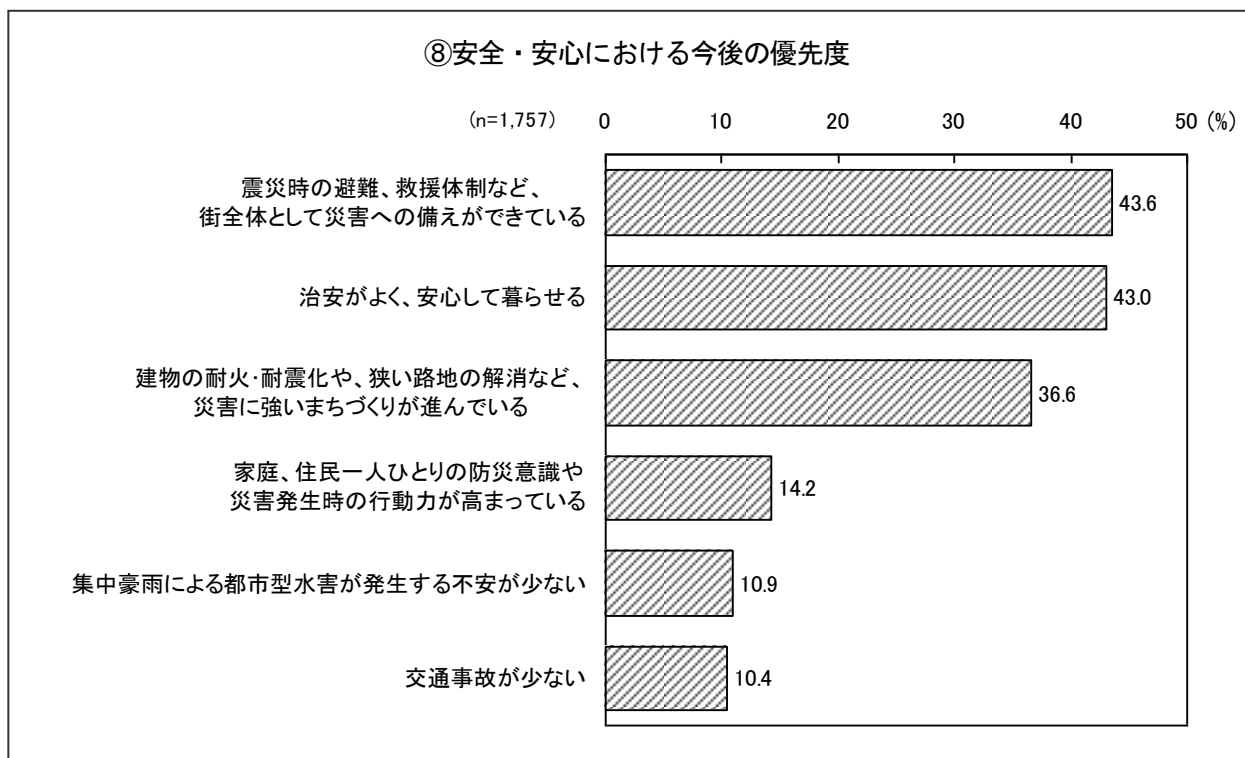
- 都市再生に関する生活環境について、下記の10の項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「身近な生活道路が快適に通行できる」(31.6%)が約3割と最も高く、以下、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(31.1%)、「地域に住みつけるための住宅制度が充実している」(29.4%)などとなっている。



※3つ選択

## ⑧ 安全・安心

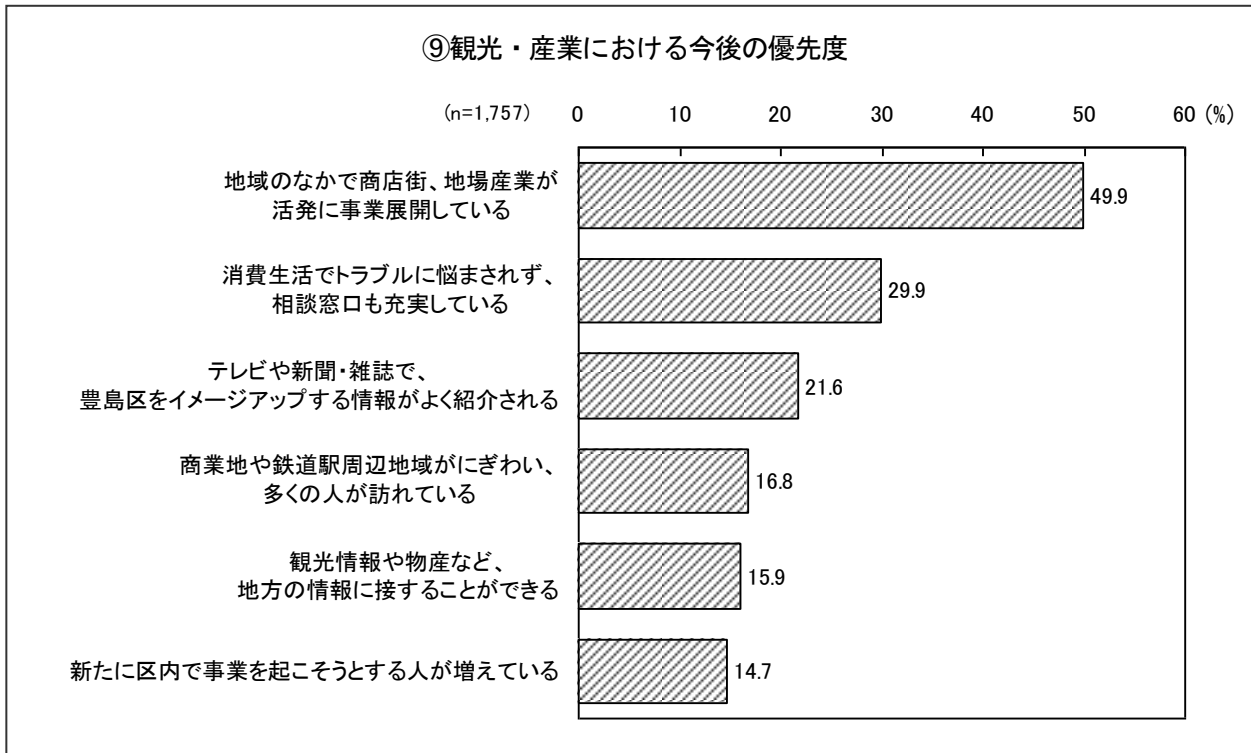
●安全・安心に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができている」(43.6%)が4割台半ばと最も高く、以下、「治安がよく、安心して暮らせる」(43.0%)、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(36.6%)などとなっている。



※2つ選択

## ⑨ 観光・産業

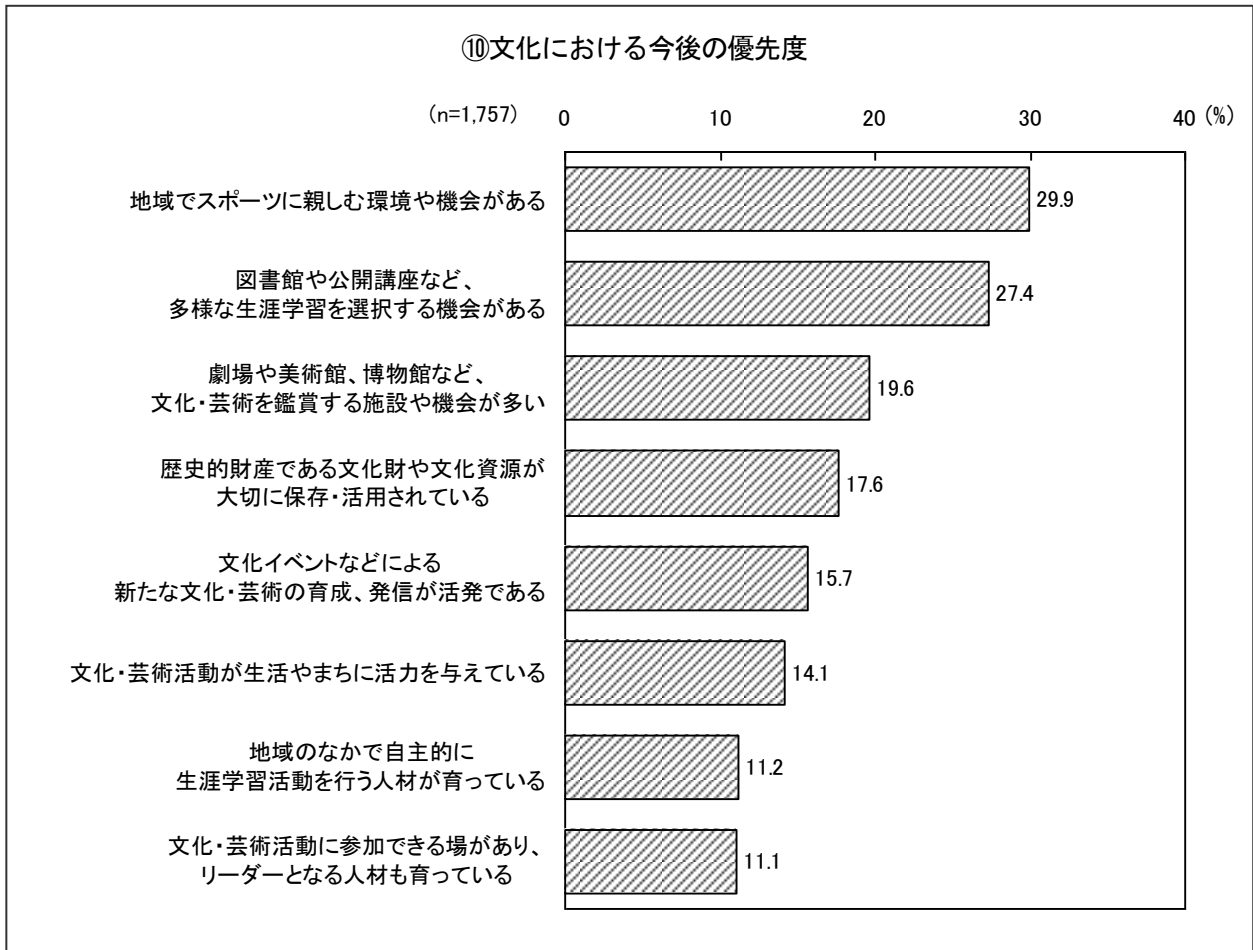
- 観光・産業に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」（49.9％）が約5割と最も高く、以下、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」（29.9％）、「テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」（21.6％）などとなっている。



※2つ選択

## ⑩ 文化

●文化に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(29.9%)が約3割と最も高く、以下、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」(27.4%)、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」(19.6%)などとなっている。



※2つ選択

### 3 「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問4〕

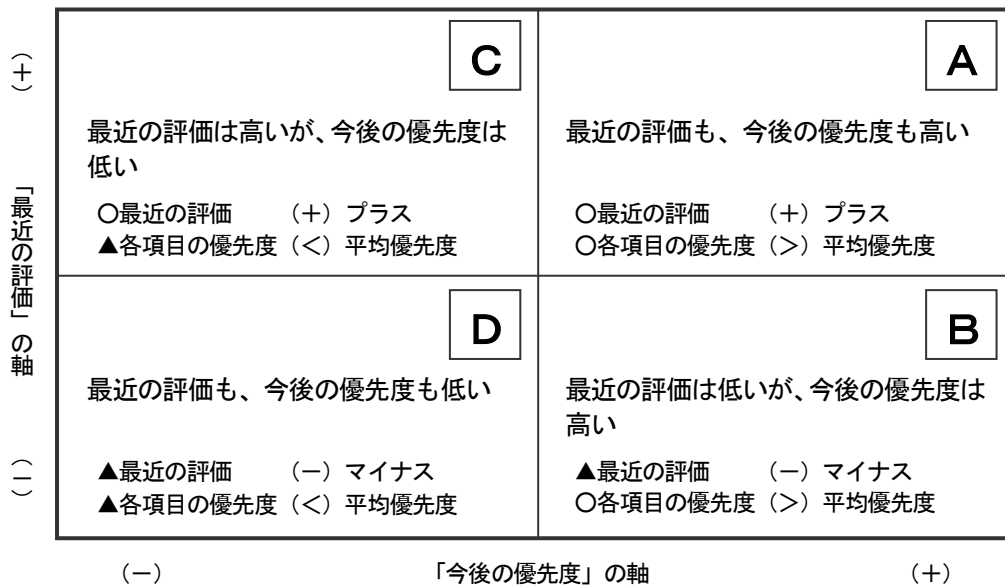
10のグループごとに、「最近の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

《数値化の方法》

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

- 最近の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）
  - 各項目の加重平均値
  - =（「どちらかというと思う」の回答者数×1点+「どちらともいえない」の回答者数×0点+「どちらかというと思わない」の回答者数×-1点）÷回答者数
- 今後の優先度
  - 各項目の回答割合（%）
- 基準軸の設定
  - ・最近の評価：0（ゼロ）を基準
  - ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「最近の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

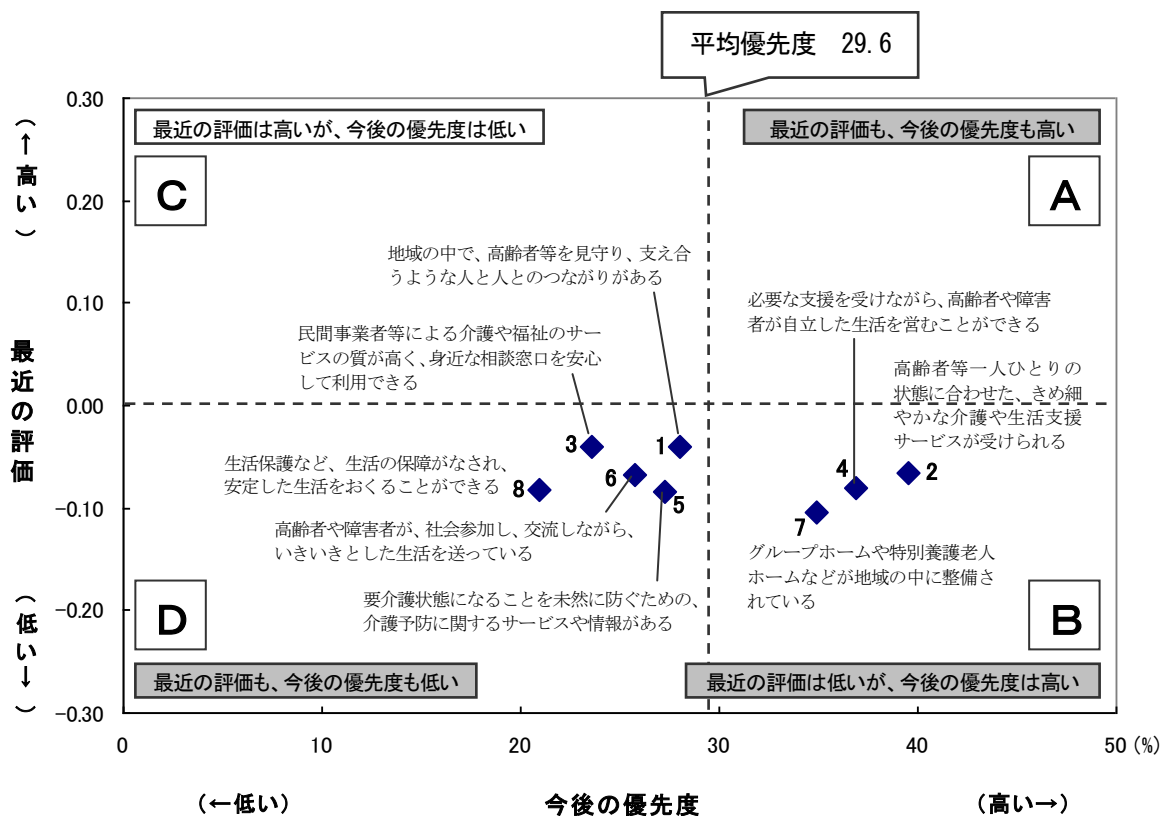


上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

<b>B</b>	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
<b>A</b>	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
<b>D</b>	評価【低】かつ 優先度【低】	
<b>C</b>	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

## ① 福祉

- 福祉に関する生活環境では、8項目のうち3項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、また、5項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」が位置している。



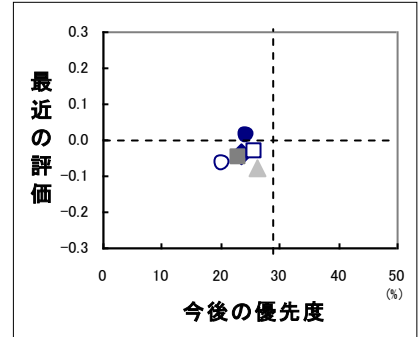
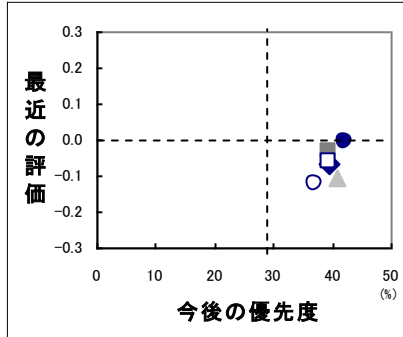
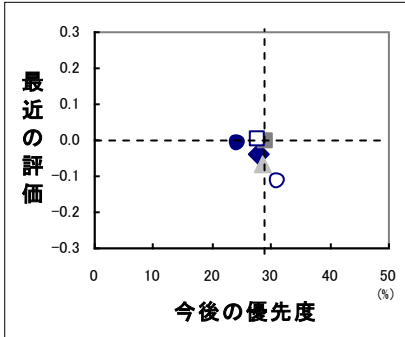


【地域別比較】

1 地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある

2 高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる

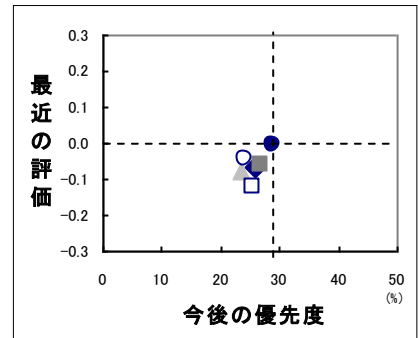
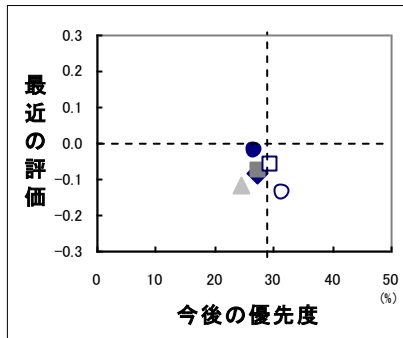
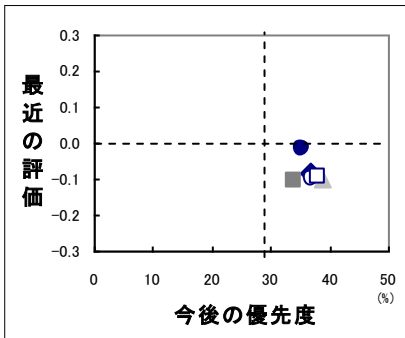
3 民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる



4 必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる

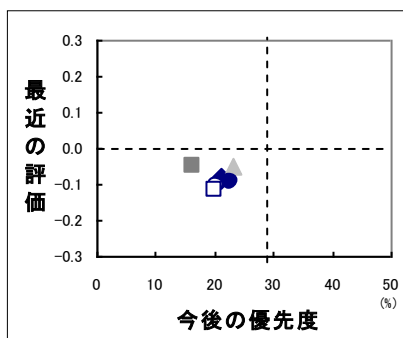
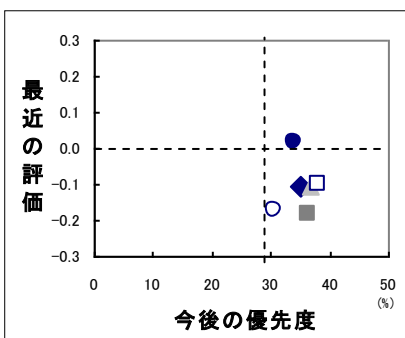
5 要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある

6 高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている



7 グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている

8 生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる



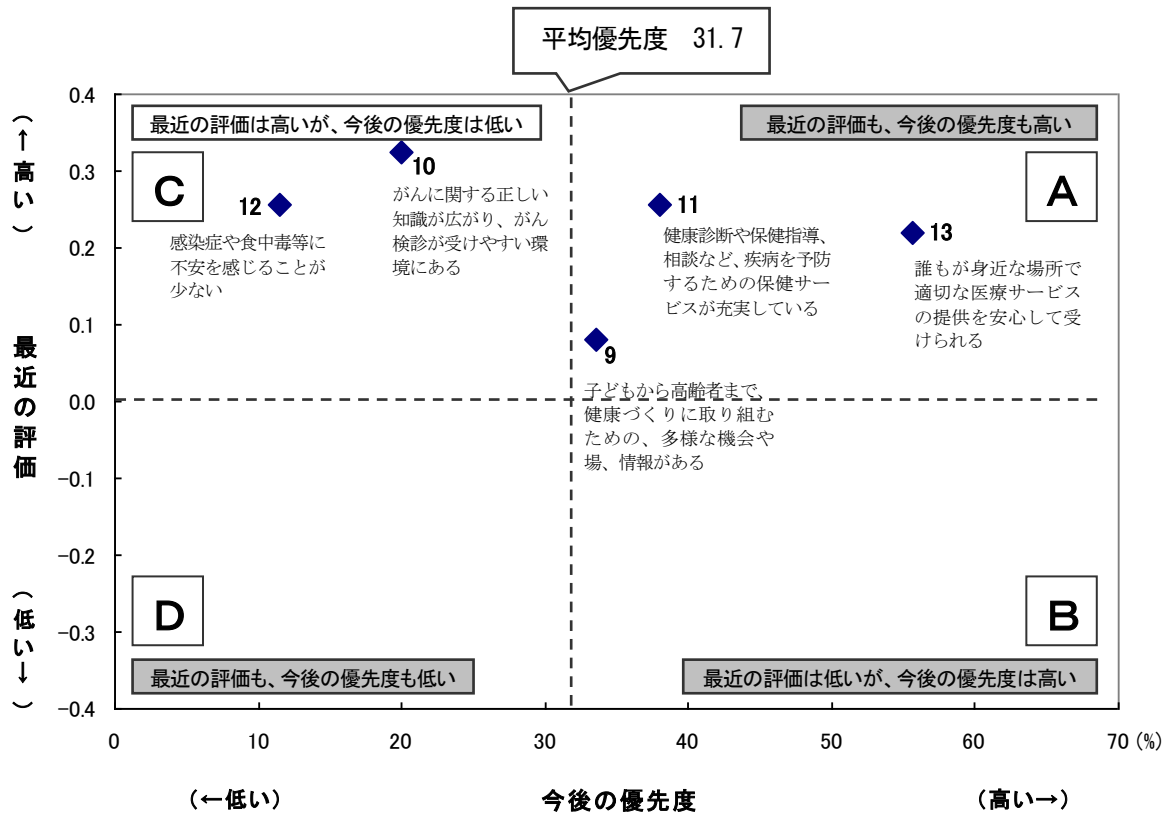
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域
- 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

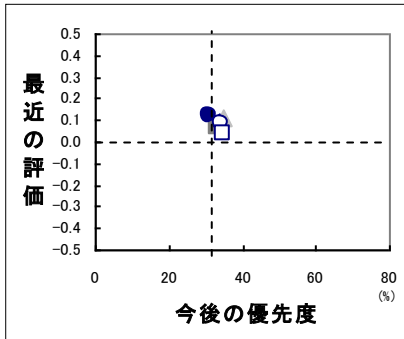
## ② 健康

- 健康に関する生活環境では、5項目のうち3項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に、また、2項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

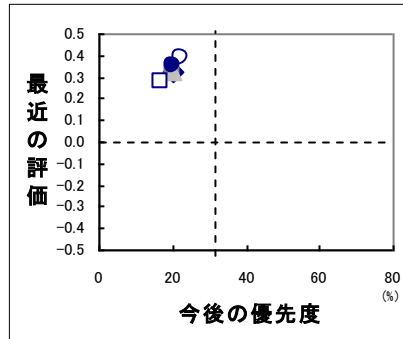


【地域別比較】

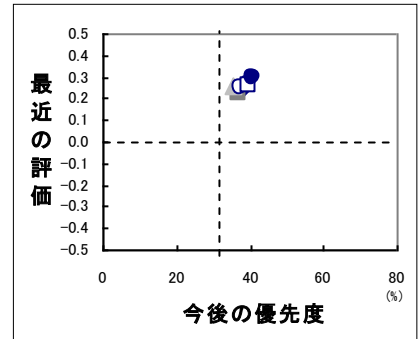
9 子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある



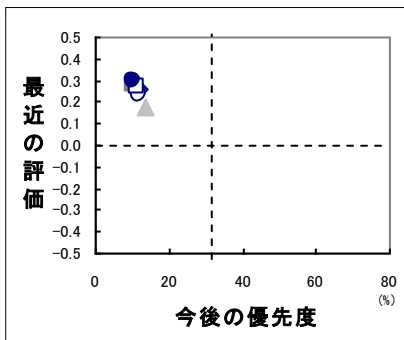
10 がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある



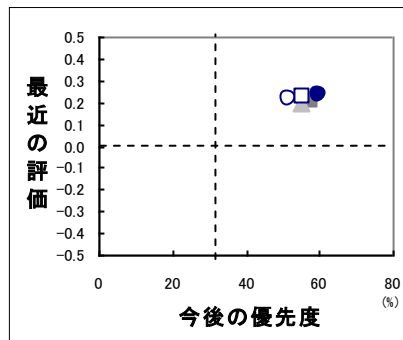
11 健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している



12 感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない



13 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる



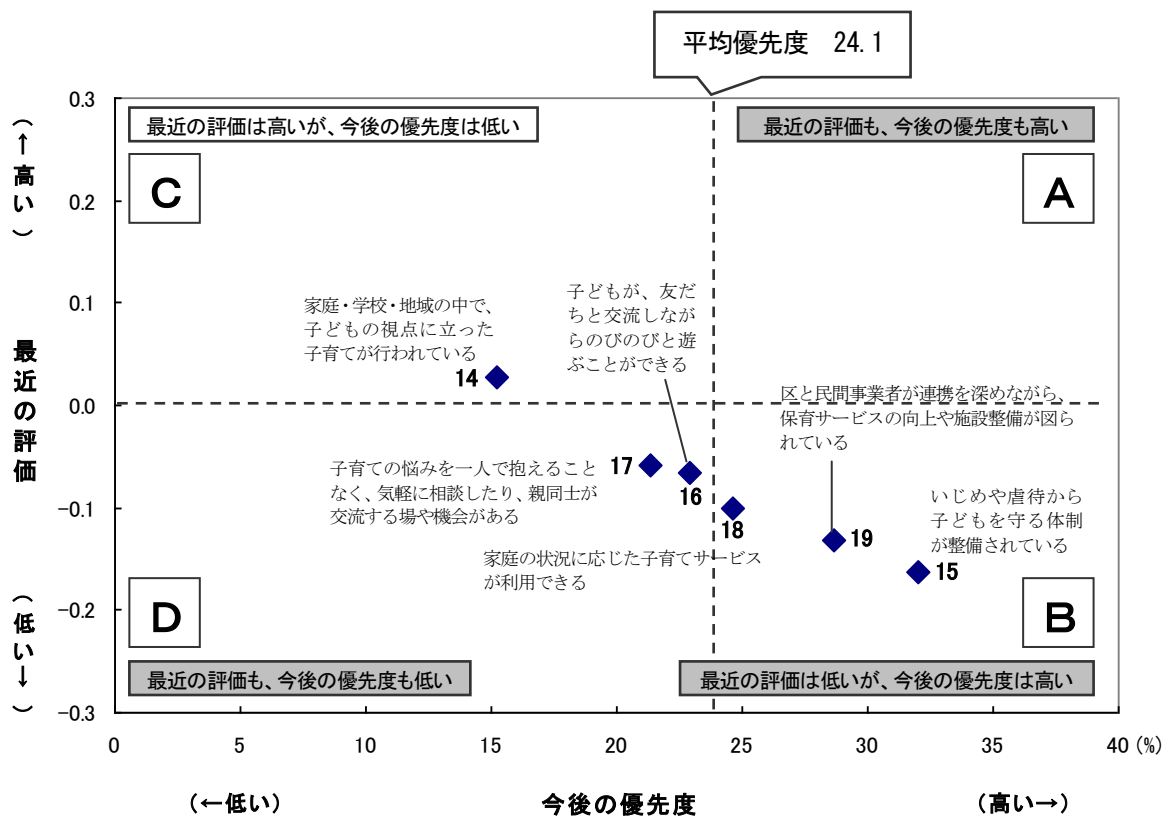
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

### ③ 子育て

- 子育てに関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、1項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」「区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている」「家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる」が位置している。

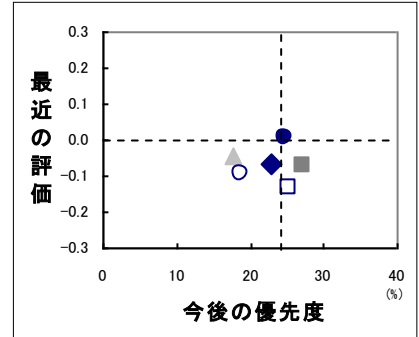
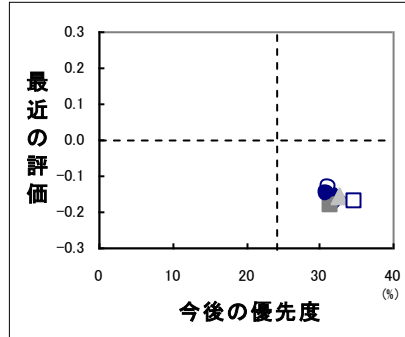
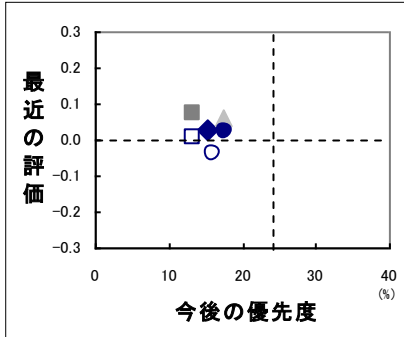


【地域別比較】

14 家庭・学校・地域の中で、  
子どもの視点に立った子育て  
が行われている

15 いじめや虐待から子ども  
を守る体制が整備されてい  
る

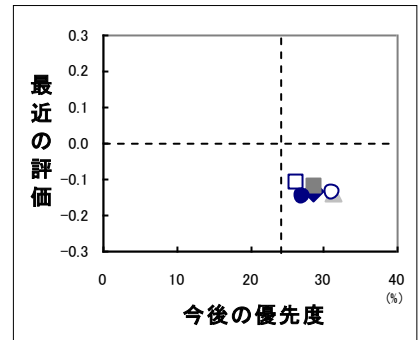
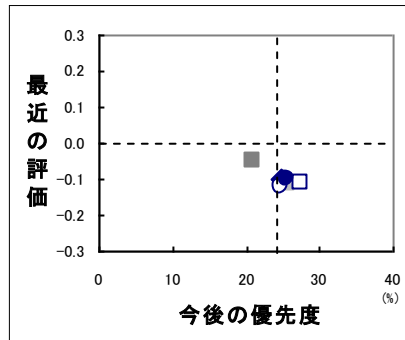
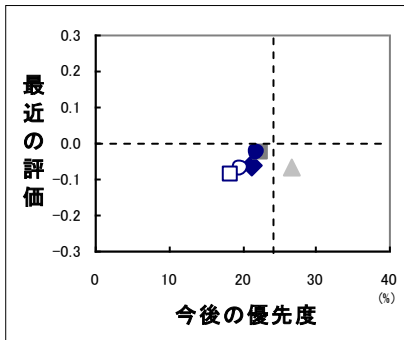
16 子どもが、友だちと交流し  
ながらのびのびと遊ぶこと  
ができる



17 子育ての悩みを一人で抱  
えることなく、気軽に相談  
したり、親同士が交流する  
場や機会がある

18 家庭の状況に応じた子育  
てサービスが利用できる

19 区と民間事業者が連携を  
深めながら、保育サービ  
スの向上や施設整備が図ら  
れている



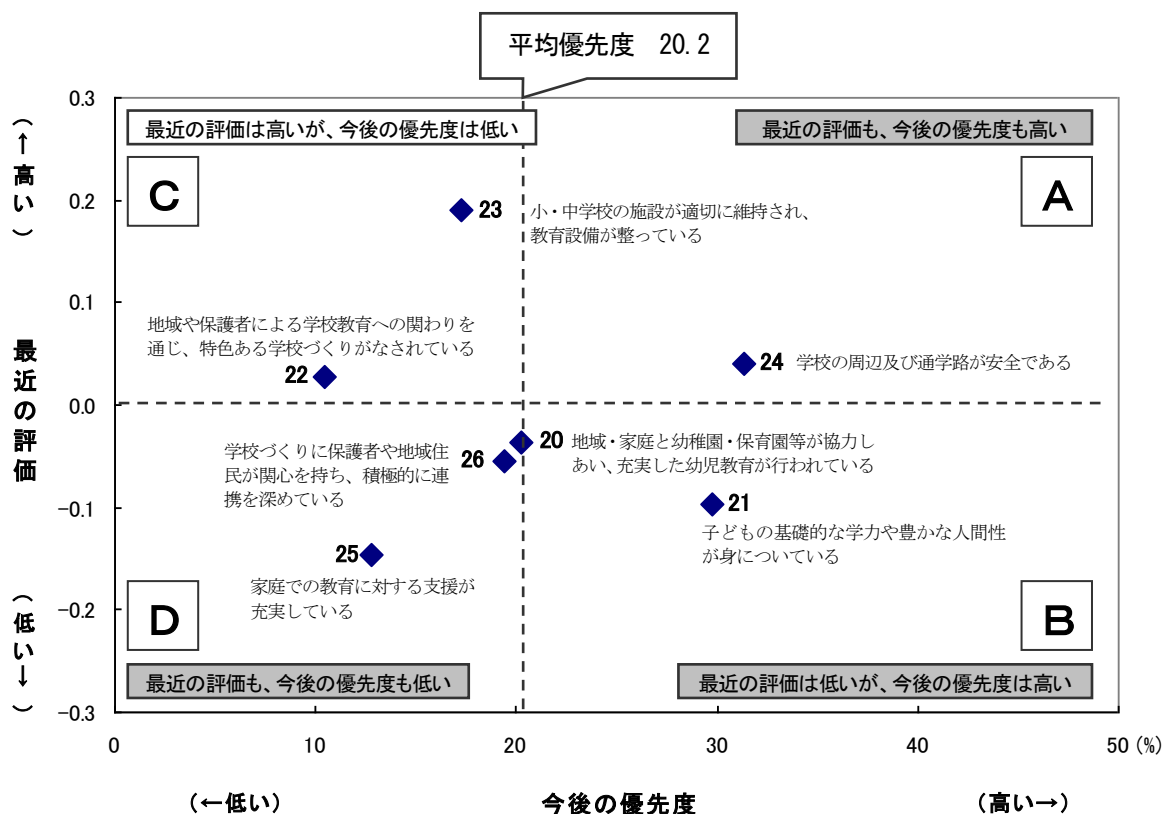
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

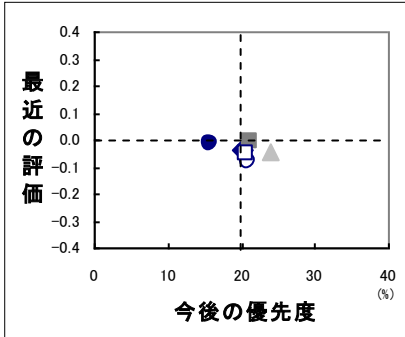
#### ④ 教育

- 教育に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、3項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」が位置している。

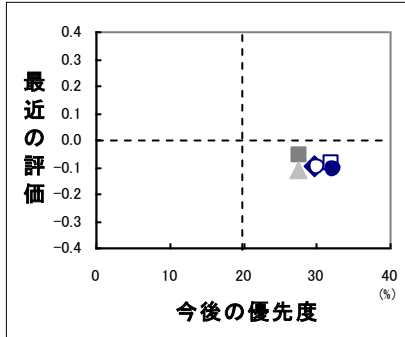


【地域別比較】

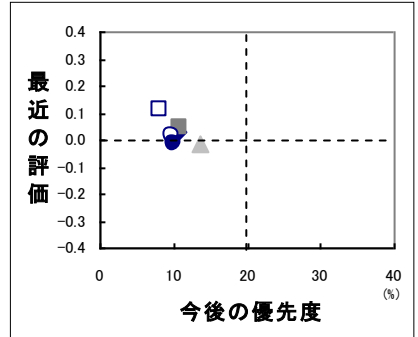
20 地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている



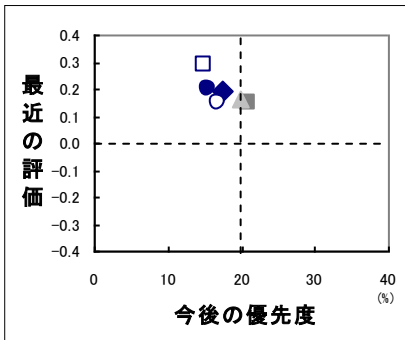
21 子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている



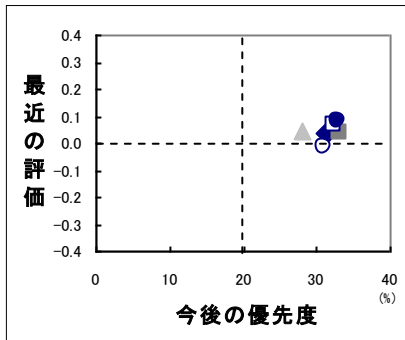
22 地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている



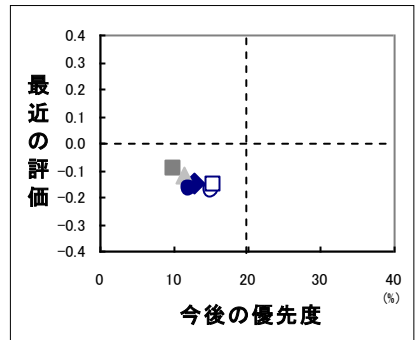
23 小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている



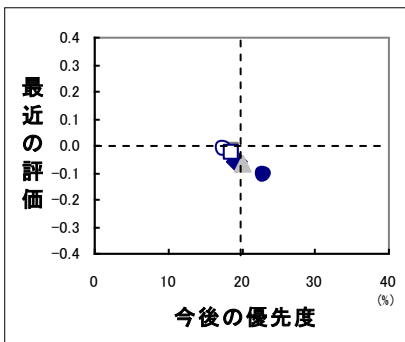
24 学校の周辺及び通学路が安全である



25 家庭での教育に対する支援が充実している



26 学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている



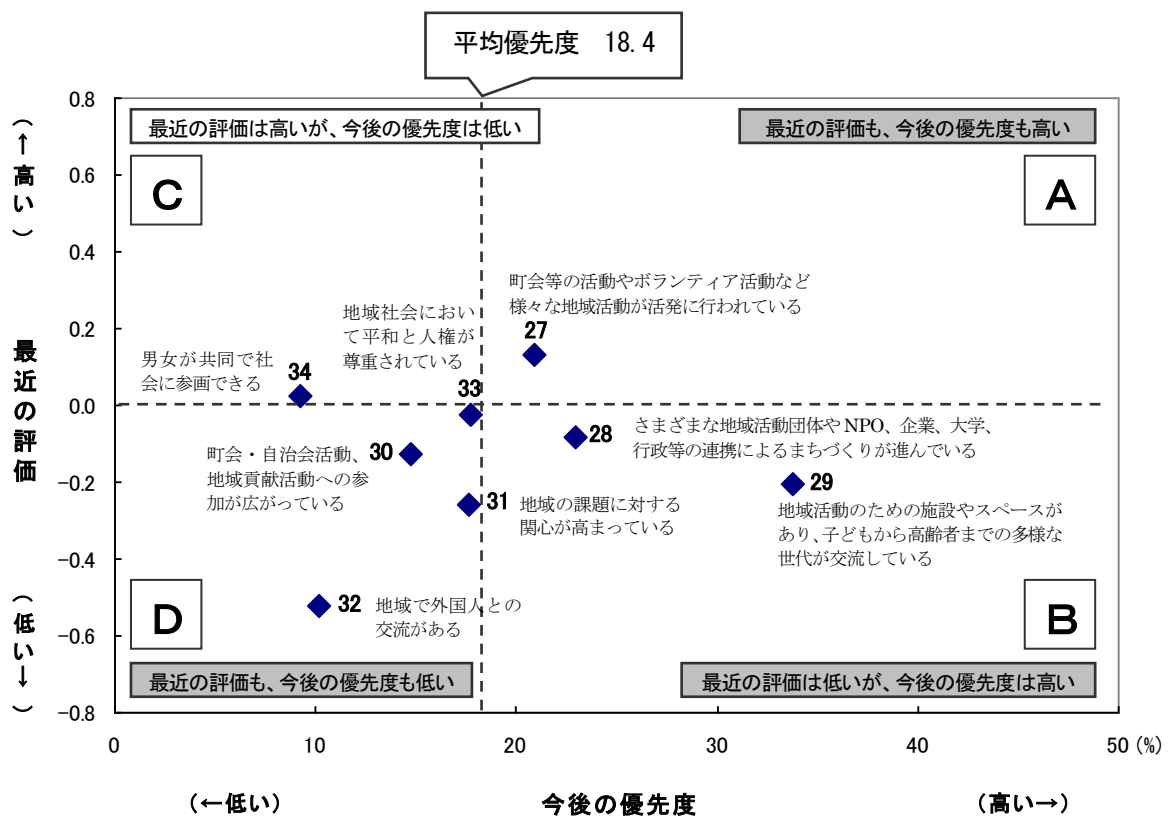
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

## ⑤ コミュニティ・協働

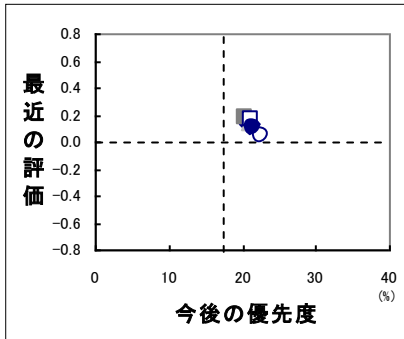
- コミュニティ・協働に関する生活環境では、8項目のうち1項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、4項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」「さまざまな地域活動団体や NPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」が位置している。



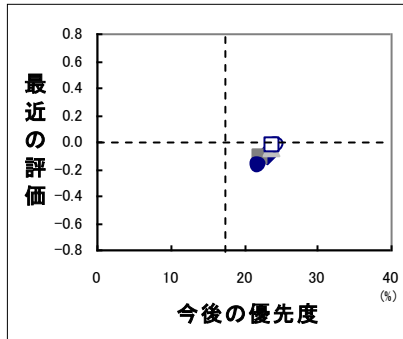


【地域別比較】

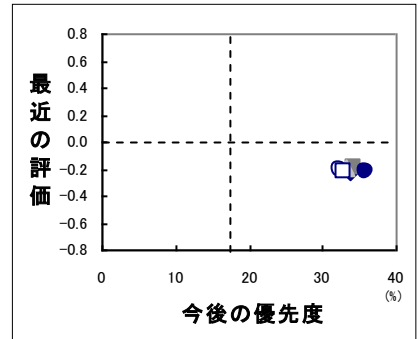
27 町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている



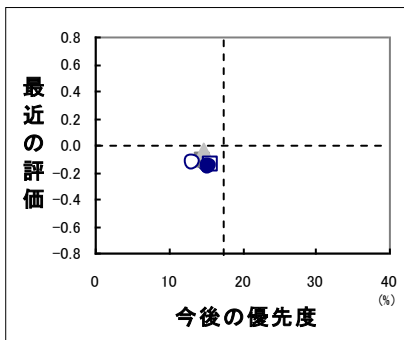
28 さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる



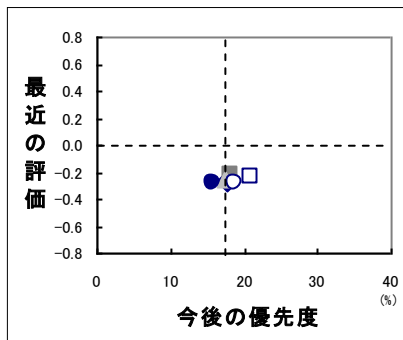
29 地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している



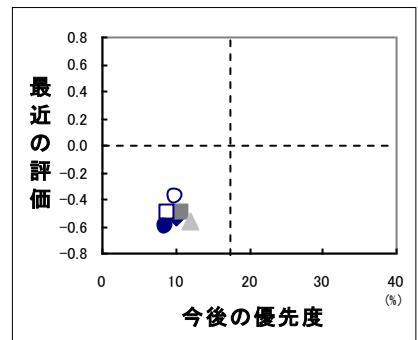
30 町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている



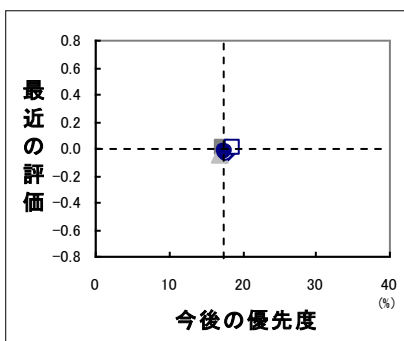
31 地域の課題に対する関心が高まっている



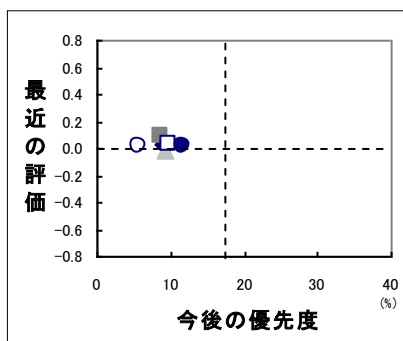
32 地域で外国人との交流がある



33 地域社会において平和と人権が尊重されている



34 男女が共同で社会に参画できる



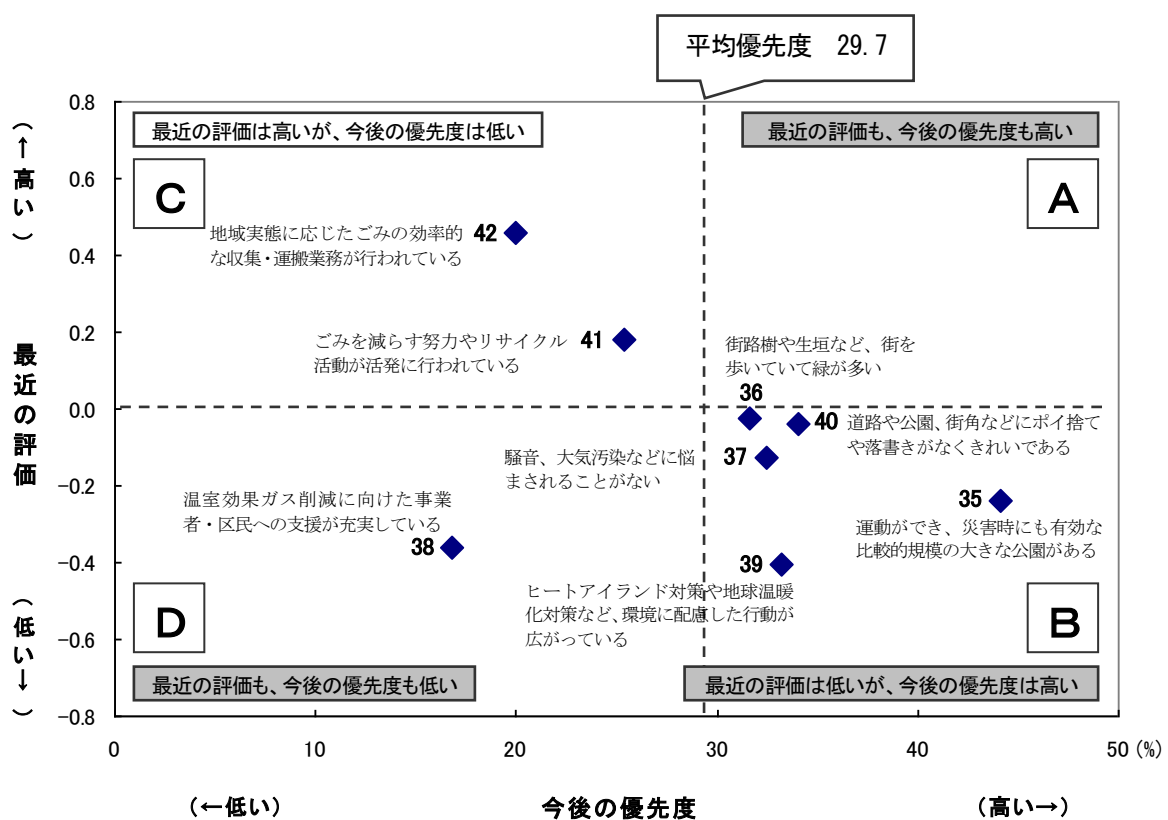
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

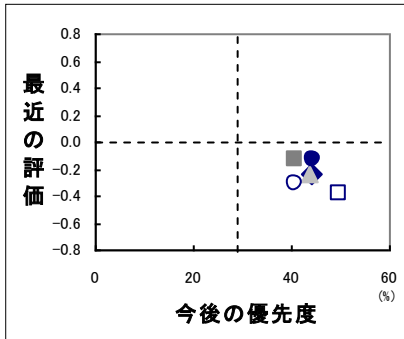
## ⑥ 環境

- 環境に関する生活環境では、8項目のうち5項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、2項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」「騒音、大気汚染などに悩まされることがない」「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」が位置している。

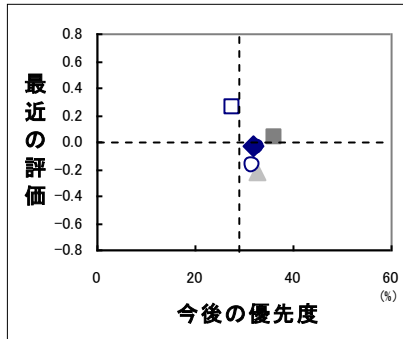


【地域別比較】

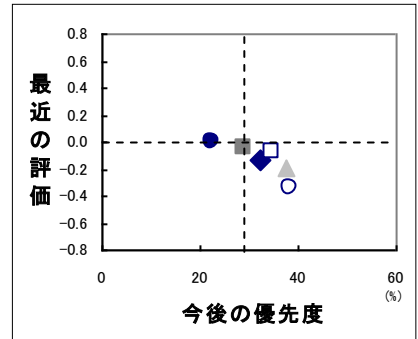
35 運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある



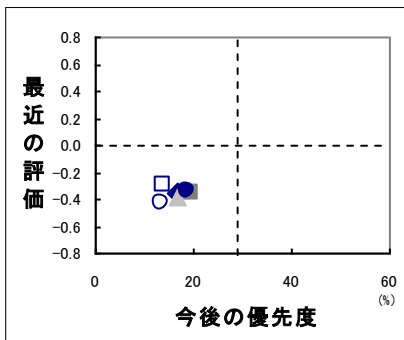
36 街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い



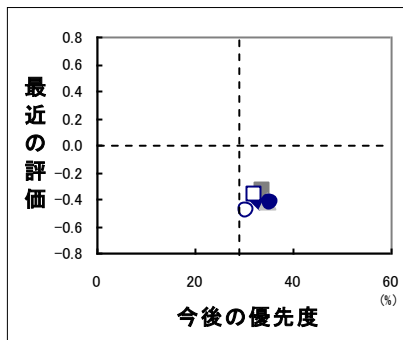
37 騒音、大気汚染などに悩まされることがない



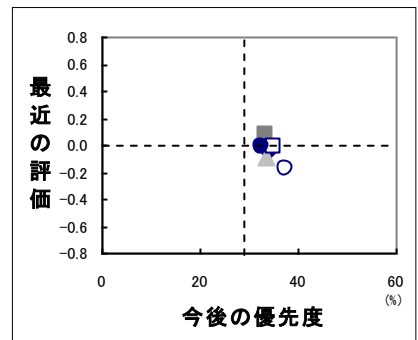
38 温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している



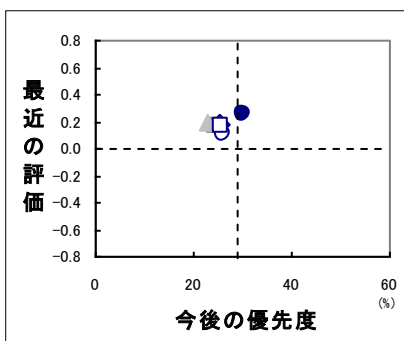
39 ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている



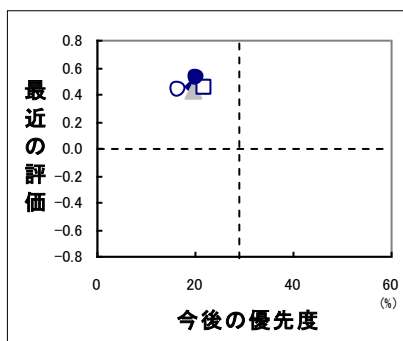
40 道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである



41 ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている



42 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている



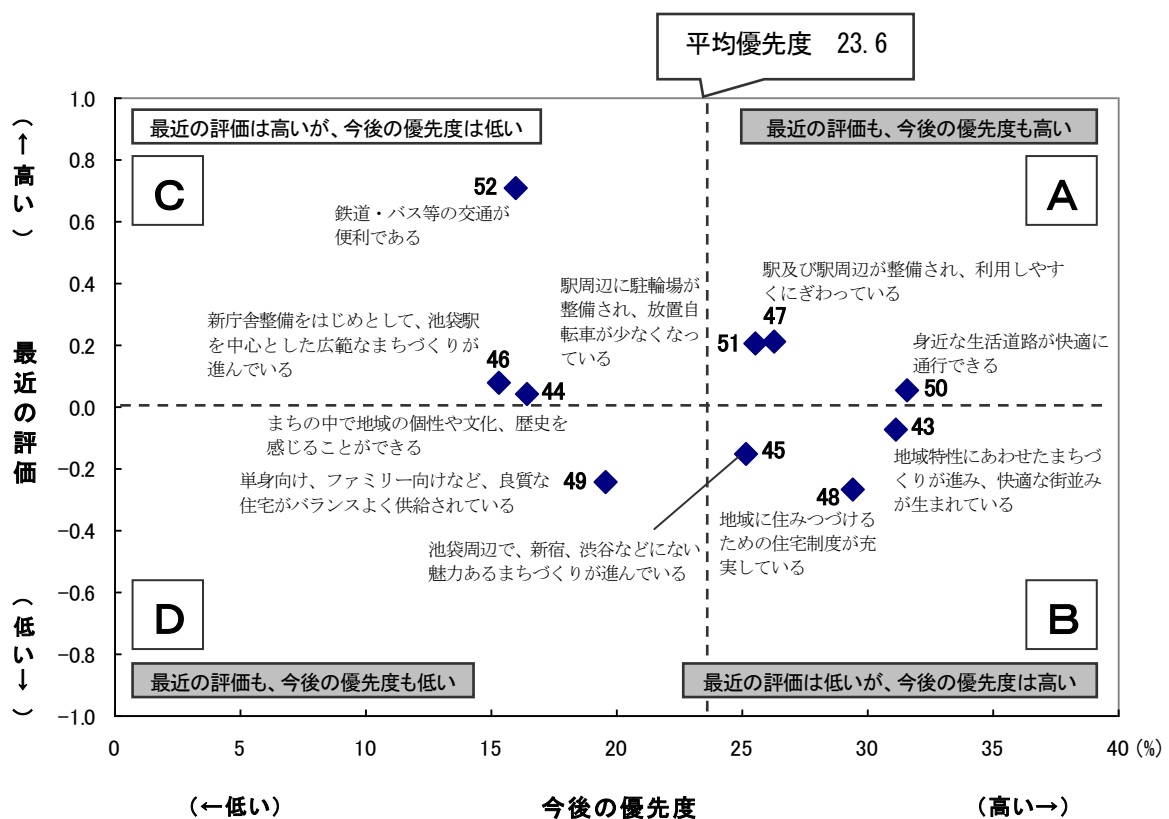
【凡例】

- 全 (◆) : 区全体
- 東 (■) : 東部地域
- 西 (●) : 西部地域
- 南 (□) : 南部地域
- 北 (▲) : 北部地域
- 中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

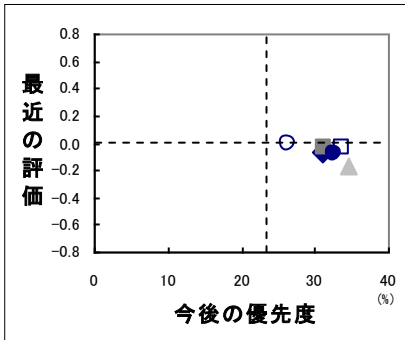
## ⑦ 都市再生

- 都市再生に関する生活環境では、10項目のうち3項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」「地域に住みつつけるための住宅制度が充実している」「池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる」が位置している。

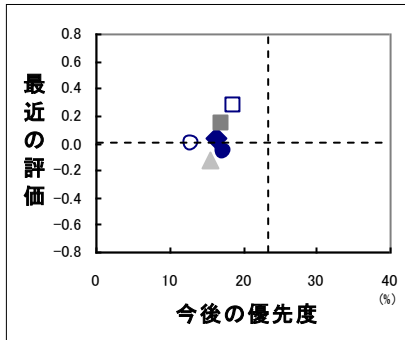


【地域別比較】

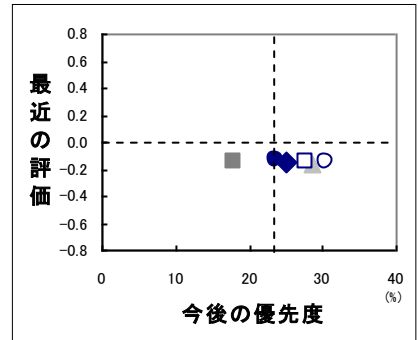
43 地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている



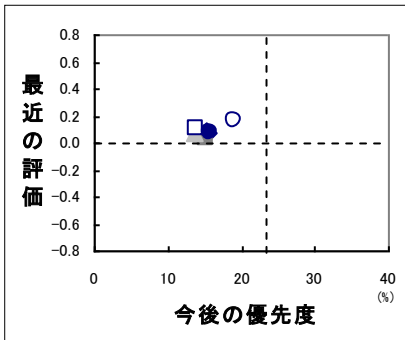
44 まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる



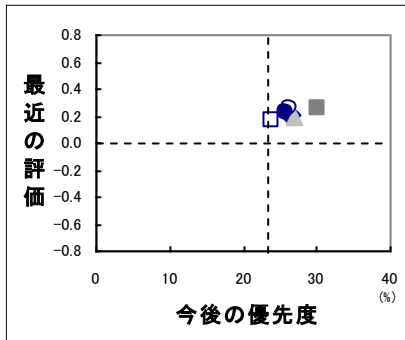
45 池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる



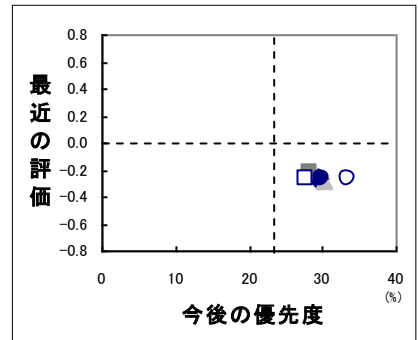
46 新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる



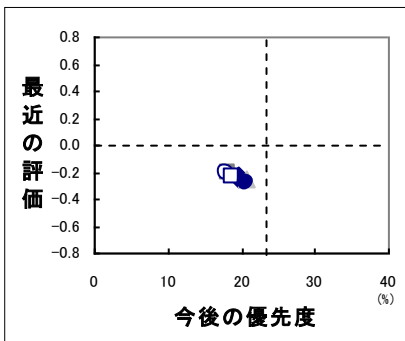
47 駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている



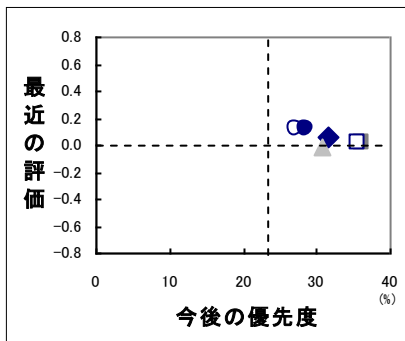
48 地域に住みつけるための住宅制度が充実している



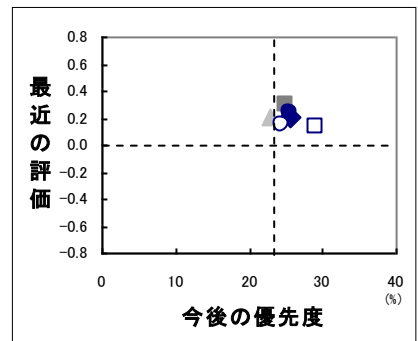
49 单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている



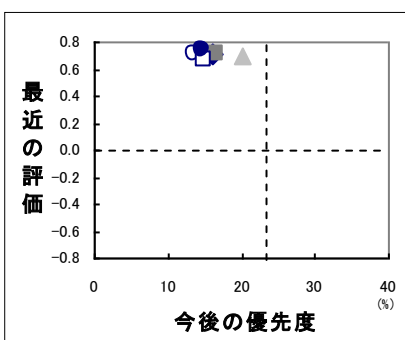
50 身近な生活道路が快適に通行できる



51 駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている



52 鉄道・バス等の交通が便利である



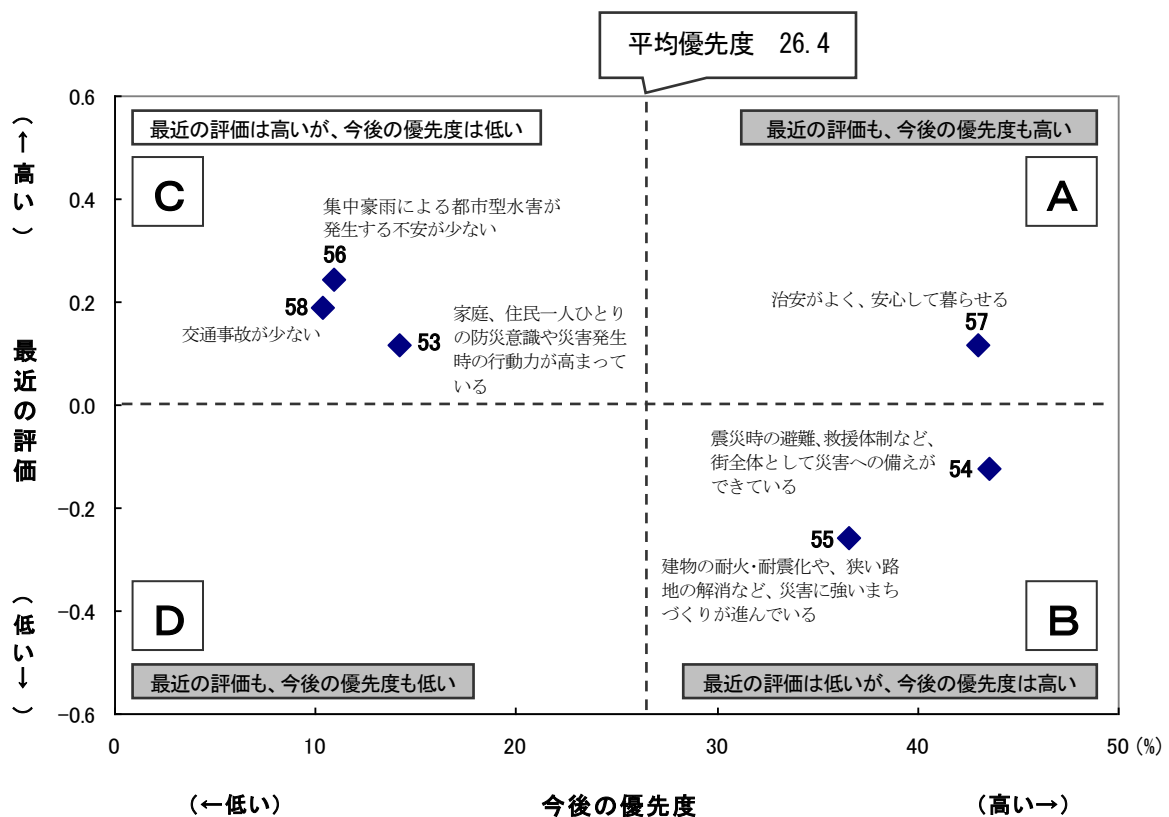
【凡例】

全 (◆) : 区全体	東 (■) : 東部地域
西 (●) : 西部地域	南 (□) : 南部地域
北 (▲) : 北部地域	中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

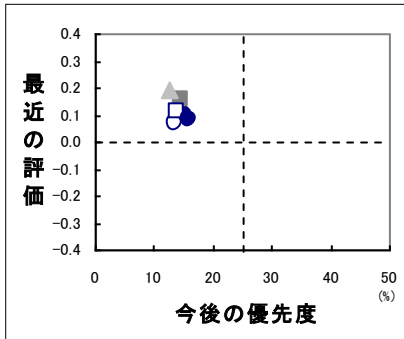
### ⑧ 安全・安心

- 安全・安心に関する生活環境では、6項目のうち1項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています」「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が位置している。

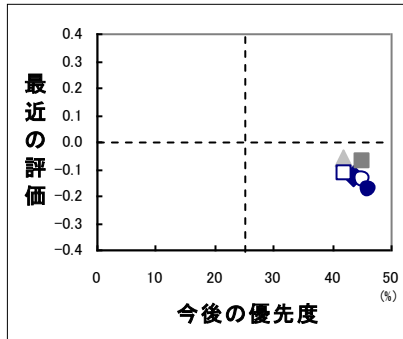


【地域別比較】

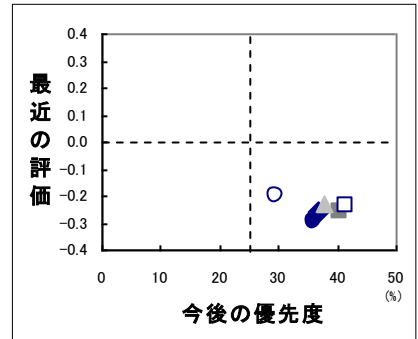
53 家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている



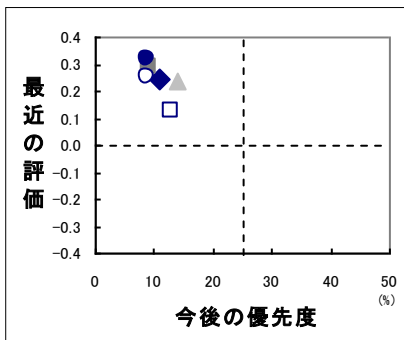
54 震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています



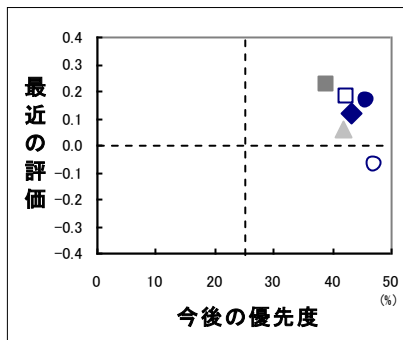
55 建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる



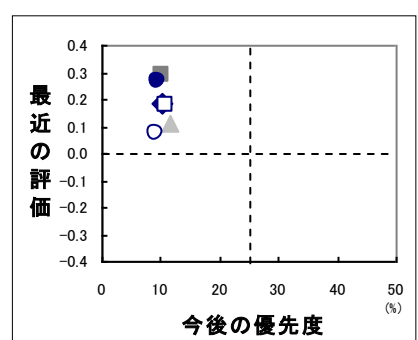
56 集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない



57 治安がよく、安心して暮らせる



58 交通事故が少ない



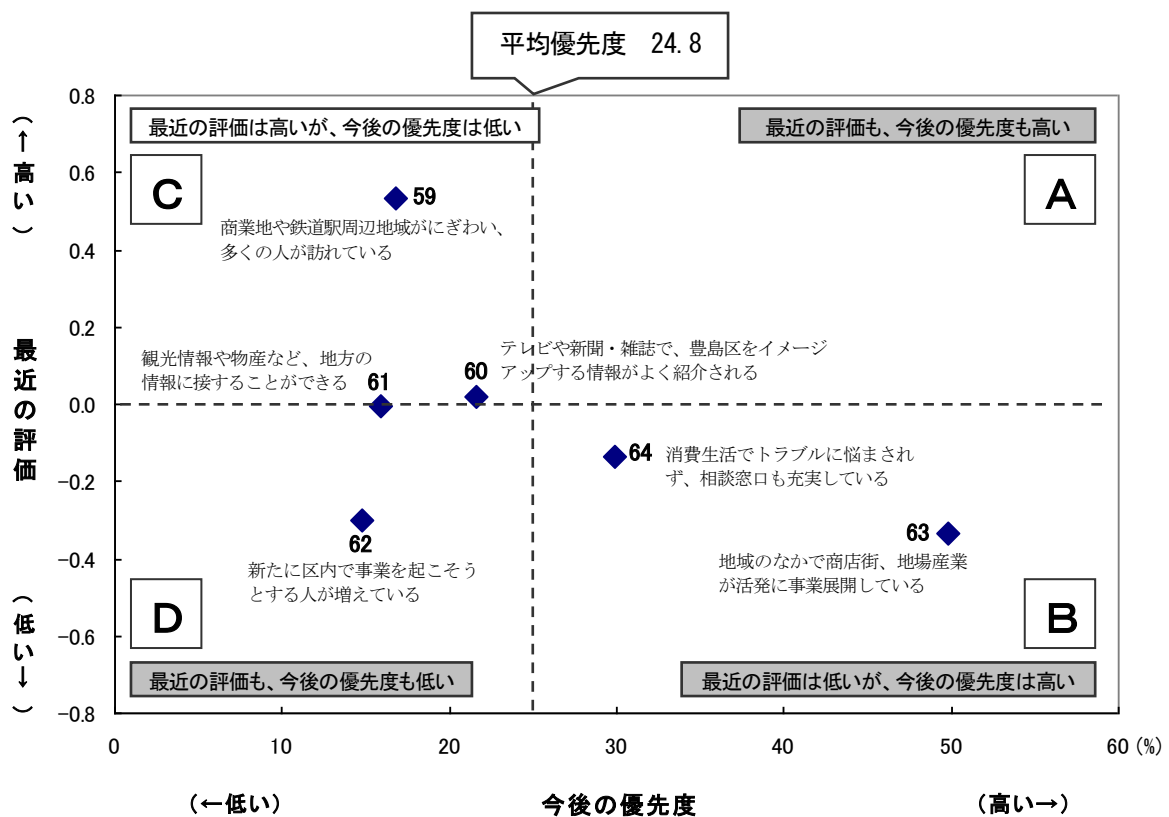
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

## ⑨ 観光・産業

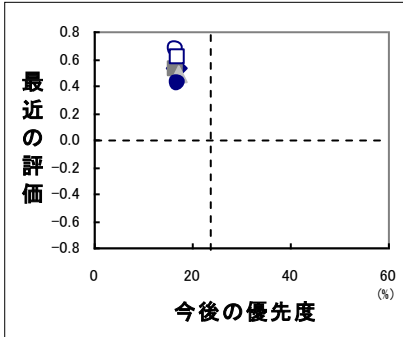
- 観光・産業に関する生活環境では、6項目のうち2項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。また、3項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」が位置している。



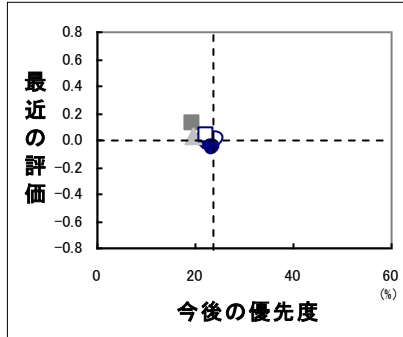


【地域別比較】

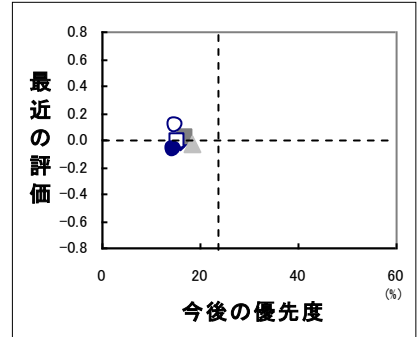
59 商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている



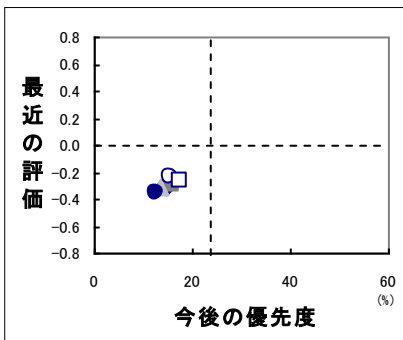
60 テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される



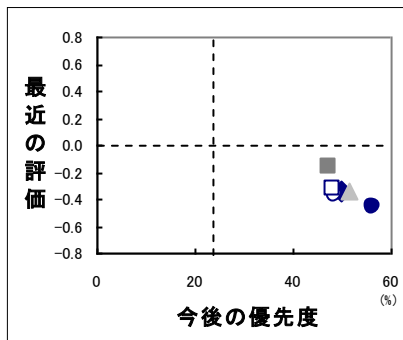
61 観光情報や物産など、地方の情報に接することができる



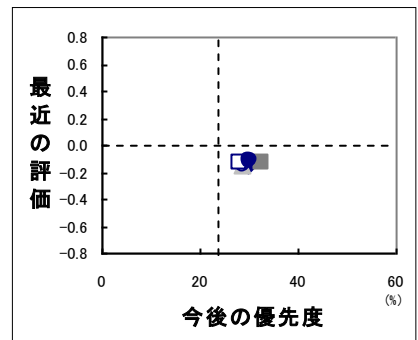
62 新たに区内で事業を起ころうとする人が増えている



63 地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している



64 消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している



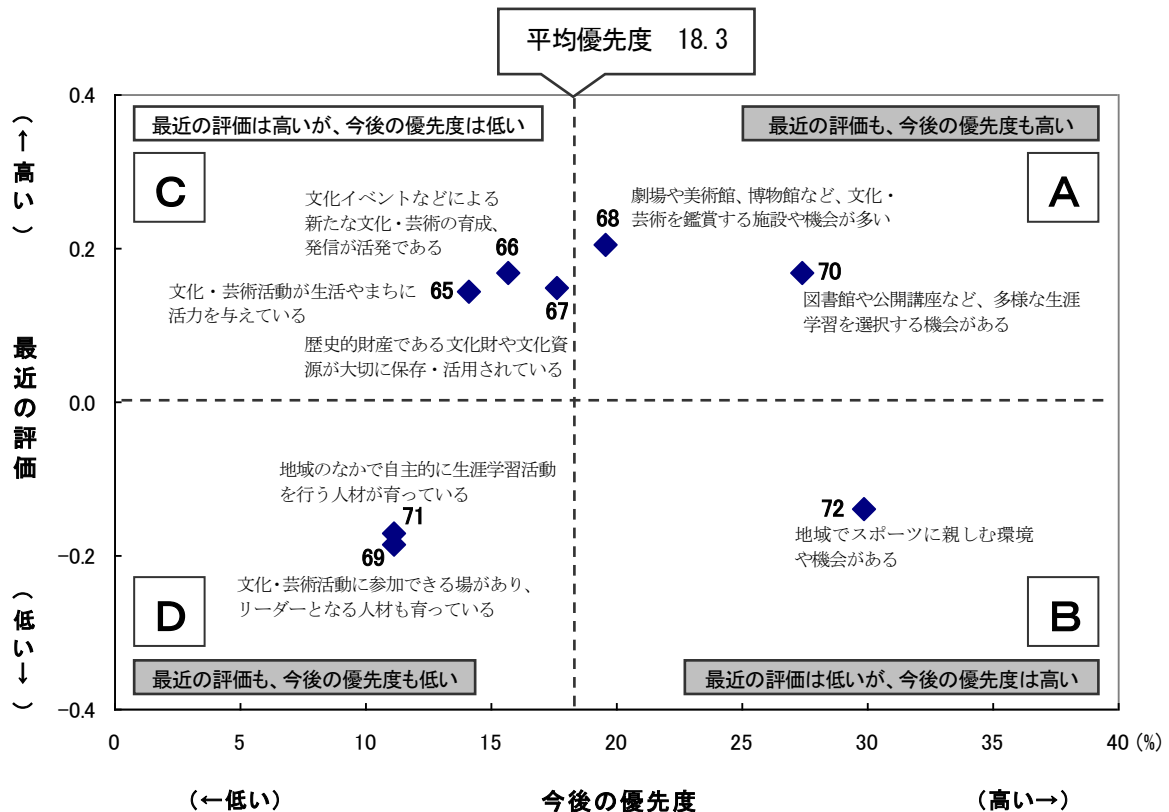
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

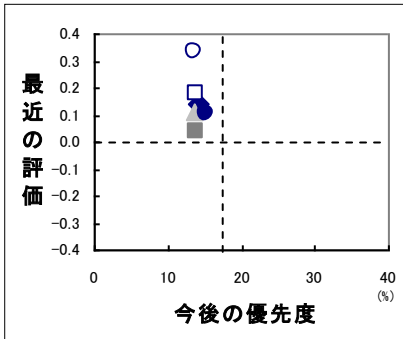
## ⑩ 文化

- 文化に関する生活環境では、8項目のうち2項目が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

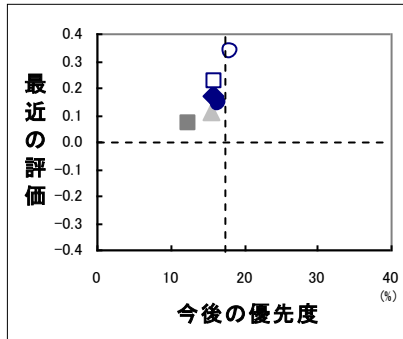


【地域別比較】

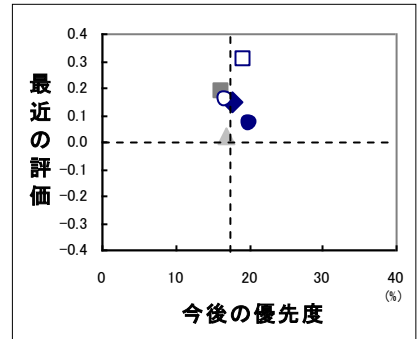
65 文化・芸術活動が生活やま  
ちに活力を与えている



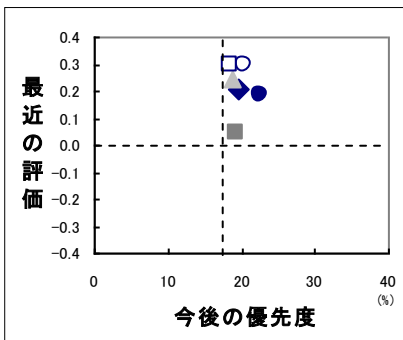
66 文化イベントなどによる  
新たな文化・芸術の育成、  
発信が活発である



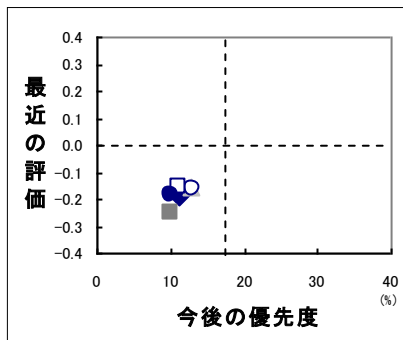
67 歴史的財産である文化財  
や文化資源が大切に保存・  
活用されている



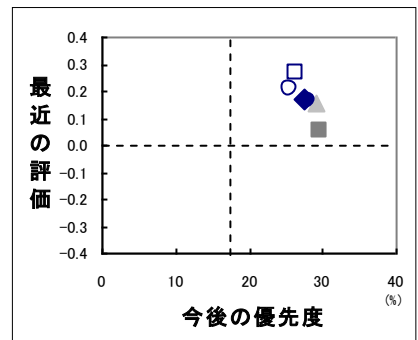
68 劇場や美術館、博物館な  
ど、文化・芸術を鑑賞する  
施設や機会が多い



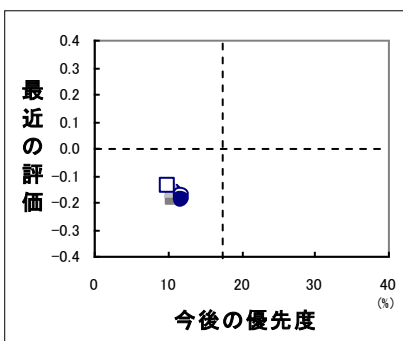
69 文化・芸術活動に参加でき  
る場があり、リーダーとな  
る人材も育っている



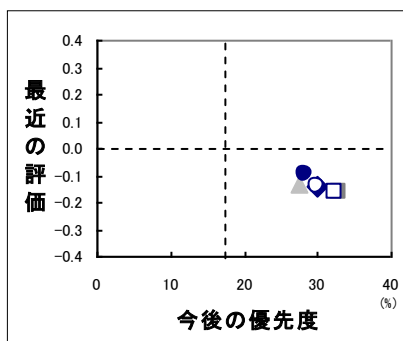
70 図書館や公開講座など、多  
様な生涯学習を選択する機  
会がある



71 地域のなかで自主的に生  
涯学習活動を行う人材が育  
っている



72 地域でスポーツに親しむ  
環境や機会がある



【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (□) : 南部地域  
北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

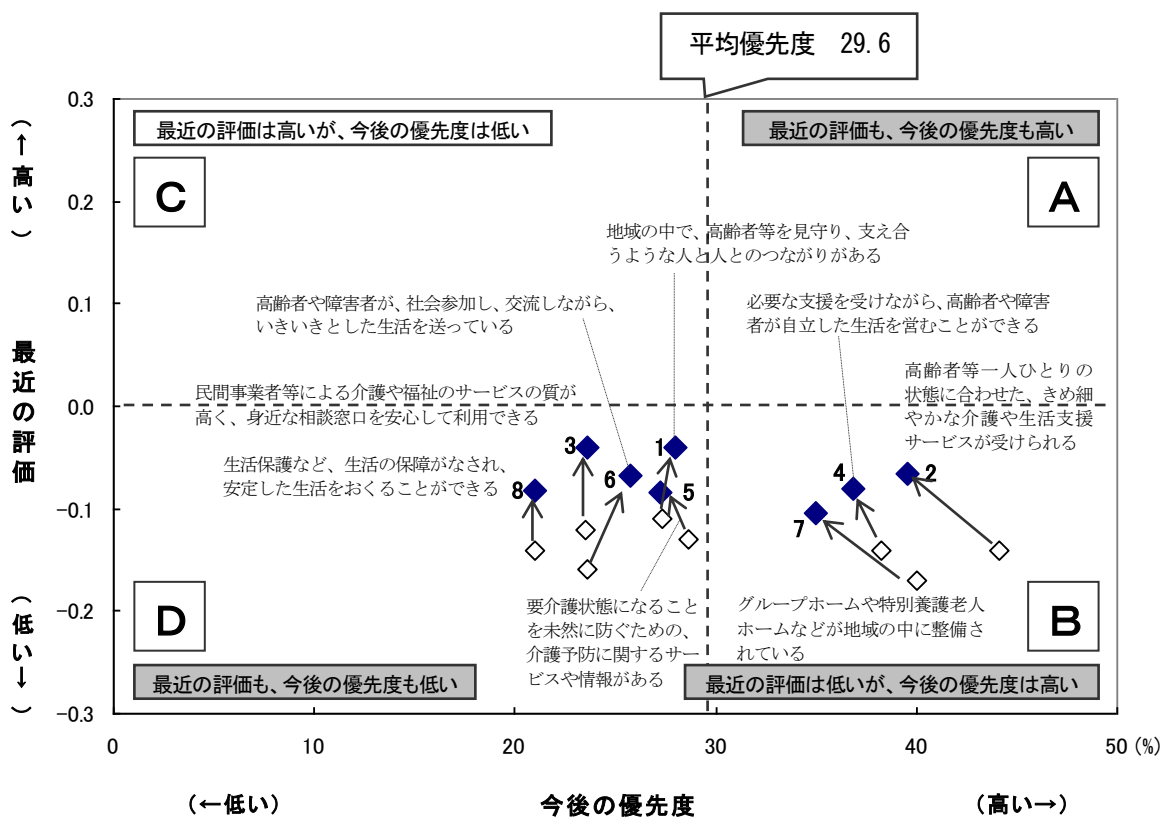
## 4 総合分析の経年比較〔問4〕

総合分析を前回調査と比較した。◆が今回調査、◇が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

なお、前回調査から項目を一部変更しているため、選択数を限定した「今後の優先度」の数値については参考とする。

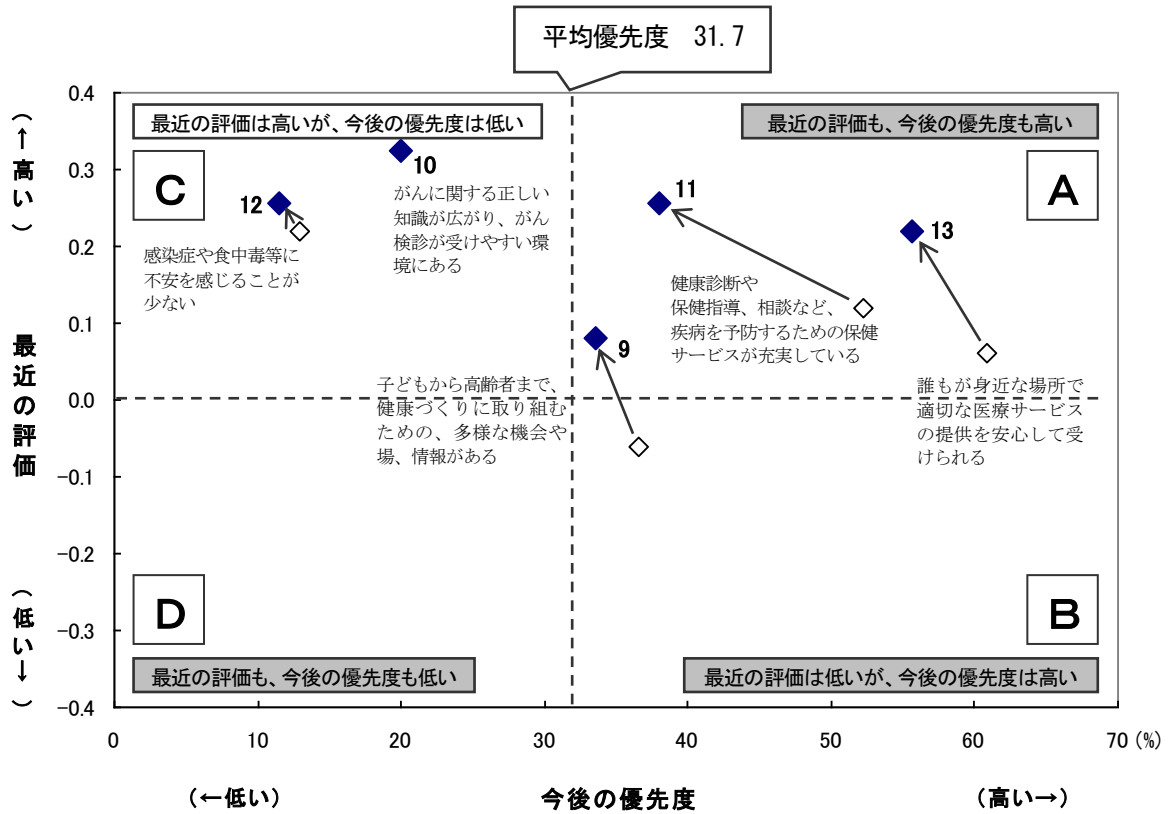
### ① 福祉

●福祉に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



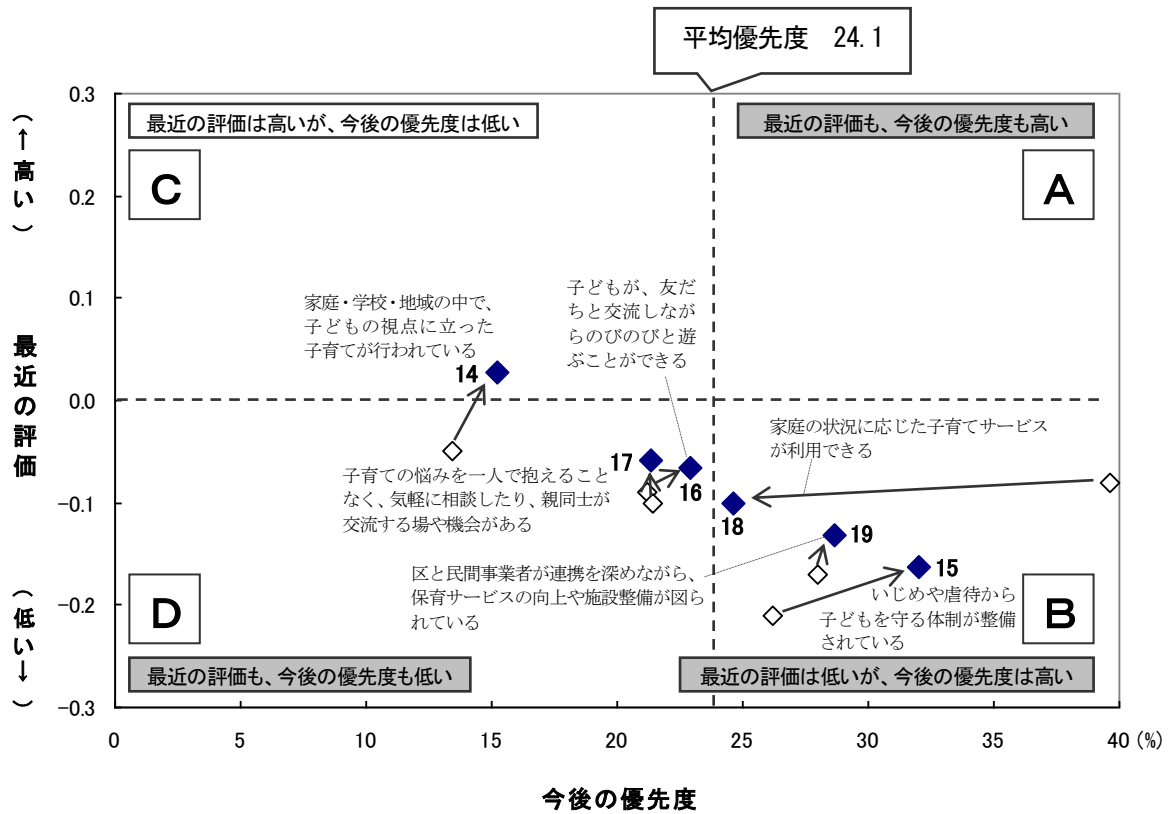
## ② 健康

- 健康に関する生活環境では、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」から「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。



### ③ 子育て

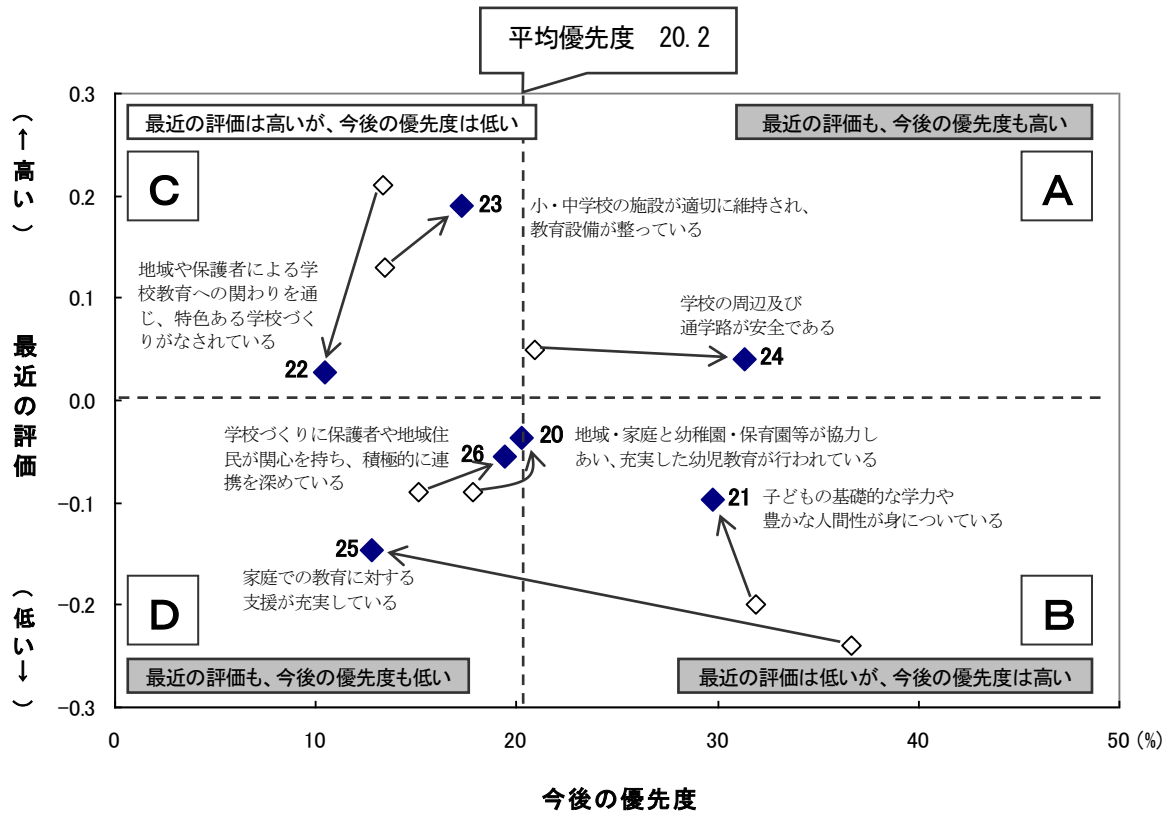
- 子育てに関する生活環境では、「家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている」が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。



※「区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている」は、前回は「地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている」であった。

#### ④ 教育

●教育に関する生活環境では、「家庭での教育に対する支援が充実している」が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

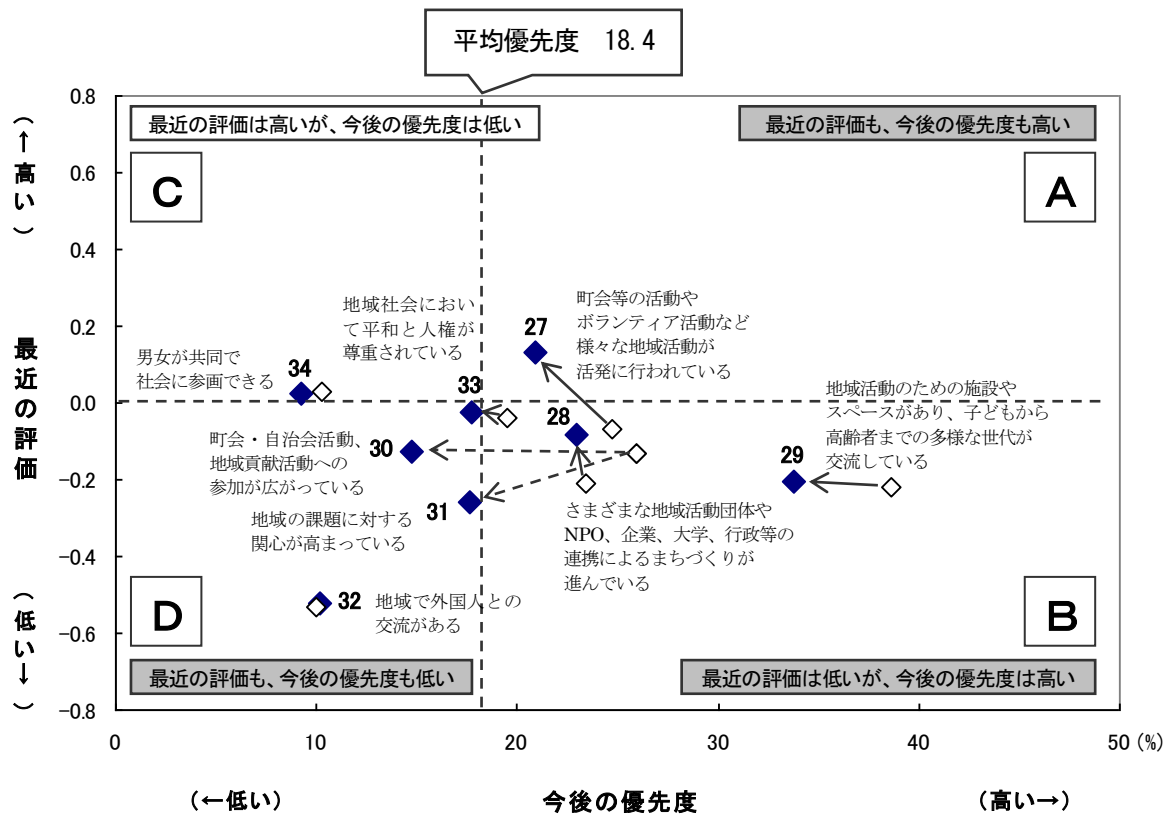


※「地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている」は、前回は「学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている」であった。

※「家庭での教育に対する支援が充実している」は、前回は「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」であった。

## ⑤ コミュニティ・協働

- コミュニティ・協働に関する生活環境では、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」から「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「地域社会において平和と人権が尊重されている」が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」から「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

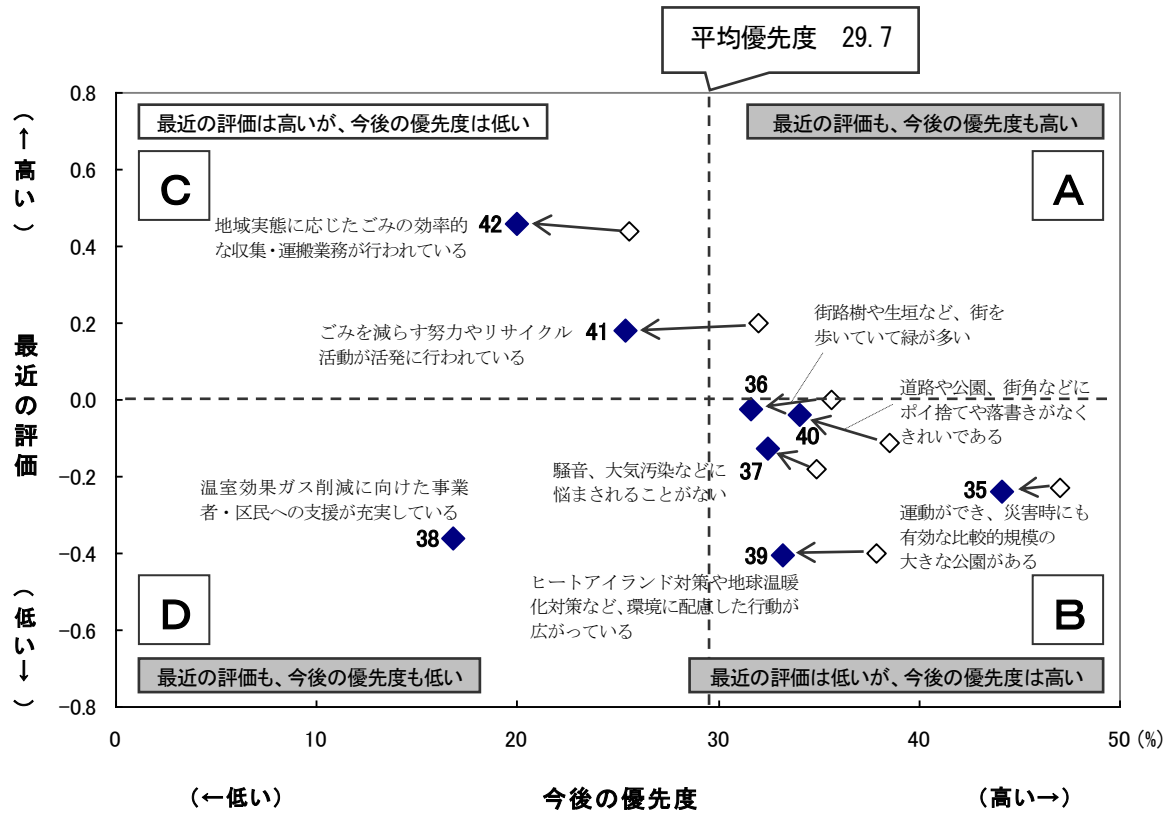


※「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」と「地域の課題に対する関心が高まっている」は、前回は「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている」であった。



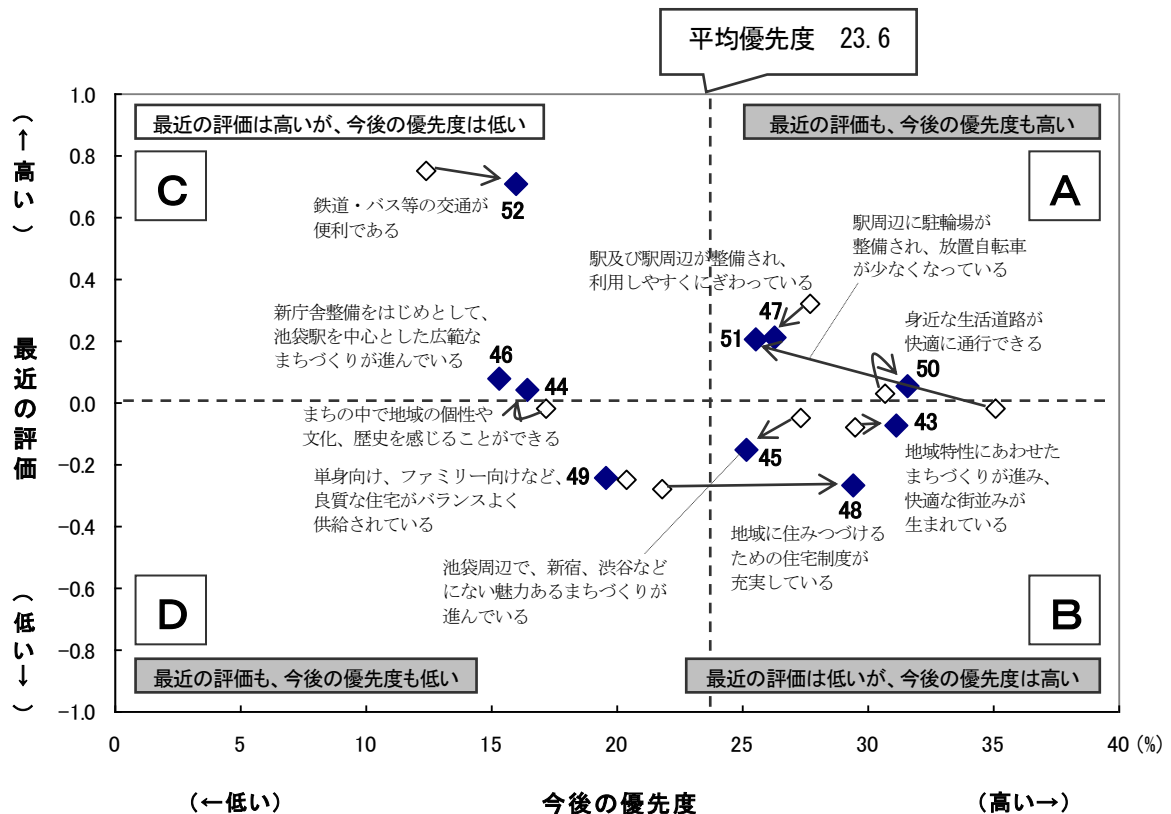
⑥ 環境

●環境に関する生活環境では、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。



## ⑦ 都市再生

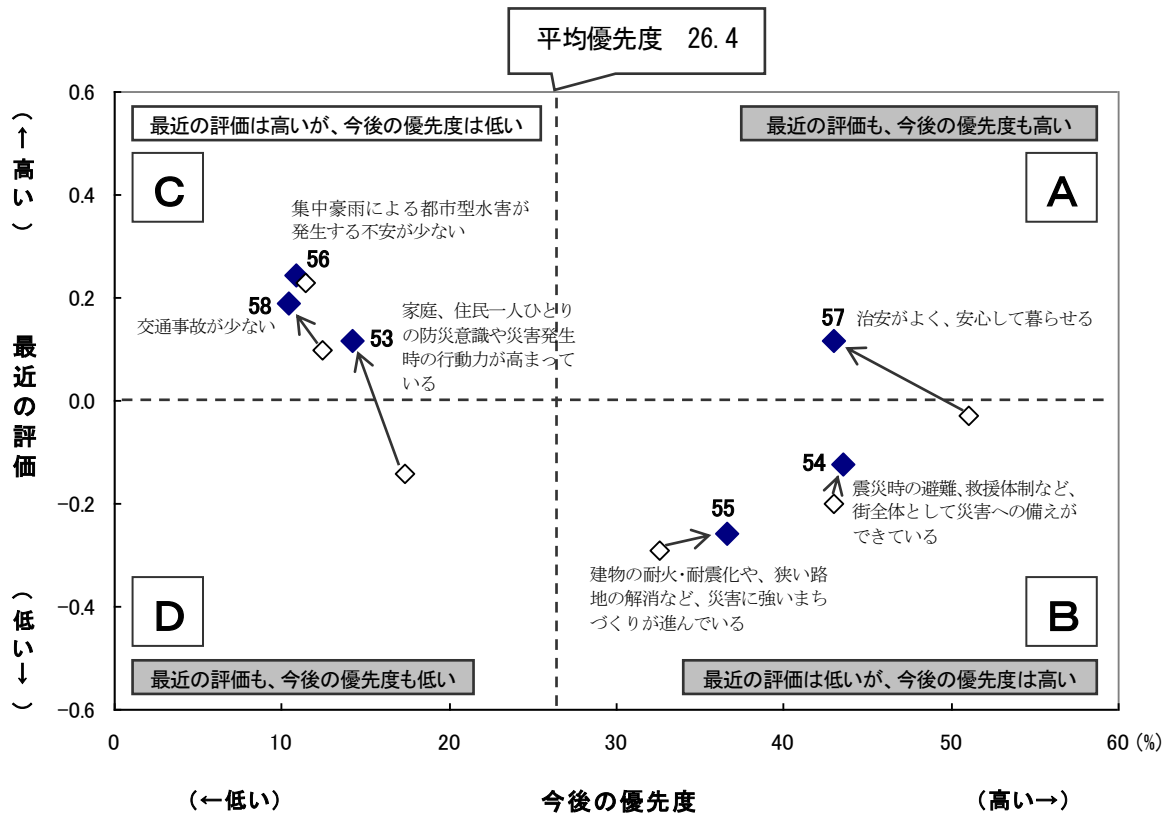
- 都市再生に関する生活環境では、「駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている」が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」から「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「地域に住みつけるための住宅制度が充実している」が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」へ、「まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる」が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。



※「地域に住みつけるための住宅制度が充実している」は、前回は「公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつけるためのセーフティネットが確保されている」であった。

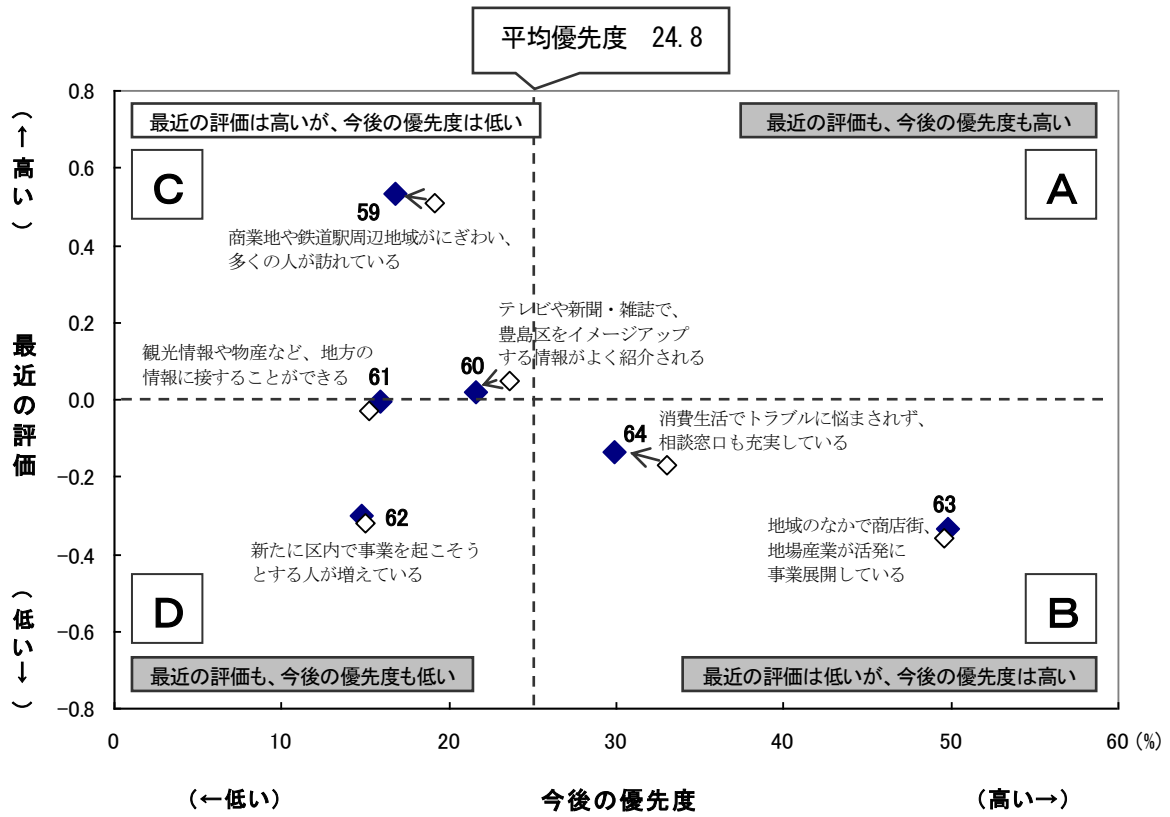
⑧ 安全・安心

●安全・安心に関する生活環境では、「治安がよく、安心して暮らせる」が「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」から「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。また、「家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている」が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。



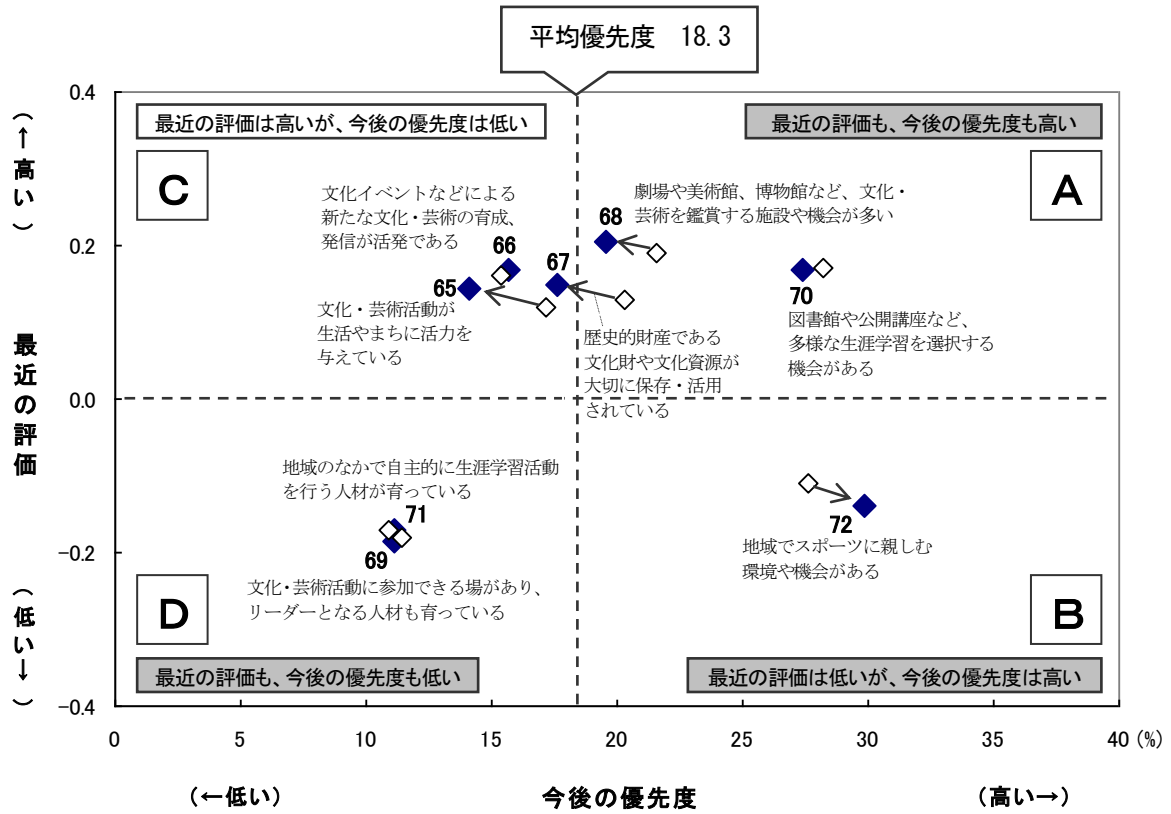
### ⑨ 観光・産業

●観光・産業に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



⑩ 文化

●文化に関する生活環境では、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」が「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」から「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」へ移動した。





## 第3章

### 区の情報・窓口サービス・政策等について

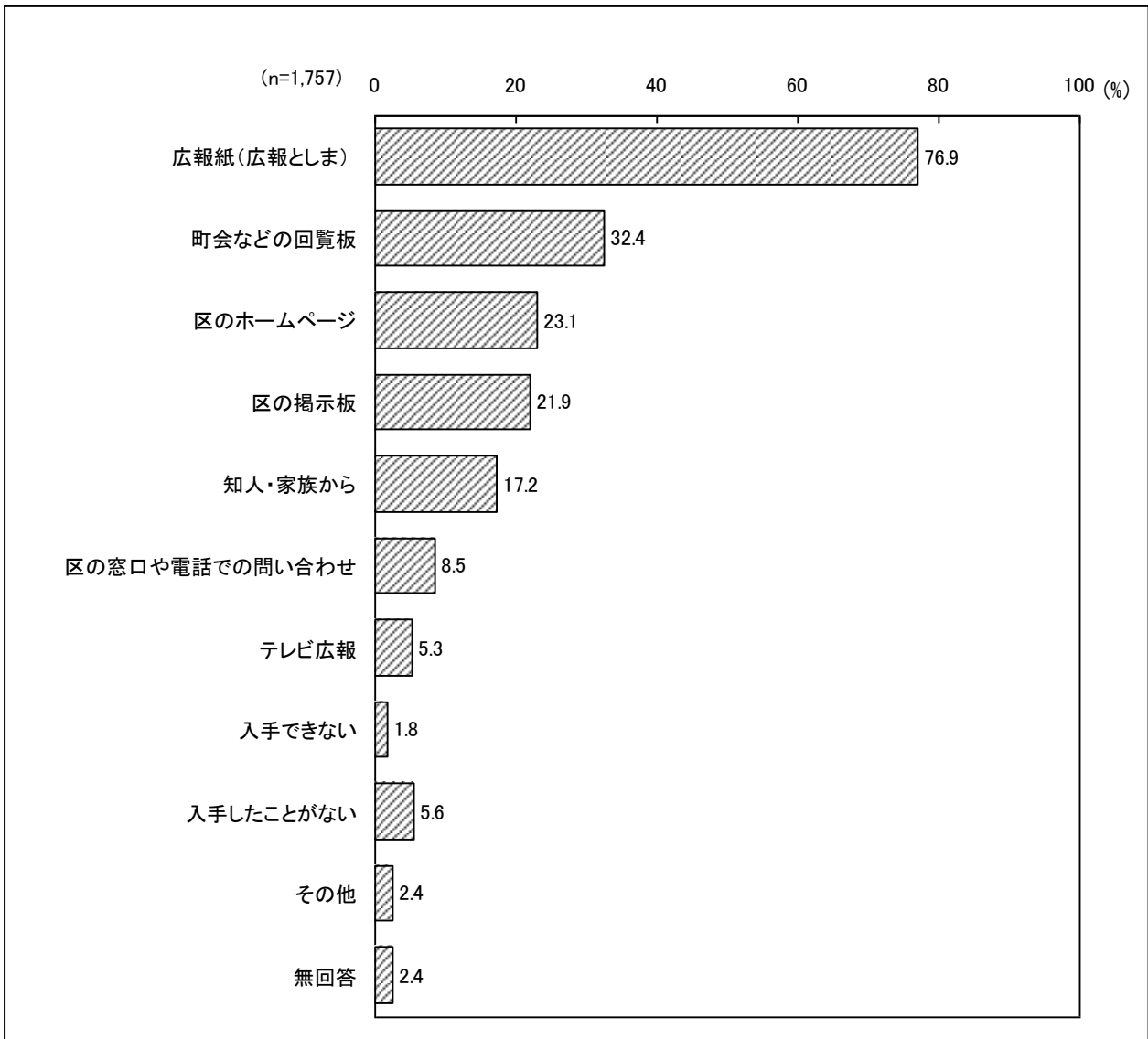




## 第3章 区の情報・窓口サービス・政策等について

### 1 区の情報を知るための手段〔問5〕

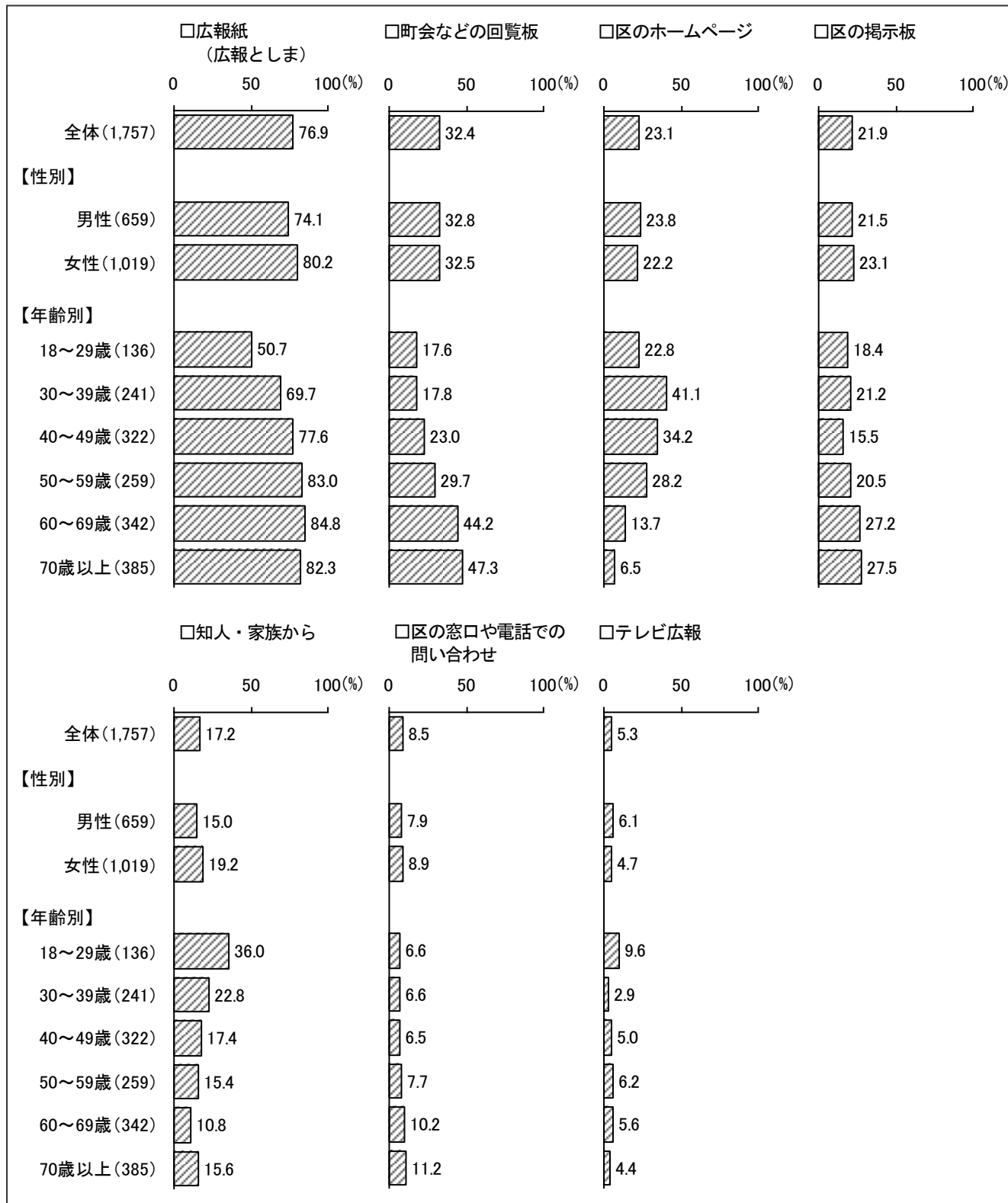
- 区の情報を知るための手段について聞いたところ、「広報紙（広報としま）」（76.9%）が7割台半ばと最も高く、以下、「町会などの回覧板」（32.4%）、「区のホームページ」（23.1%）、「区の掲示板」（21.9%）などとなっている。



※あてはまるものすべて選択

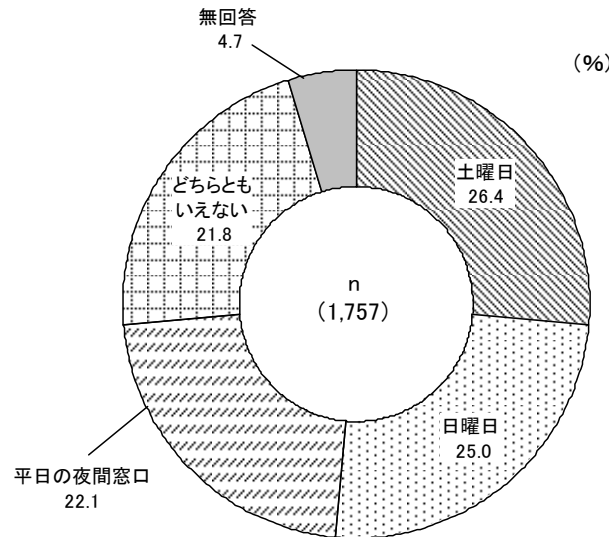
**【性別・年齢別】**

- 性別でみると、「広報紙（広報としま）」は、女性（80.2%）が男性（74.1%）よりも6.1ポイント高くなっている。その他の項目では大きな違いはみられない。
- 年齢別でみると、「広報紙（広報としま）」と「町会などの回覧板」は年齢が上がるほど高くなっている。一方、「区のホームページ」は30～39歳（41.1%）が最も高く、年齢が上がるほど低くなる傾向がみられる。



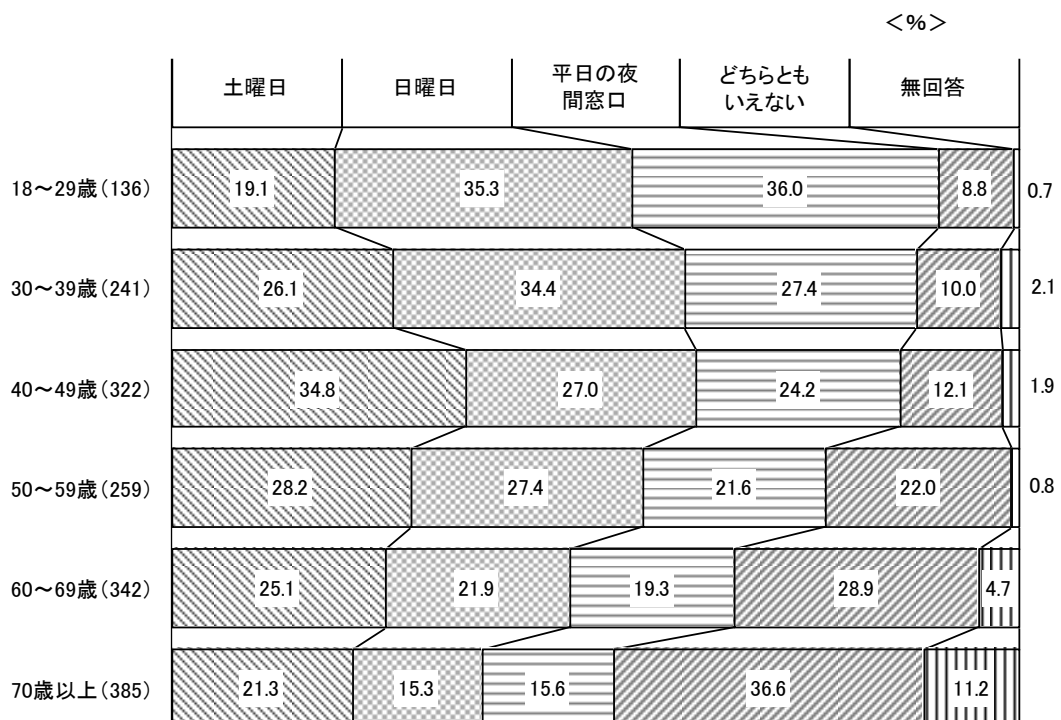
## 2 土・日曜日の開庁、夜間窓口の利用しやすさ〔問6〕

●土・日曜日の開庁や夜間窓口の利用しやすさについて聞いたところ、「土曜日」(26.4%)と「日曜日」(25.0%)がそれぞれ2割台半ばと高くなっている。



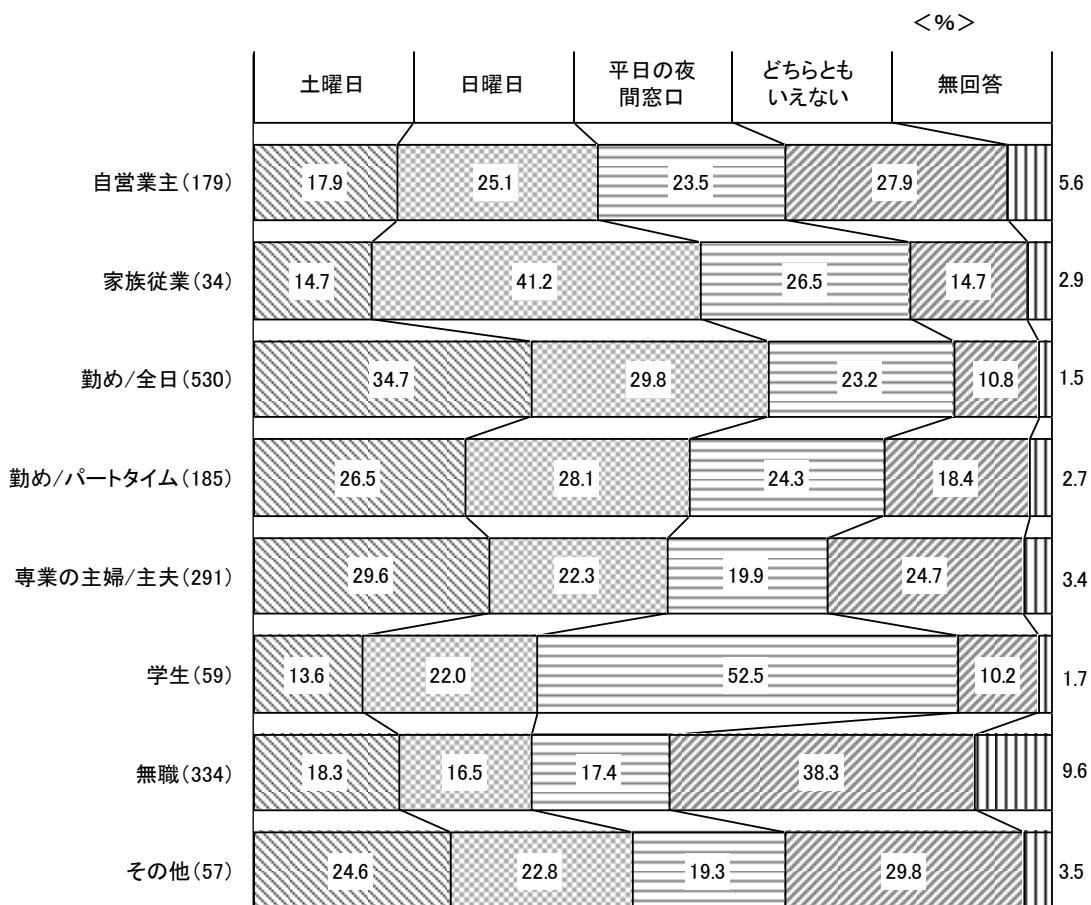
### 【年齢別】

- 「土曜日」は40～49歳(34.8%)で3割台半ばとなっている。
- 「日曜日」は18～29歳(35.3%)と30～39歳(34.4%)で3割台半ばとなっている。
- 「平日の夜間窓口」は18～29歳(36.0%)で3割台半ばとなっている。



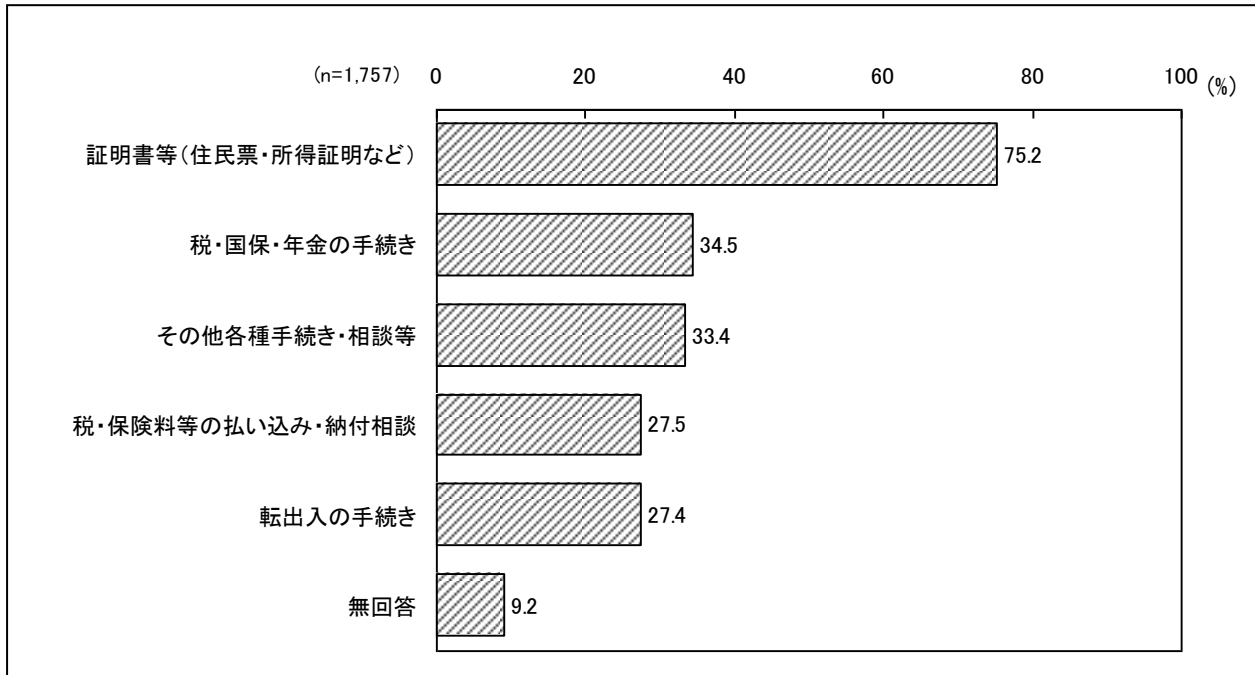
**【職業別】**

- 「土曜日」は、勤め(全日) (34.7%)で3割台半ばと最も高く、以下、専業の主婦(主夫) (29.6%)、勤め(パートタイム) (26.5%) などとなっている。
- 「日曜日」は、家族従業 (41.2%) で約4割と最も高く、勤め(全日) (29.8%) と勤め(パートタイム) (28.1%) で約3割となっている。
- 「平日の夜間窓口」は、学生 (52.5%) で5割強と最も高く、家族従業 (26.5%) と勤め(パートタイム) (24.3%) で2割台半ばとなっている。



### 3-① 土・日曜日、夜間窓口の利用したいサービス〔問7〕

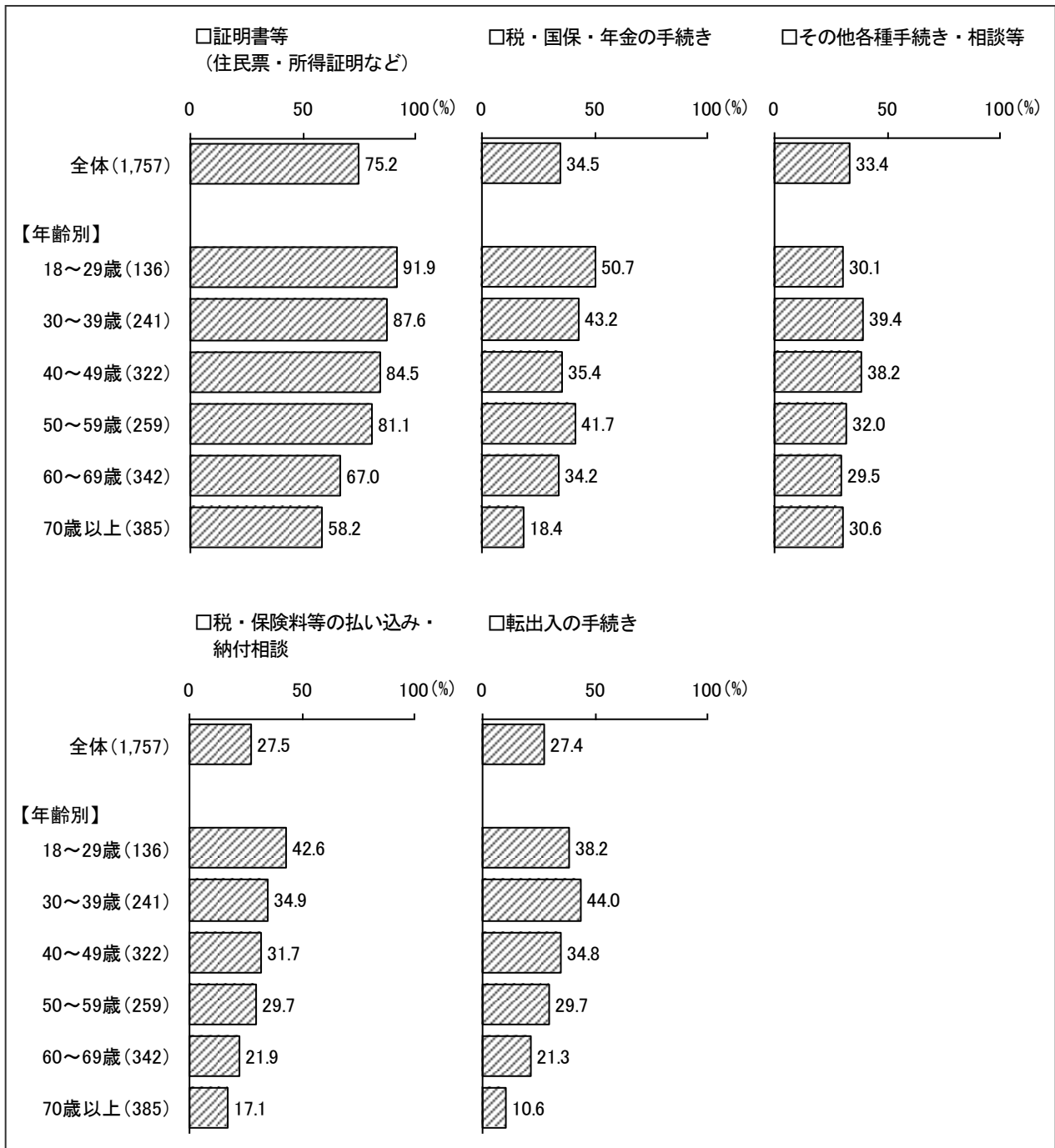
- 土・日曜日、夜間窓口の利用したいサービスについて聞いたところ、「証明書等（住民票・所得証明など）」（75.2%）が7割台半ばと最も高く、以下、「税・国保・年金の手続き」（34.5%）、「その他各種手続き・相談等」（33.4%）などとなっている。



※あてはまるものすべて選択

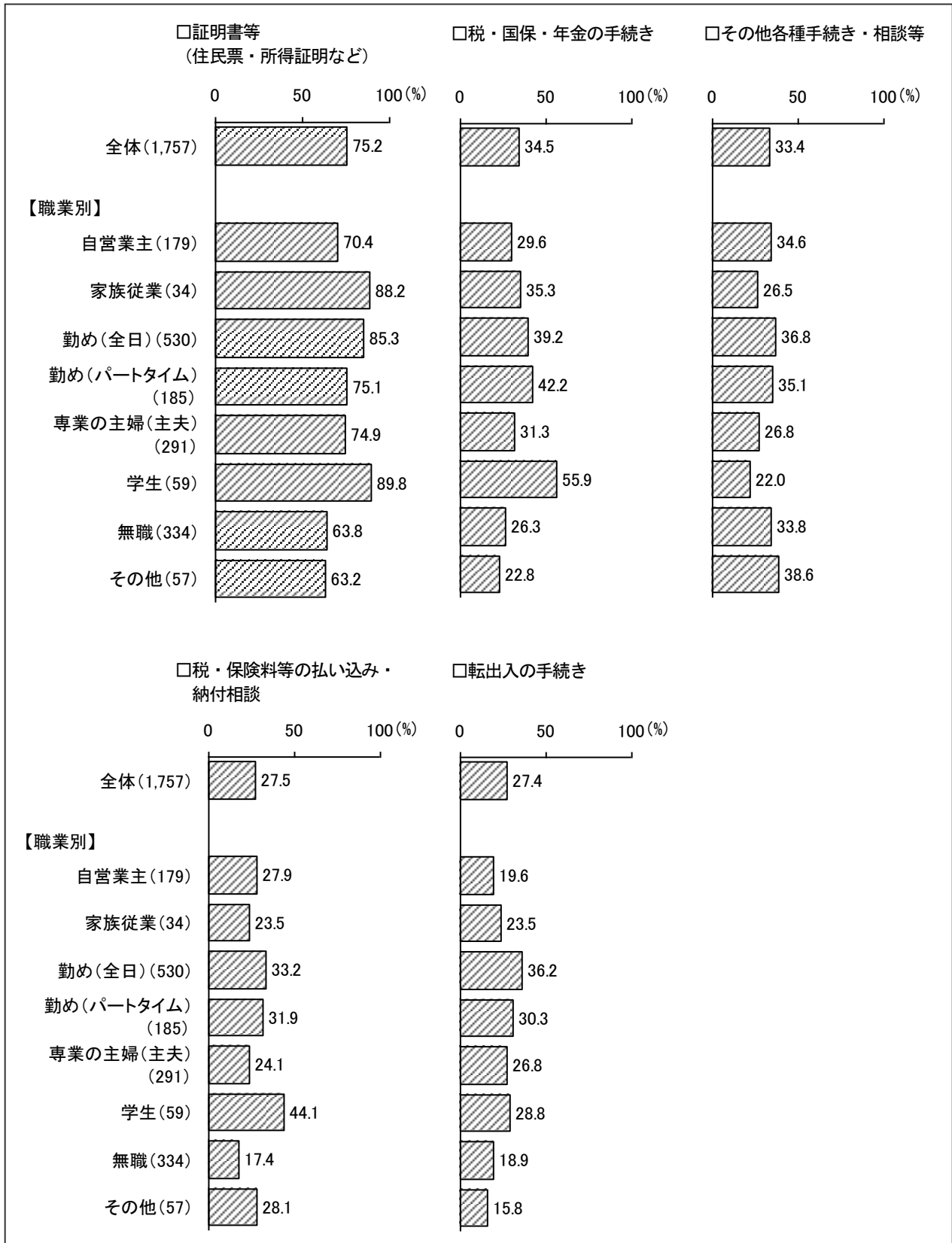
**【年齢別】**

- 「証明書等（住民票・所得証明など）」は、年齢が下がるほど高くなり、18～29歳（91.9%）では9割を超えている。
- 「税・国保・年金の手続き」は、18～29歳（50.7%）で最も高く、以下、30～39歳（43.2%）、50～59歳（41.7%）となっている。



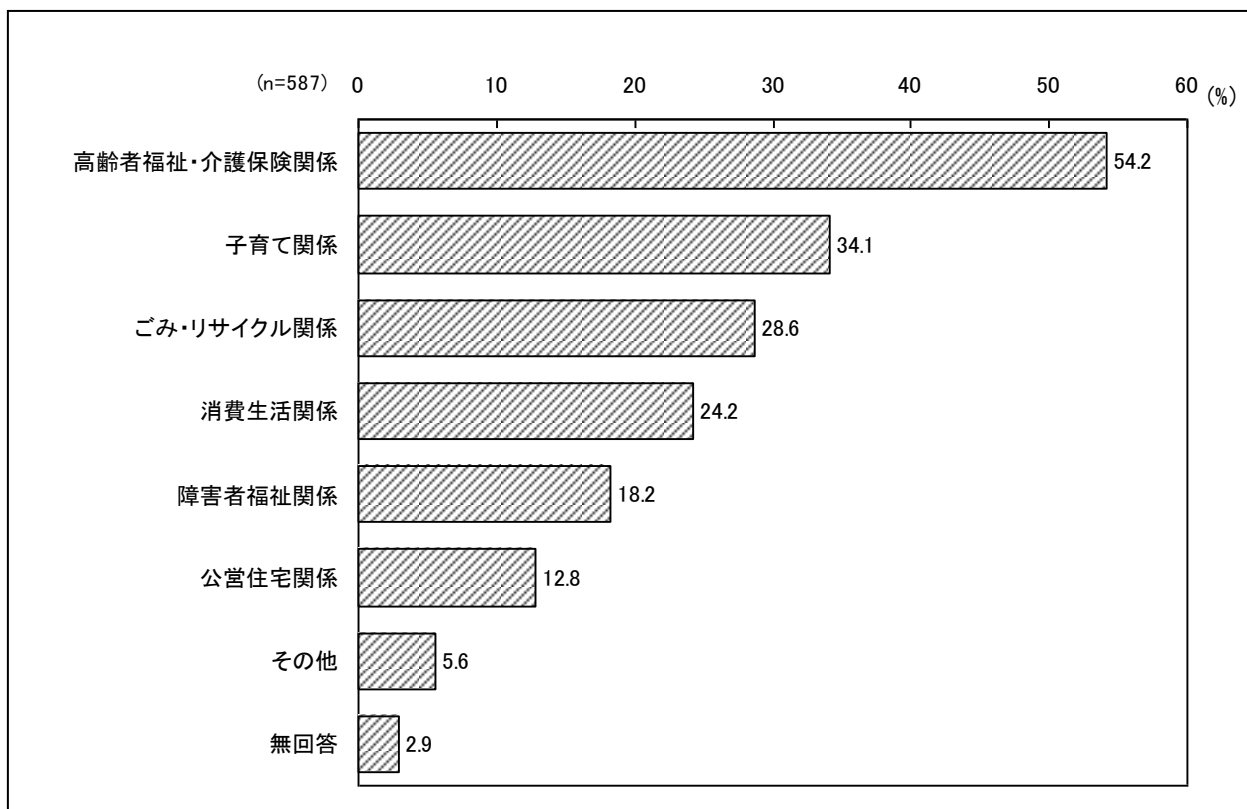
【職業別】

- 「証明書等（住民票・所得証明など）」は、学生（89.8%）と家族従業（88.2%）で約9割と高くなっており、以下、勤め（全日）（85.3%）で8割台半ばとなっている。
- 「税・国保・年金の手続き」は、学生（55.9%）で最も高く、5割台半ばとなっている。



### 3-② 利用したい手続き・相談〔問7-1〕

●〔問7〕の土・日曜日、夜間窓口の利用したいサービスについての設問に対し、「その他各種手続き・相談等」と答えた方に、利用したい手続き・相談について聞いたところ、「高齢者福祉・介護保険関係」(54.2%)が5割台半ばと最も高く、以下、「子育て関係」(34.1%)、「ごみ・リサイクル関係」(28.6%) などとなっている。

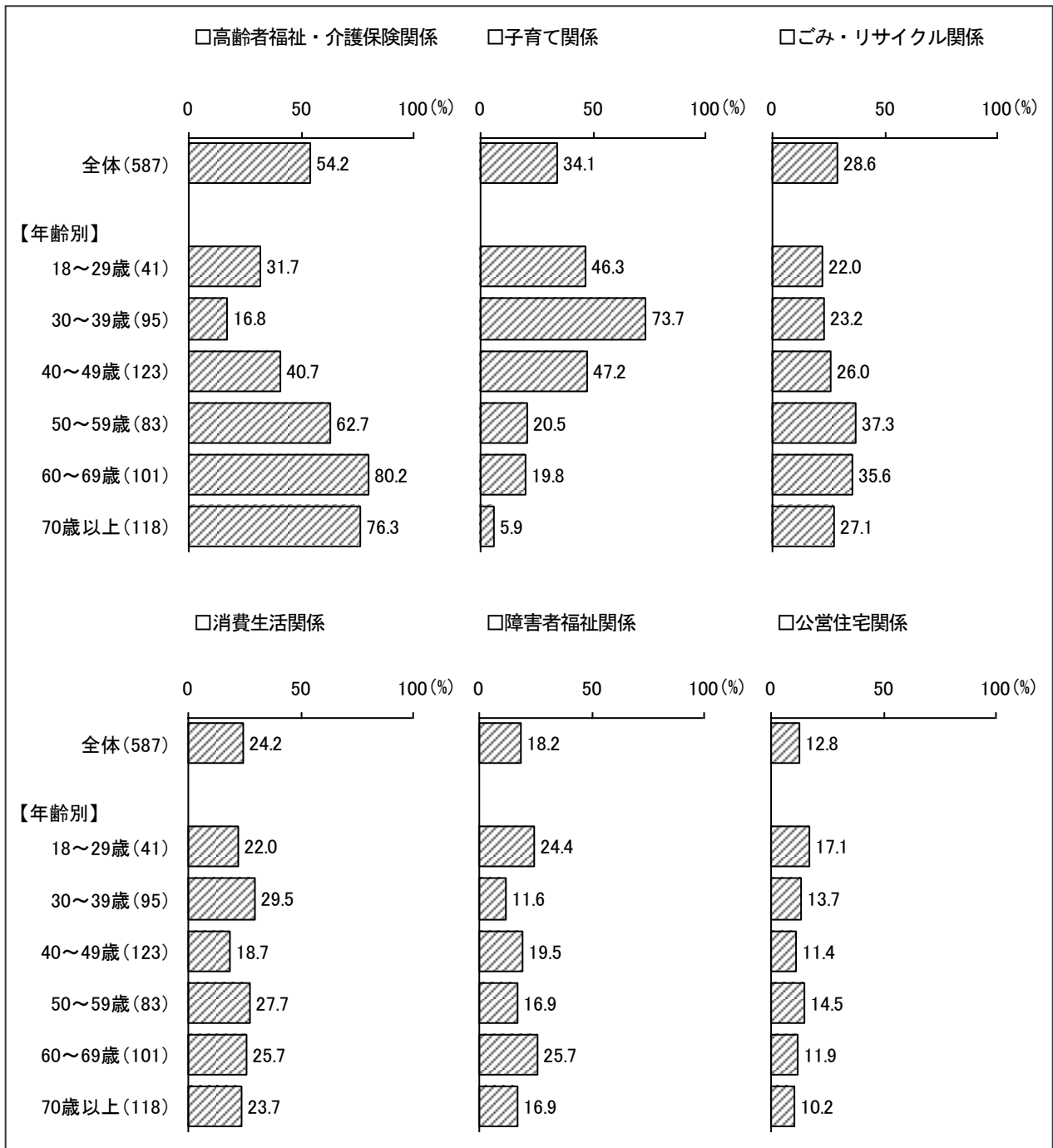


※3つ選択



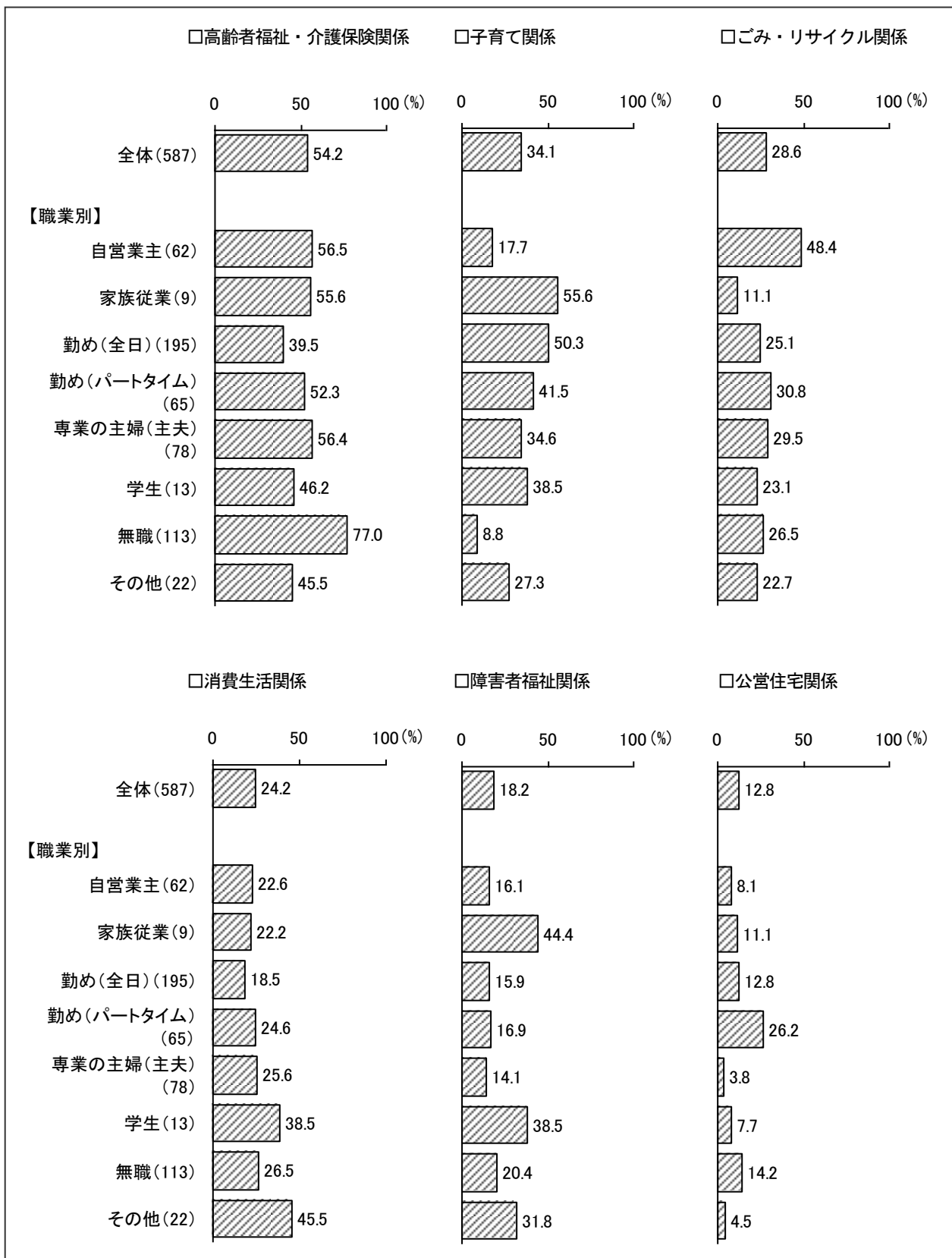
【年齢別】

- 「高齢者福祉・介護保険関係」は、60～69歳（80.2%）で約8割と最も高くなっている。
- 「子育て関係」は、30～39歳（73.7%）で7割台半ばと最も高くなっている。



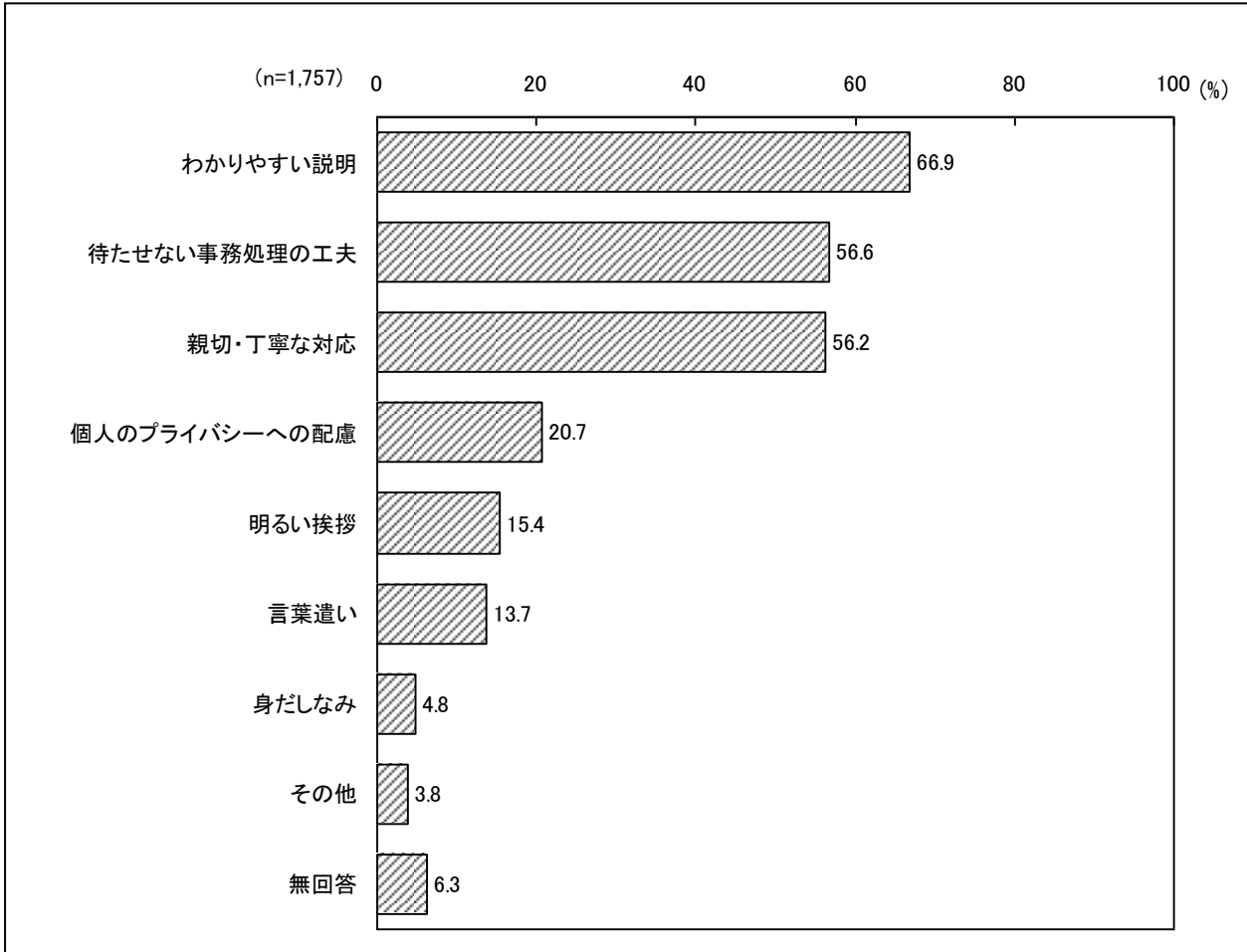
**【職業別】**

- 「高齢者福祉・介護保険関係」は、無職（77.0%）で7割台半ばを超え最も高くなっている。
- 「子育て関係」は、家族従業（55.6%）で5割台半ばと最も高く、次いで、勤め（全日）（50.3%）となっている。



## 4 職員対応について注意すべき点〔問8〕

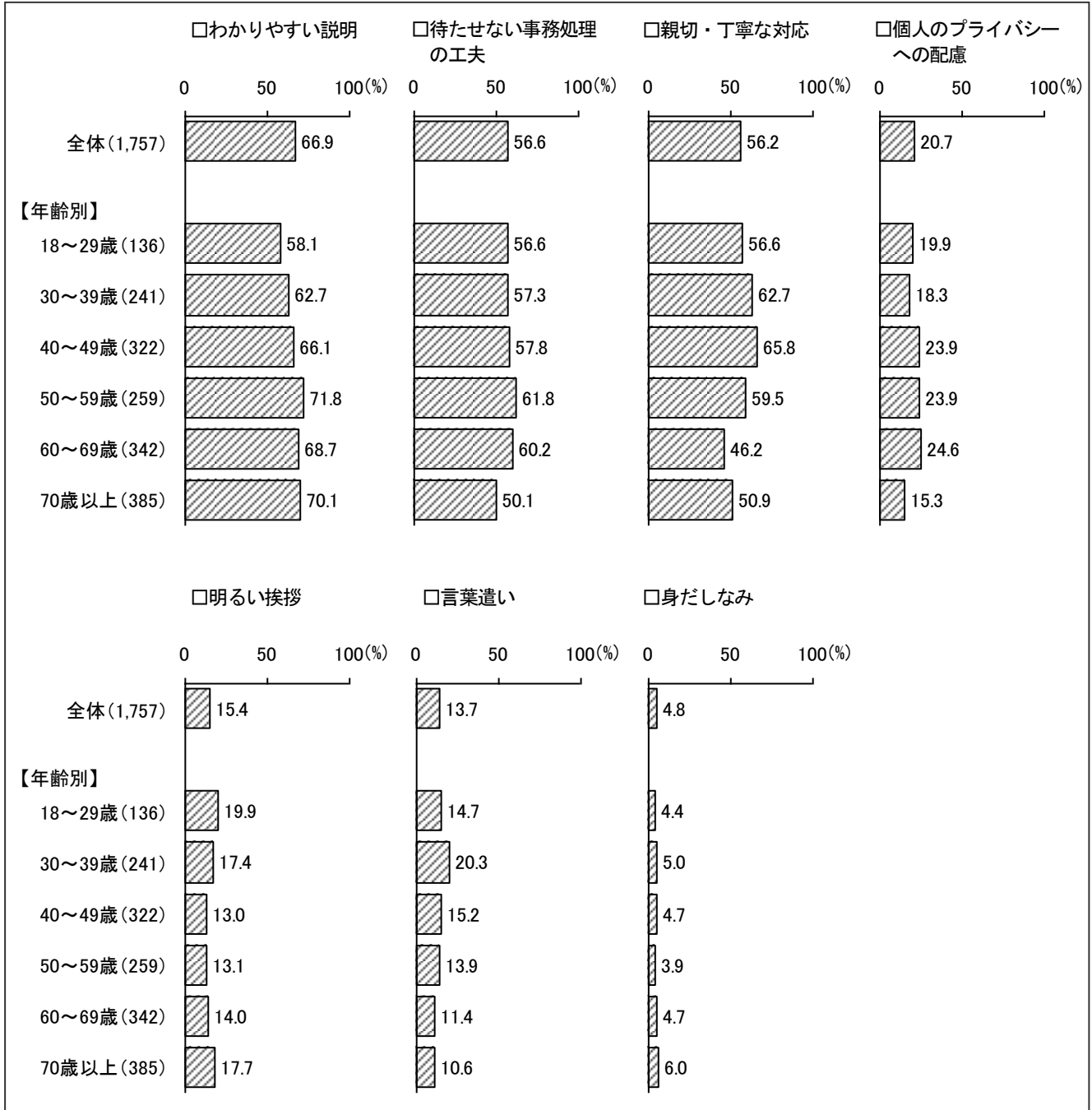
- 職員対応について注意すべき点について聞いたところ、「わかりやすい説明」(66.9%)が6割台半ばと最も高く、以下、「待たせない事務処理の工夫」(56.6%)、「親切・丁寧な対応」(56.2%)などとなっている。



※3つ選択

【年齢別】

- 「わかりやすい説明」は、50～59歳（71.8%）と70歳以上（70.1%）で7割を超えている。
- 「待たせない事務処理の工夫」は、50～59歳（61.8%）と60～69歳（60.2%）で6割を超えている。
- 「親切・丁寧な対応」は、40～49歳（65.8%）で6割台半ばとなっている。



## セーフコミュニティ活動の推進

2012 TOSHIMA CITY

セーフコミュニティ  
国際認証都市・豊島区

セーフコミュニティとは、「WHO地域の安全向上のための協働センター」が推進する、安全・安心まちづくりの国際認証制度です。2012年11月豊島区は、世界で296番目、日本で5番目、東京では初めて、この国際認証を取得しました。

セーフコミュニティは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、原因を分析することで予防できる」との理念に基づき、「横断的な連携・協働」と「科学的手法の活用」により、安全・安心と健康の質を高めていく活動です。

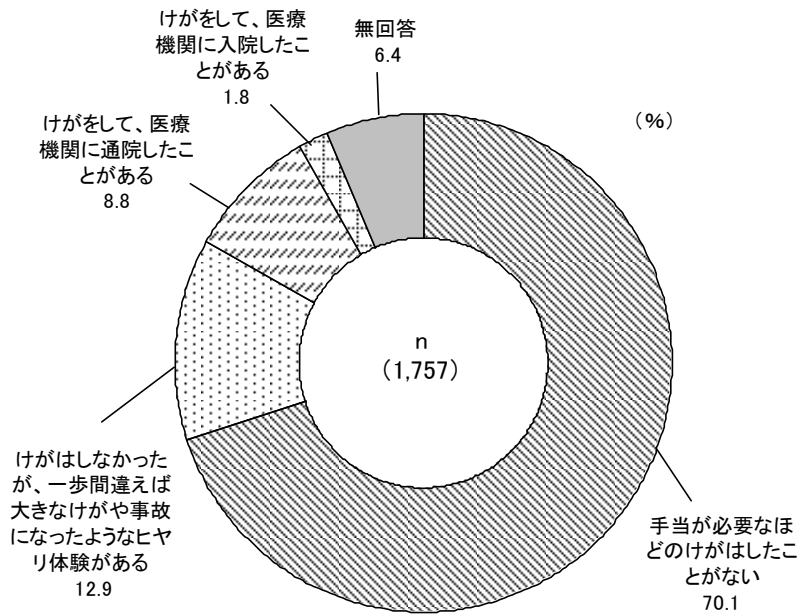
また、セーフコミュニティ活動では、様々な予防活動を展開するとともに、その効果や成果を科学的に分析し、改善を加えていきます。そのため、約70項目にわたり、活動の効果を測定する指標（成果指標）を設定しています。

次ページからの5から12の設問は、その指標の一部となっています。



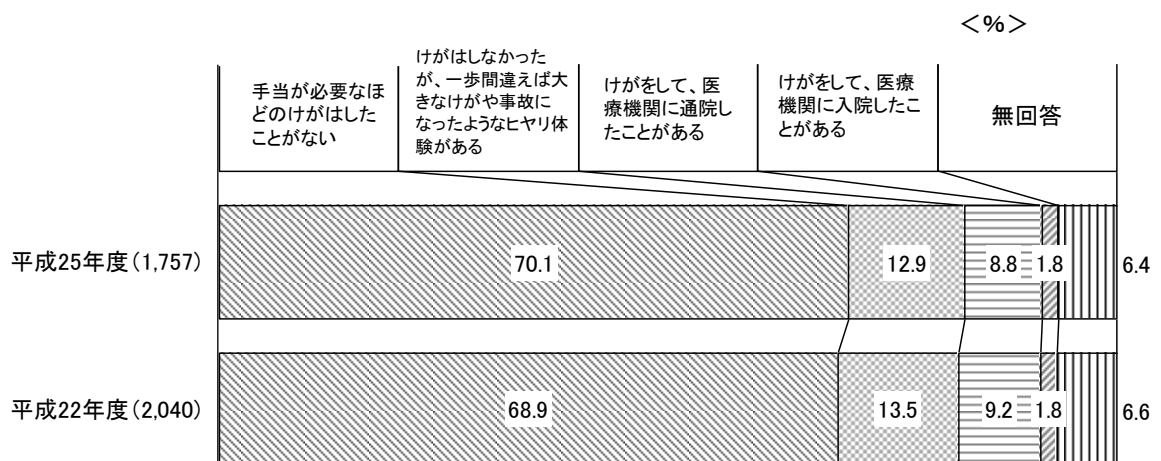
## 5 過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故〔問9〕

- 過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故について聞いたところ、「手当が必要なほどのけがはしたことがない」(70.1%)が約7割と最も高く、以下、「けがはしなかったが、一歩間違えが大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある」(12.9%)となっている。



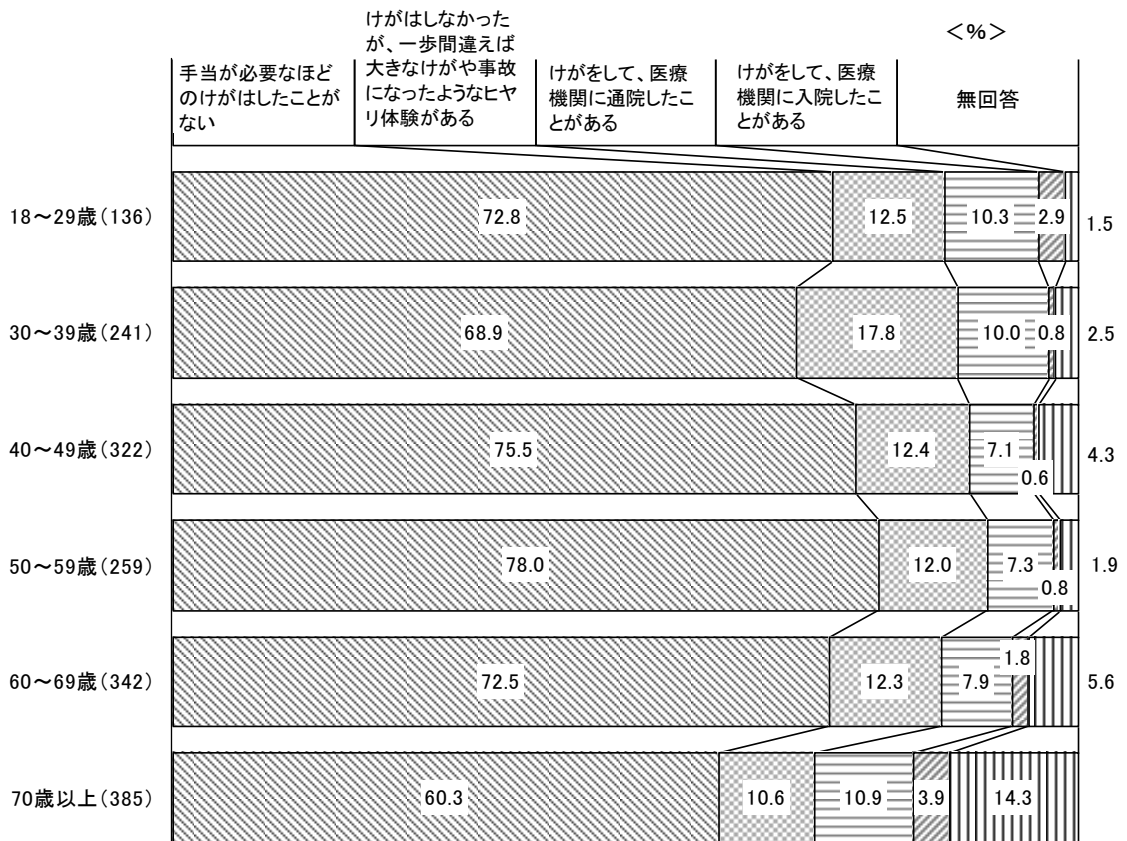
### 【経年比較】

- 平成22年度と比較すると、いずれの項目も大きな違いはみられない。



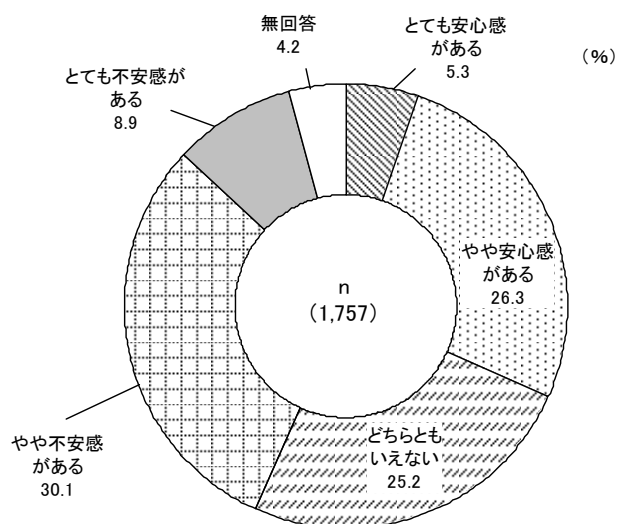
【年齢別】

- 「手当が必要なほどのけがはしたことがない」は、50～59 歳（78.0%）で8割弱と最も高く、以下、40～49 歳（75.5%）で7割台半ばとなっている。
- 「けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある」は、30～39 歳（17.8%）で2割弱と高くなっている。
- 「けがをして、医療機関に通院したことがある」と「けがをして、医療機関に入院したことがある」を合わせた“医療機関に通院・入院したことがある”としてみると、70 歳以上（14.8%）と18～29 歳（13.2%）で1割台半ばとなっている。



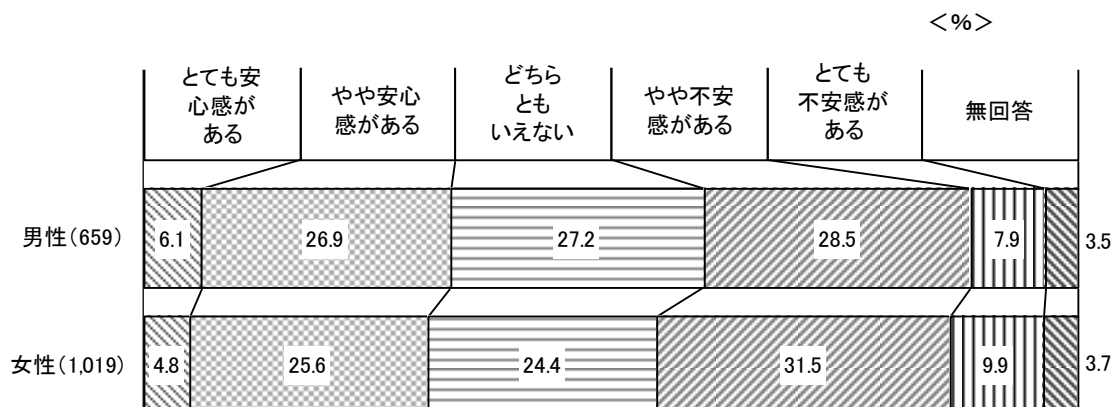
## 6 池袋駅周辺の体感治安〔問 10〕

- 池袋駅周辺の体感治安について聞いたところ、「とても安心感がある」(5.3%)と「やや安心感がある」(26.3%)を合わせた“安心感がある”(31.6%)としてみると、約3割となっている。一方で、「とても不安感がある」(8.9%)と「やや不安感がある」(30.1%)を合わせた“不安感がある”(39.0%)としてみると、約4割となっている。



### 【性別】

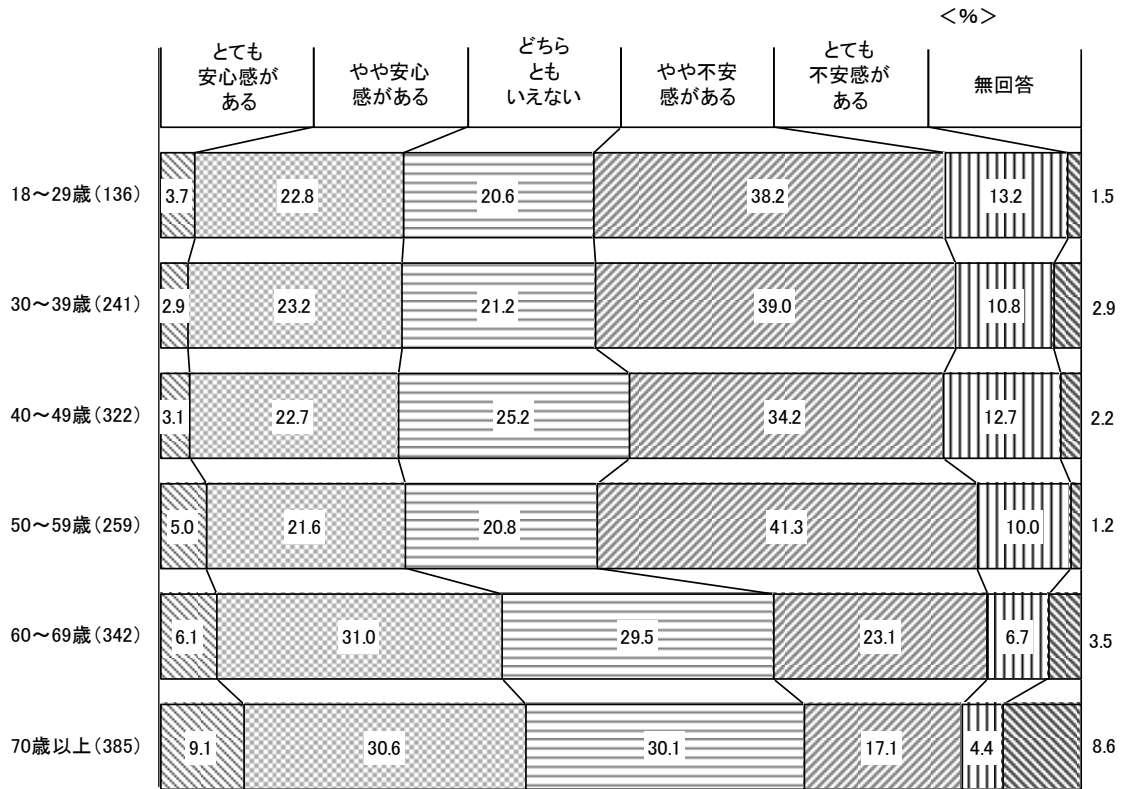
- “安心感がある”は男性(33.0%)が女性(30.4%)よりも2.6ポイント高くなっている。
- “不安感がある”は女性(41.4%)が男性(36.4%)よりも5.0ポイント高くなっている。





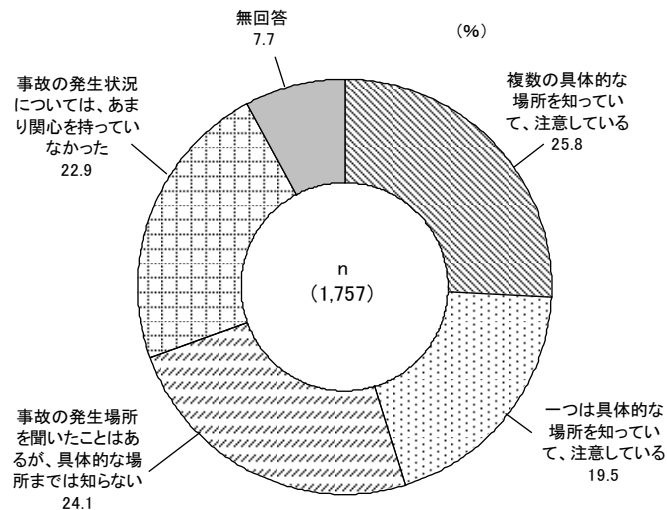
【年齢別】

- “安心感がある” は 70 歳以上 (39.7%) と 60～69 歳 (37.1%) で 3 割台半ばを超えている。
- “不安感がある” は 18～29 歳 (51.4%) と 50～59 歳 (51.3%) で 5 割を超えている。



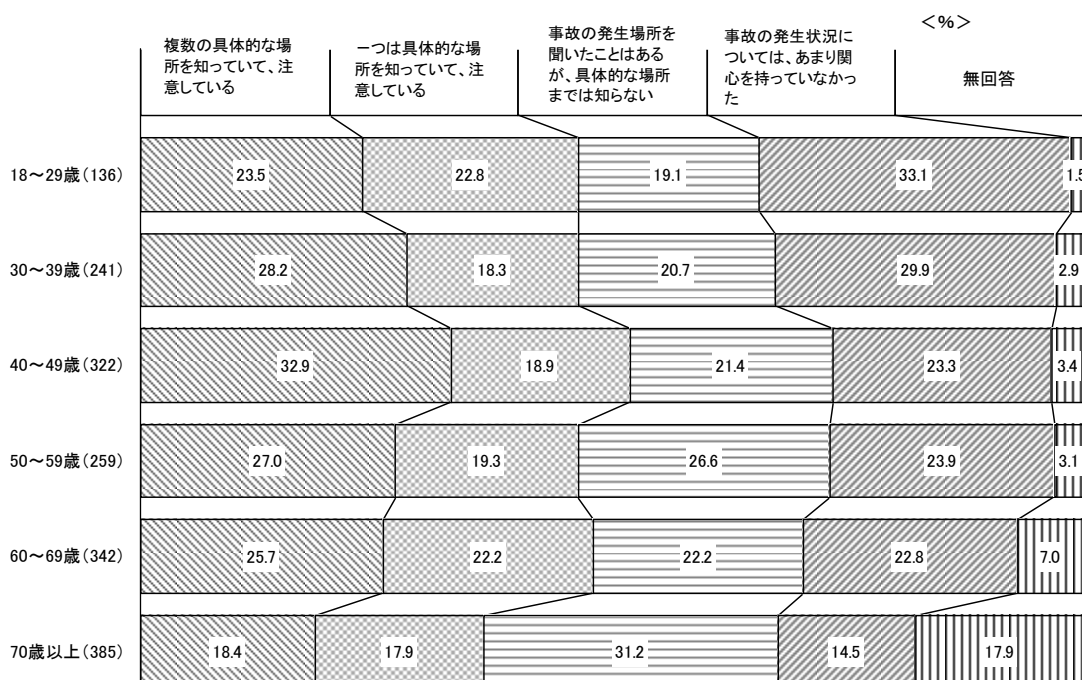
## 7 交通事故発生場所等の認知度〔問11〕

- 交通事故発生場所や危ないと思われる場所の認知度について聞いたところ、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」(25.8%)が2割台半ばと最も高く、以下、「事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない」(24.1%)、「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」(22.9%)などとなっている。



### 【年齢別】

- 「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は40～49歳(32.9%)で3割を超えている。
- 「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」は年齢が下がるほど高くなる傾向がみられ、18～29歳(33.1%)で3割台半ばとなっている。



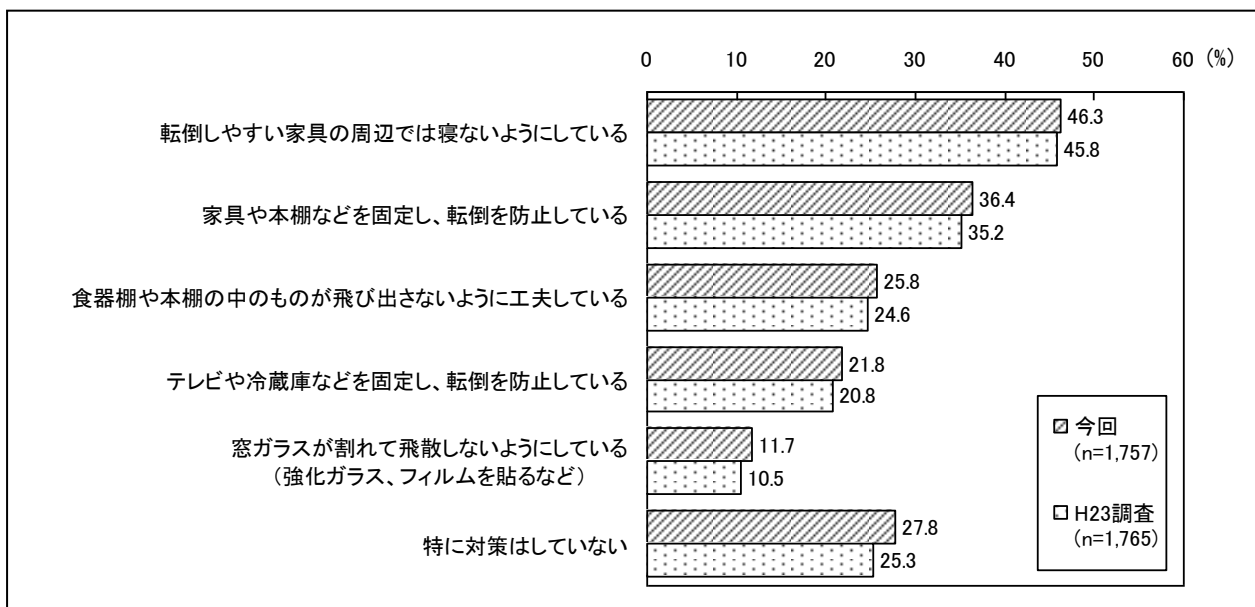
## 8 地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問 12〕

- 屋内での家具等の転倒防止対策について聞いたところ、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」(46.3%)が4割台半ばと最も高く、以下、「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」(36.4%)、「特に対策はしていない」(27.8%)などとなっている。

順位	対策の内容	%
第1位	転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている	46.3
第2位	家具や本棚などを固定し、転倒を防止している	36.4
第3位	特に対策はしていない	27.8
第4位	食器棚や本棚中のものが飛び出さないように工夫している	25.8
第5位	テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	21.8
第6位	窓ガラスが割れて飛散しないようにしている(強化ガラス、フィルムを貼るなど)	11.7

### 【経年比較】

- 平成 23 年度調査（セーフコミュニティに関する区民意識調査）と比較すると、いずれの項目も 0.5~1.2 ポイント高くなっている。
- 「特に対策はしていない」(27.8%)は 2.5 ポイント高くなっている。

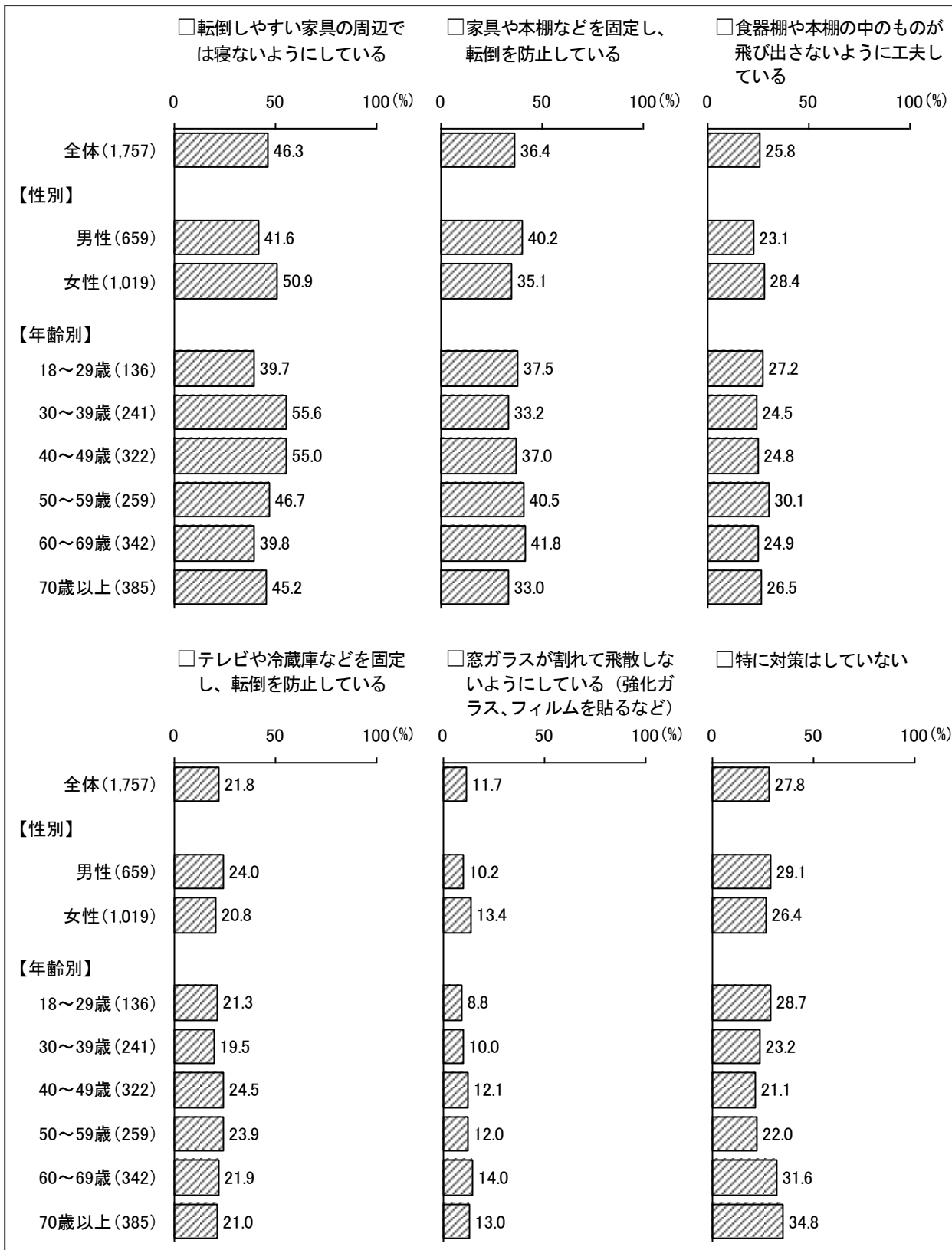


※あてはまるものすべて選択

豊島区では、セーフコミュニティの取り組みを広く区民に周知することを目的として、平成 23 年 12 月に「セーフコミュニティに関する区民意識調査」を実施しました。無作為抽出した 18 歳以上の区民（一般区民）7,000 人と、区内の保育園通園児の保護者 3,000 人を対象としており、本調査の〔問 12〕～〔問 14〕については、一般区民の結果と比較しています。

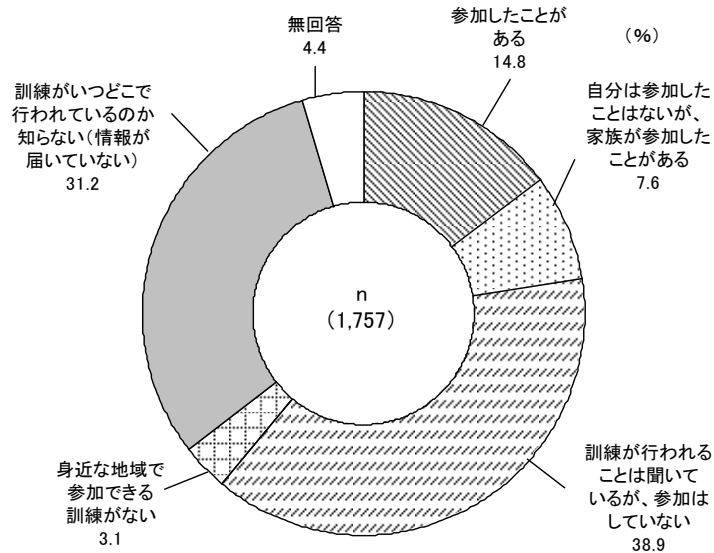
**【性別・年齢別】**

- 性別で見ると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は女性（50.9%）が男性（41.6%）よりも9.3ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は30～39歳（55.6%）と40～49歳（55.0%）で5割台半ばと高くなっている。また、「特に対策はしていない」は60歳以上で3割台と高くなっている。



## 9 防災訓練や避難訓練への参加〔問 13〕

- 防災訓練や避難訓練への参加の程度について聞いたところ、「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」(38.9%)が約4割と最も高く、以下、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」(31.2%)、「参加したことがある」(14.8%)などとなっている。



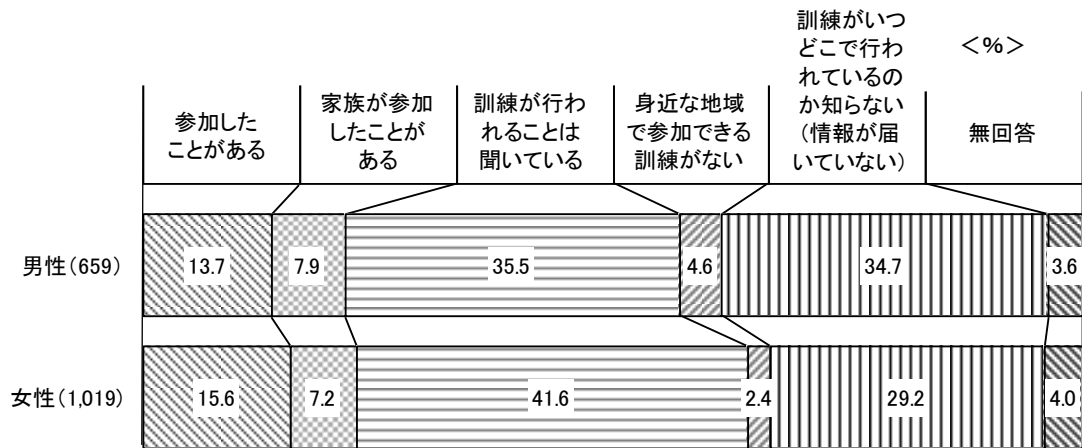
### 【経年比較】

- 平成 23 年度調査（セーフコミュニティに関する区民意識調査）と比較すると、「参加したことがある」は 1.4 ポイント低くなっている。

	参加したことがある	家族が参加したことがある	訓練が行われることは聞いている	身近な地域で参加できる訓練がない	訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)	無回答
平成25年度(1,757)	14.8	7.6	38.9	3.1	31.2	4.4
平成23年度(1,765)	16.2	6.1	40.0	1.8	33.5	2.5

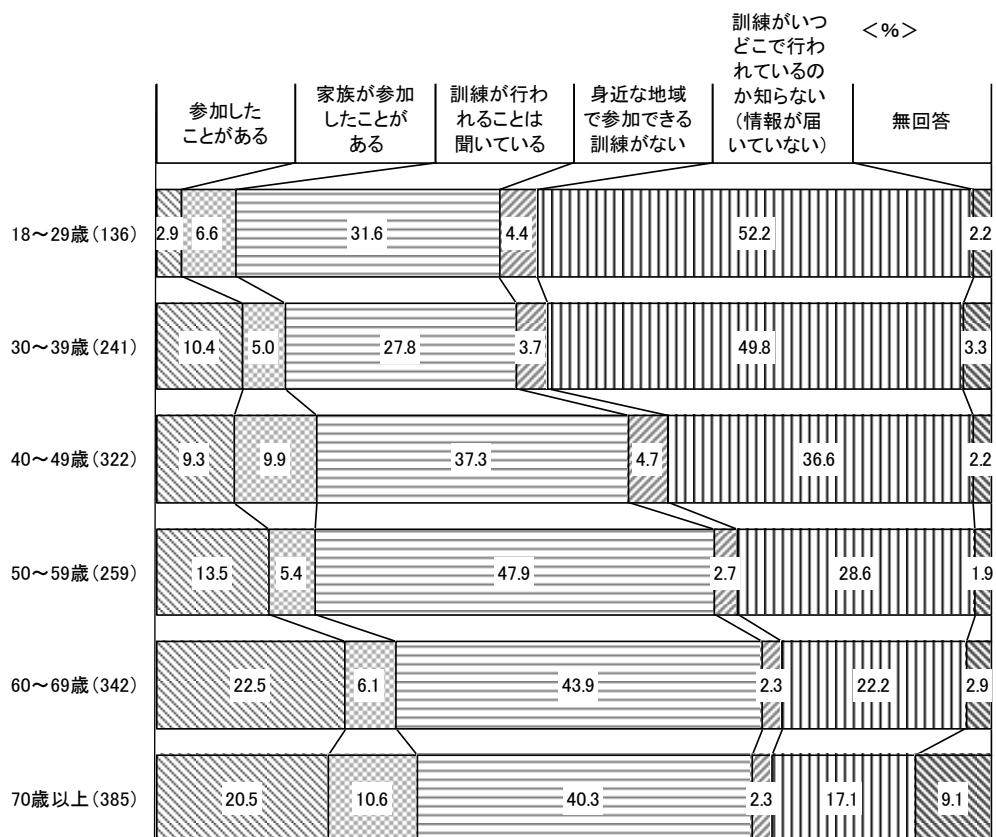
**【性別】**

- 「参加したことがある」は、女性（15.6%）が男性（13.7%）よりも1.9ポイント高くなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は、男性（34.7%）が女性（29.2%）よりも5.5ポイント高くなっている。



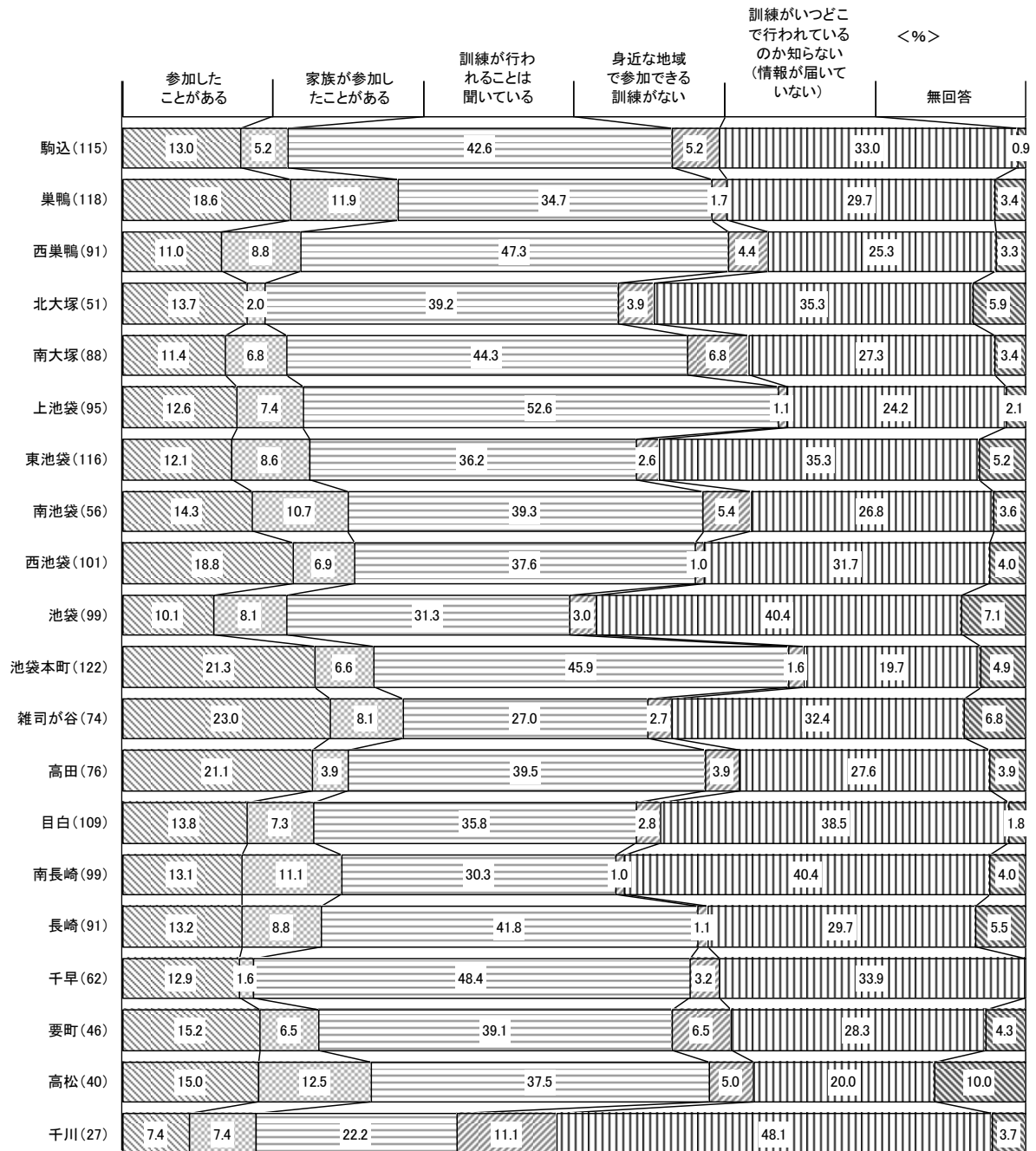
**【年齢別】**

- 「参加したことがある」は、おおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、60～69歳（22.5%）と70歳以上（20.5%）で2割を超えている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない」は18～29歳（52.2%）で5割を超えている。



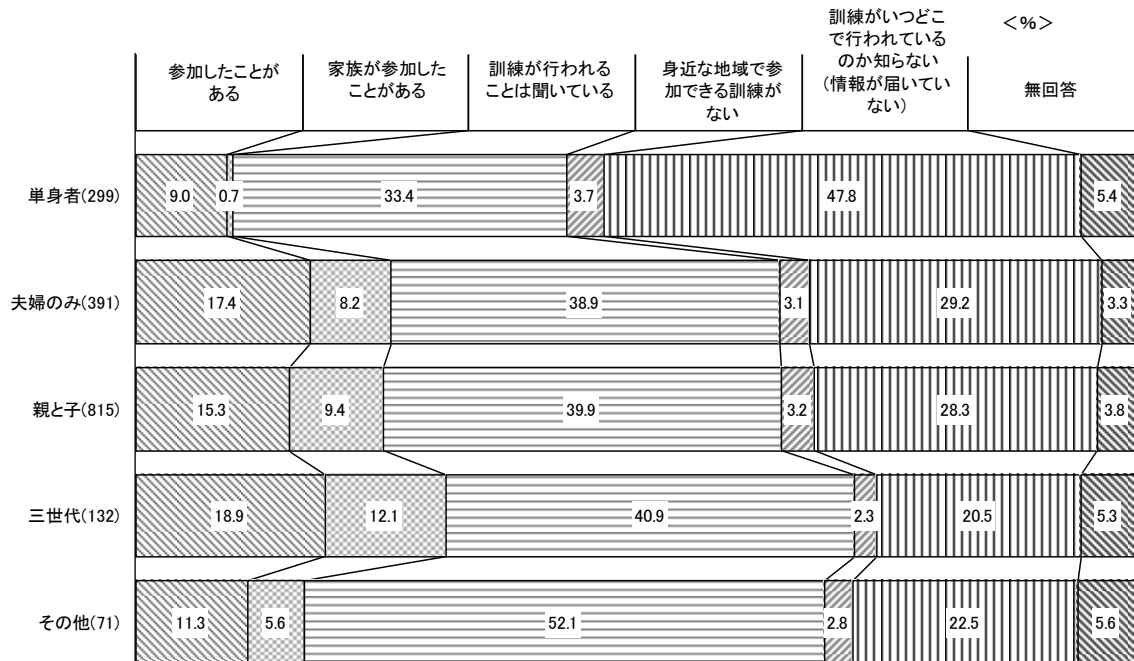
【町別】

- 「参加したことがある」は、雑司が谷（23.0%）、池袋本町（21.3%）、高田（21.1%）で2割を超えている。
- 「訓練がいつどこで行われているのか知らない」は、千川（48.1%）で約5割と最も高く、次いで、池袋（40.4%）、南長崎（40.4%）で4割を超えている。



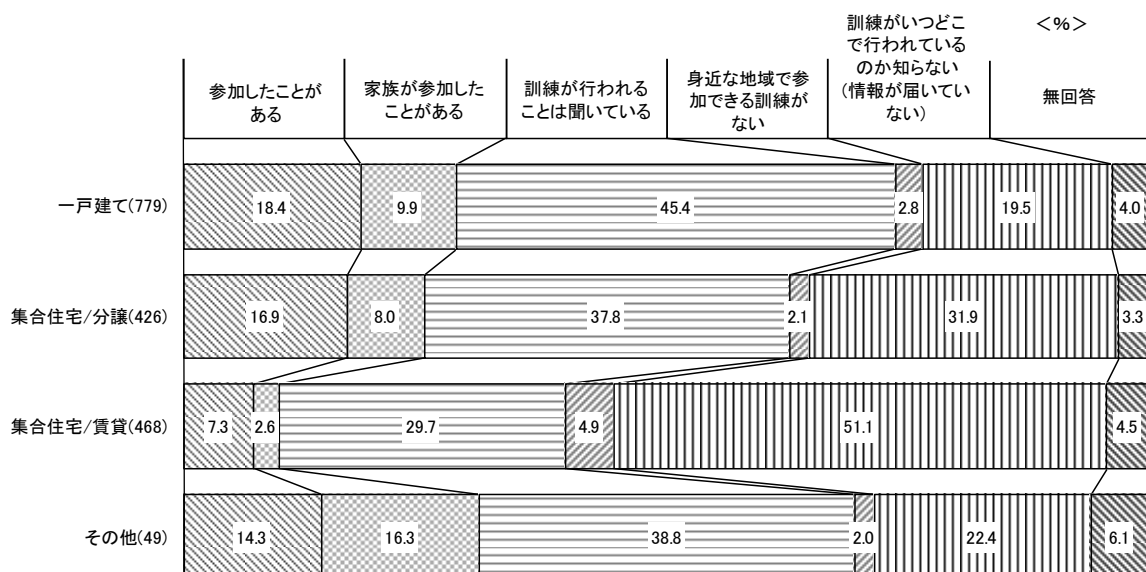
### 【世帯構成別】

- 「参加したことがある」は三世代（18.9%）で約2割と最も高くなっている。また、単身者（9.0%）は約1割と低くなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているか知らない」は単身者（47.8%）で4割台半ばを超え高くなっている。



### 【住まい形態別】

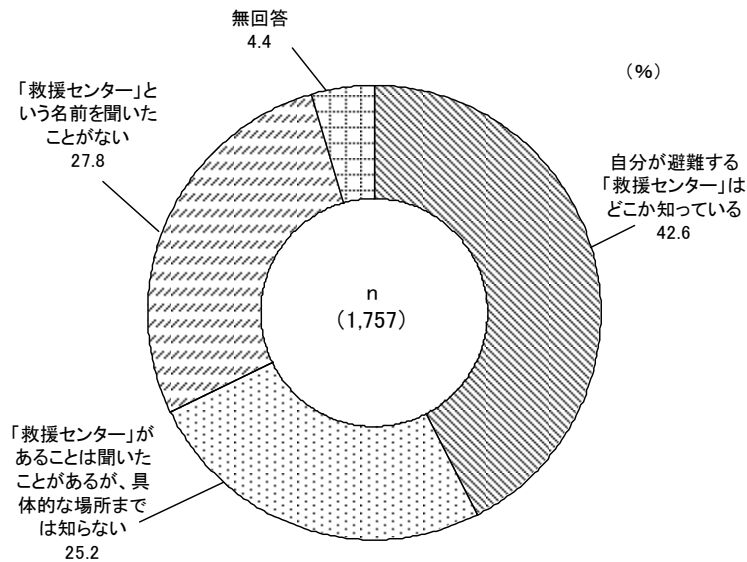
- 「参加したことがある」は一戸建て（18.4%）で約2割と最も高くなっている。
- 「訓練がいつどこで行われているか知らない」は集合住宅（賃貸）（51.1%）で約5割となっている。





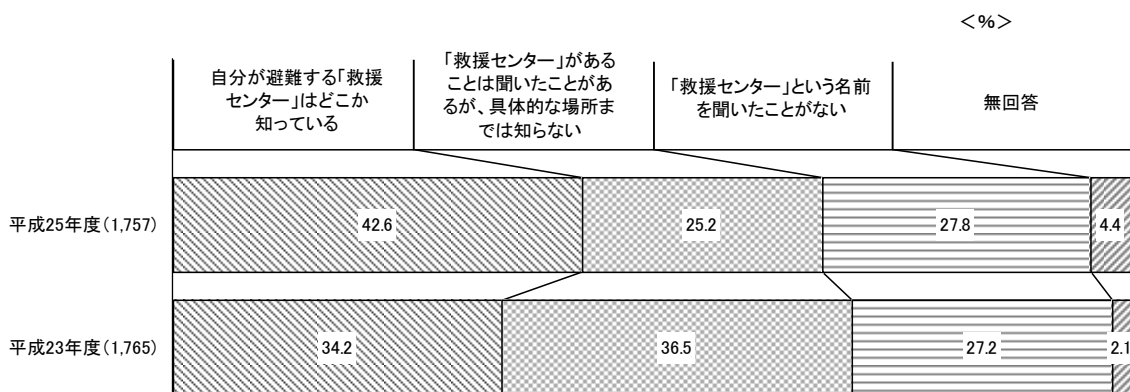
## 10 「救援センター」の認知度〔問 14〕

- 震災時等における避難所である「救援センター」の認知度について聞いたところ、「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」(42.6%) が4割強と最も高く、以下、「「救援センター」という名前を聞いたことがない」(27.8%)、「「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」(25.2%) などとなっている。



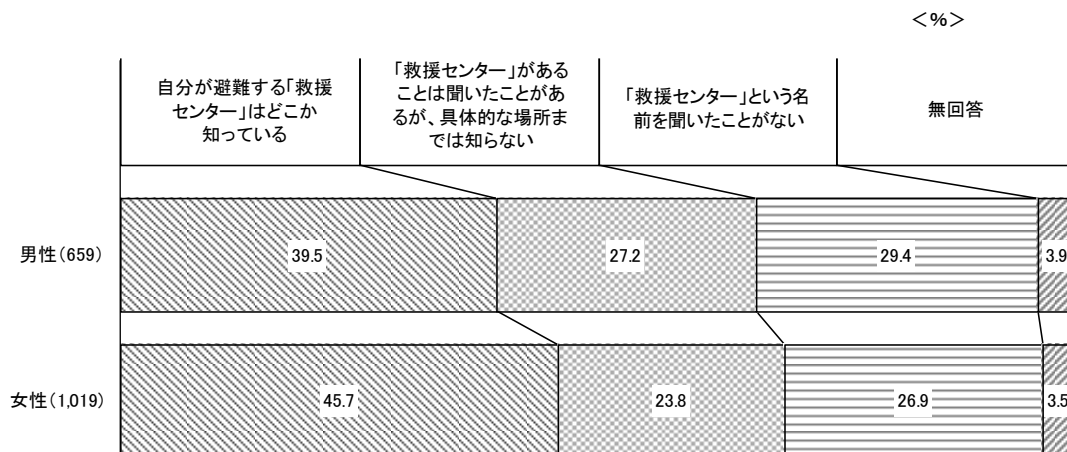
### 【経年比較】

- 平成 23 年度調査（セーフコミュニティに関する区民意識調査）と比較すると、「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は8.4ポイント高くなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、ほぼ同程度となっている。



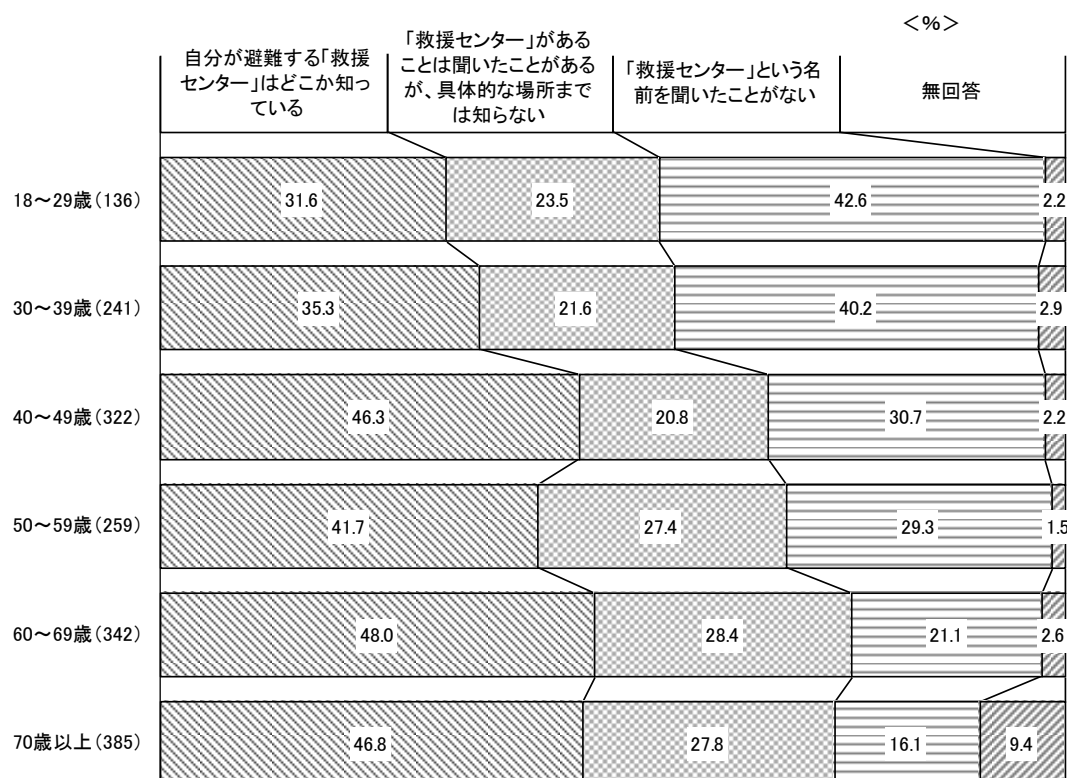
**【性別】**

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、女性（45.7%）が男性（39.5%）よりも6.2ポイント高くなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、男性（29.4%）が女性（26.9%）よりも2.5ポイント高くなっている。



**【年齢別】**

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、60～69歳（48.0%）で4割台半ばを超え、70歳以上（46.8%）、40～49歳（46.3%）で4割台半ばとなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、年齢が下がるほど高くなる傾向がみられ、18～29歳（42.6%）、30～39歳（40.2%）で4割を超えている。



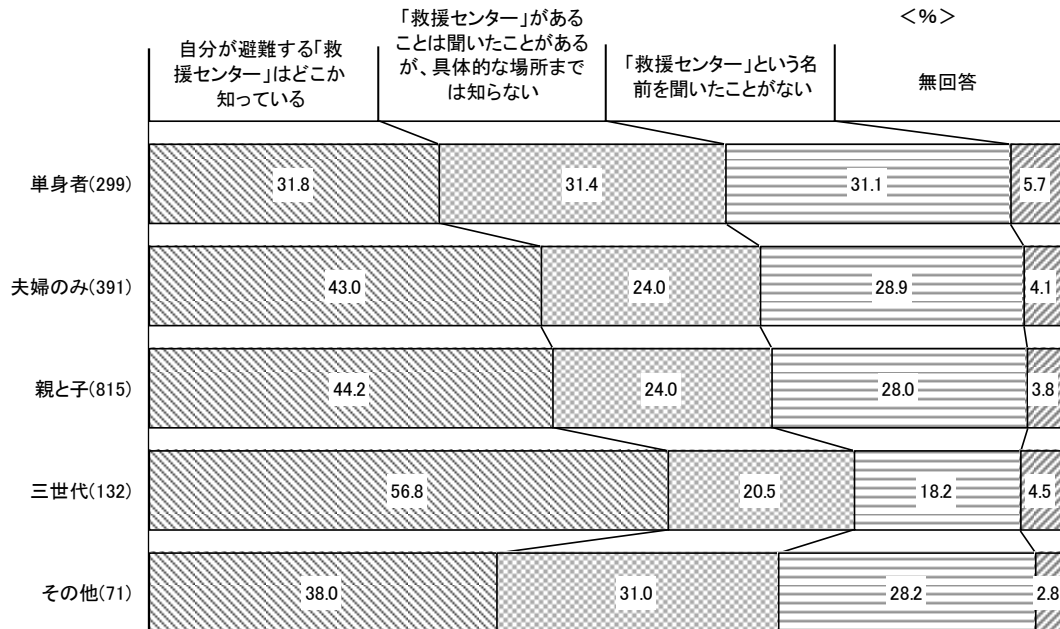
【町別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、雑司が谷（54.1%）で5割台半ば、北大塚（52.9%）、高田（52.6%）で5割強と高くなっている。
- 「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、千川（37.0%）で3割台半ばを超え高くなっている。

	「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない			
	自分が避難する「救援センター」はどこか知っている	「救援センター」という名前を聞いたことがない	<%>	
			無回答	
駒込(115)	46.1	20.9	30.4	2.6
巣鴨(118)	47.5	17.8	31.4	3.4
西巣鴨(91)	47.3	33.0	18.7	1.1
北大塚(51)	52.9	25.5	15.7	5.9
南大塚(88)	43.2	22.7	31.8	2.3
上池袋(95)	43.2	25.3	28.4	3.2
東池袋(116)	38.8	25.9	31.0	4.3
南池袋(56)	44.6	30.4	21.4	3.6
西池袋(101)	44.6	23.8	27.7	4.0
池袋(99)	39.4	25.3	31.3	4.0
池袋本町(122)	36.1	37.7	22.1	4.1
雑司が谷(74)	54.1	16.2	23.0	6.8
高田(76)	52.6	14.5	28.9	3.9
目白(109)	41.3	23.9	33.0	1.8
南長崎(99)	35.4	30.3	30.3	4.0
長崎(91)	40.7	25.3	26.4	7.7
千早(62)	43.5	29.0	25.8	1.6
要町(46)	43.5	28.3	23.9	4.3
高松(40)	42.5	20.0	27.5	10.0
千川(27)	33.3	22.2	37.0	7.4

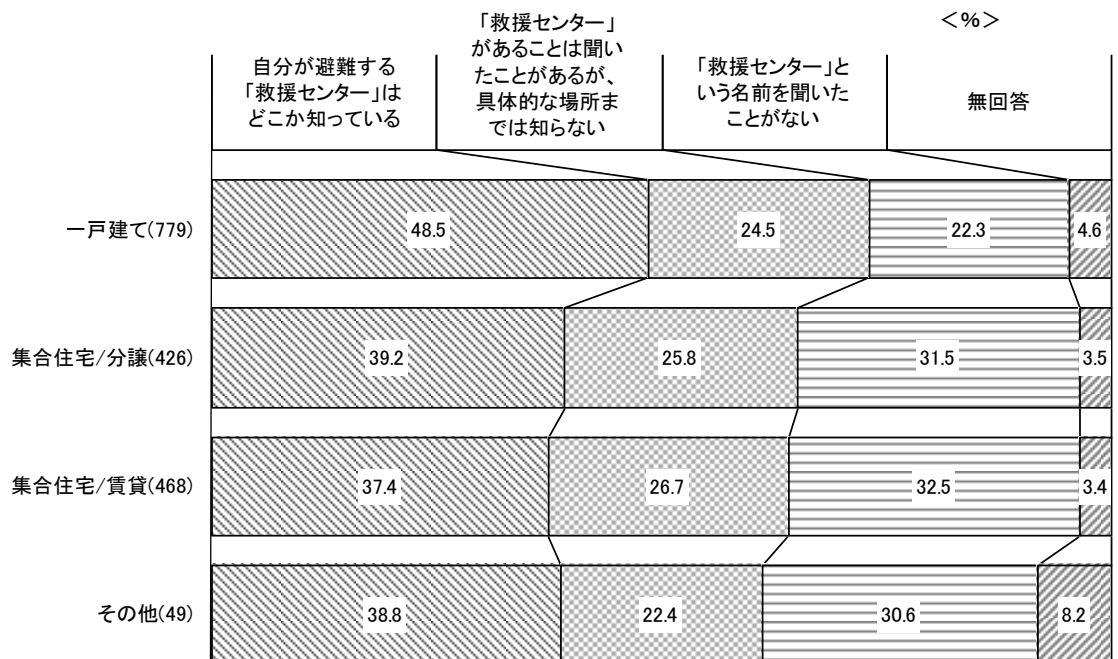
### 【世帯構成別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、三世代（56.8%）で5割台半ばと高くなっている。
- 「「救援センター」という名前を聞いたことがない」は、単身者（31.1%）で3割を超えている。



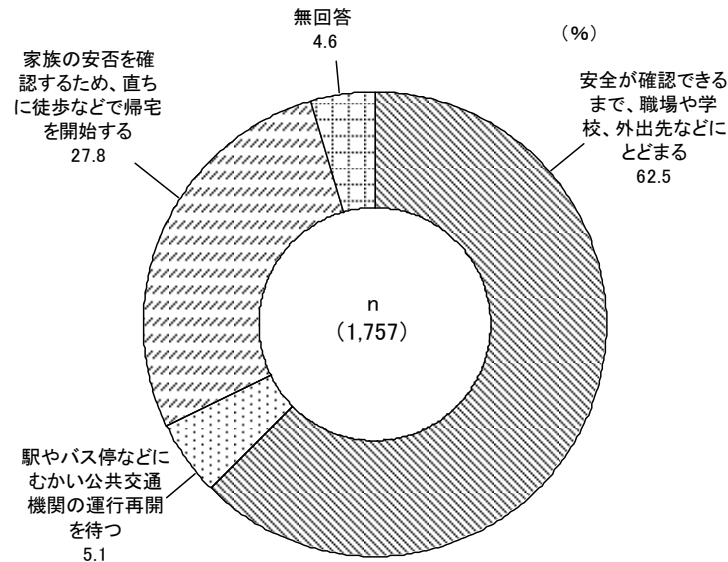
### 【住まい形態別】

- 「自分が避難する「救援センター」はどこか知っている」は、一戸建て（48.5%）で約5割と高くなっている。



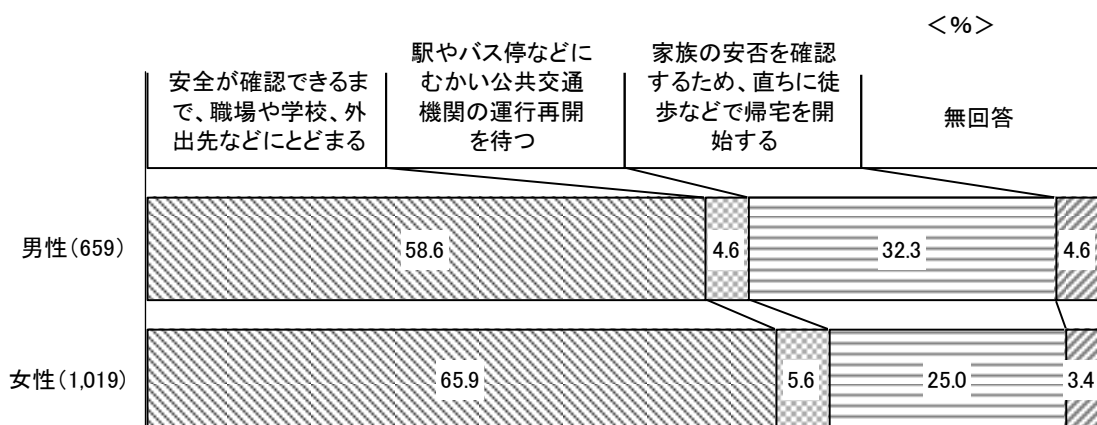
## 11 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動〔問 15〕

- 大地震により公共交通機関が停止した場合の行動について聞いたところ、「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」(62.5%)が6割強と最も高く、次いで、「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」(27.8%)が3割弱となっている。



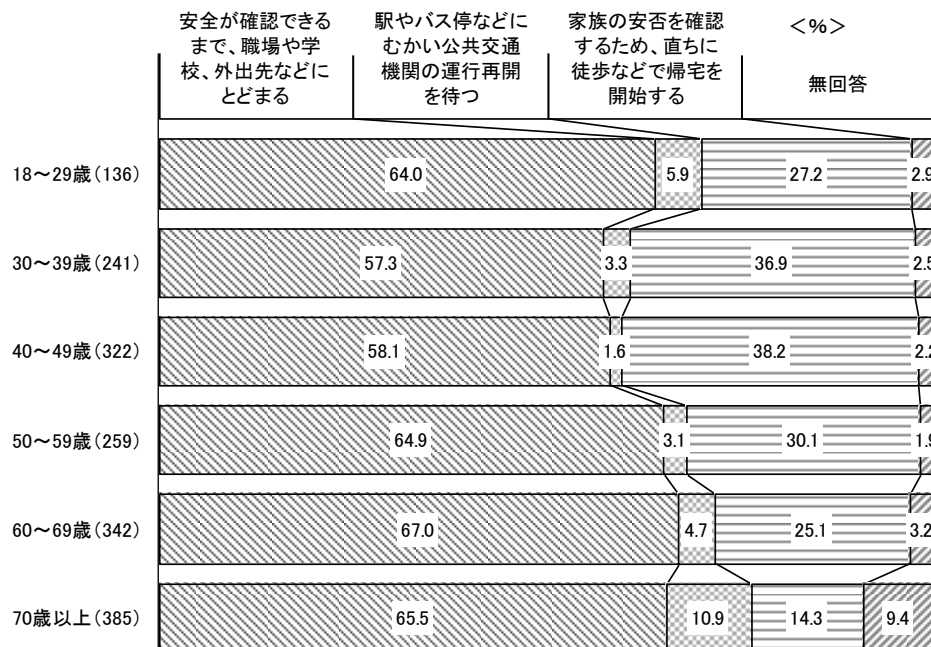
### 【性別】

- 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は、女性(65.9%)が男性(58.6%)よりも7.3ポイント高くなっている。
- 「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は、男性(32.3%)が女性(25.0%)よりも7.3ポイント高くなっている。



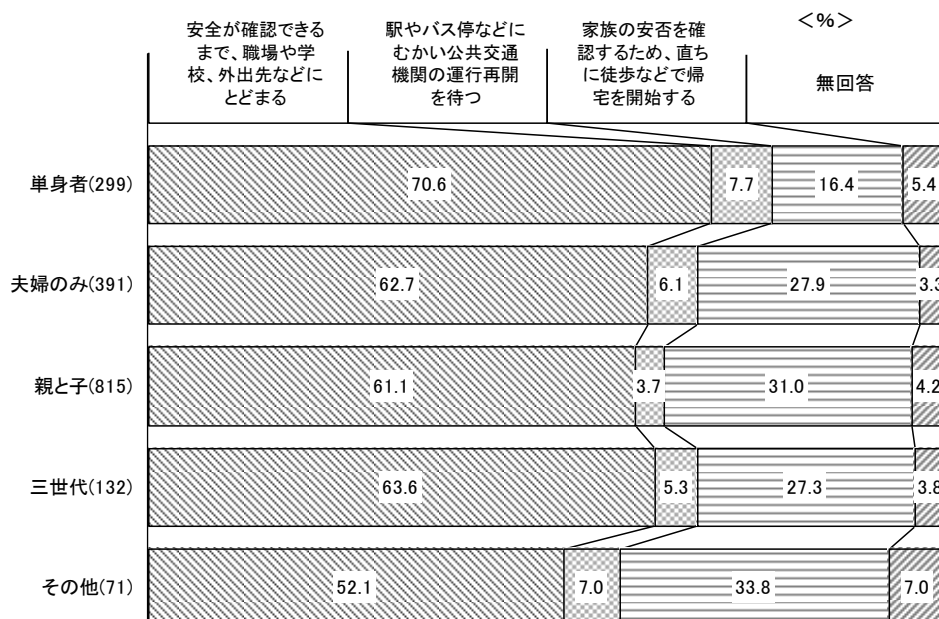
### 【年齢別】

- 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は、60～69 歳（67.0%）で6割台半ばを超え最も高くなっている。
- 「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は、40～49 歳（38.2%）で約4割、30～39 歳（36.9%）で3割台半ばと高くなっている。



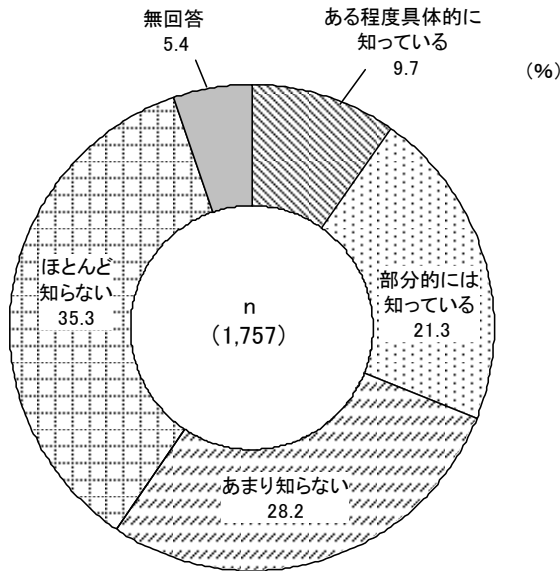
### 【世帯構成別】

- 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる」は、単身者（70.6%）で約7割と最も高くなっている。
- 「家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する」は、その他の世帯（33.8%）で約3割台半ば、親と子（31.0%）で約3割と高くなっている。



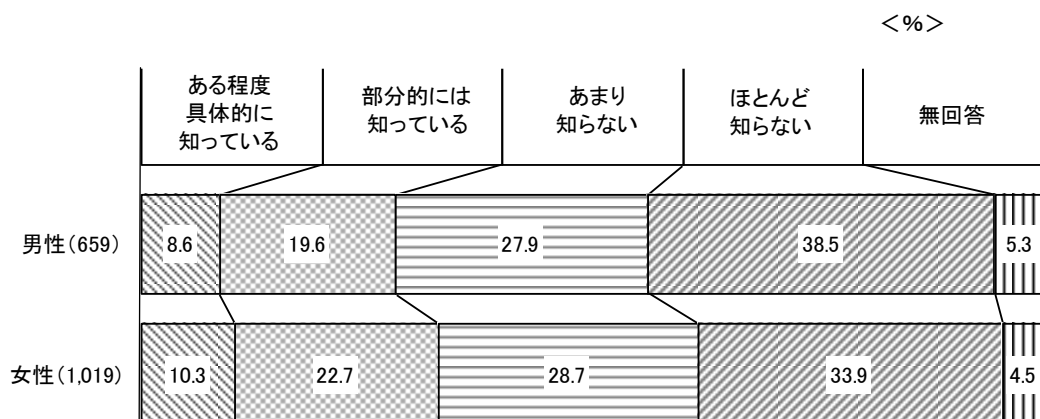
## 12-① 高齢者虐待に対する区民の理解度〔問 16〕

- 高齢者に関する虐待や暴力及び通告・通報制度について聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」(9.7%)と「部分的には知っている」(21.3%)を合わせた“知っている”(31.0%)としてみると、約3割となっている。



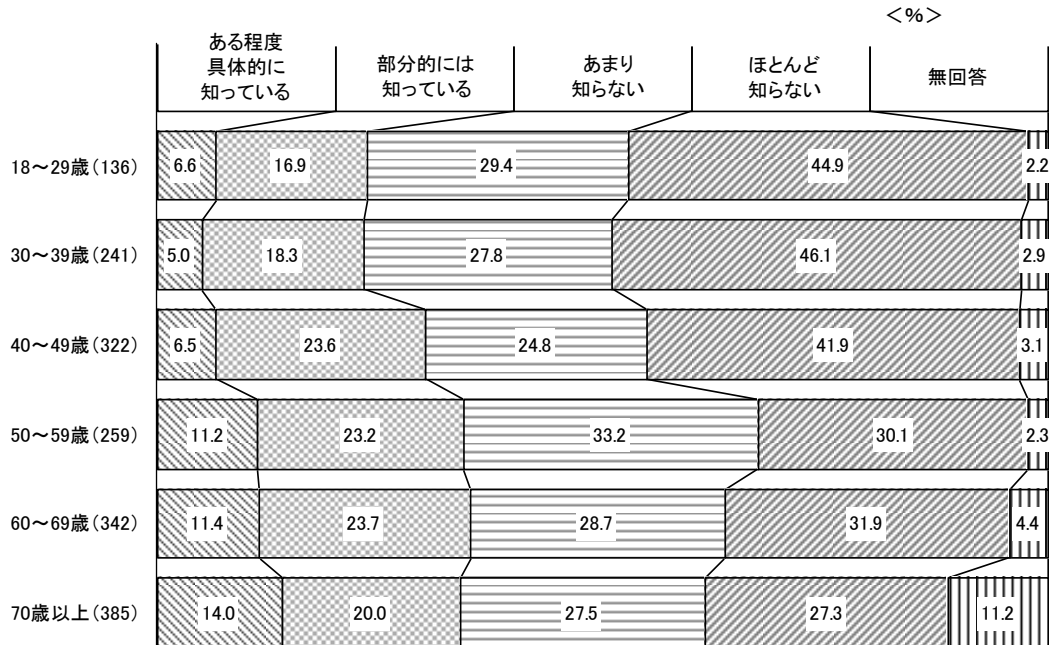
### 【性別】

- “知っている”は、女性(33.0%)が男性(28.2%)より4.8ポイント高くなっている。



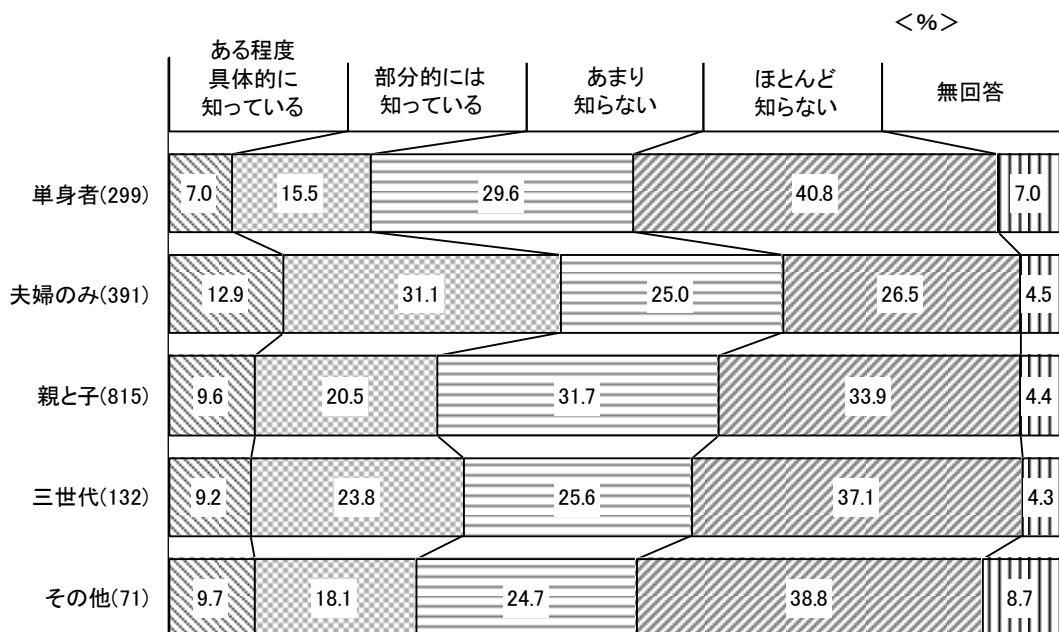
### 【年齢別】

- “知っている”は、おおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、60～69歳（35.1%）で3割台半ばとなっている。
- “知らない”は、18～29歳（74.3%）と30～39歳（73.9%）で7割台半ばと高くなっている。



### 【世帯構成別】

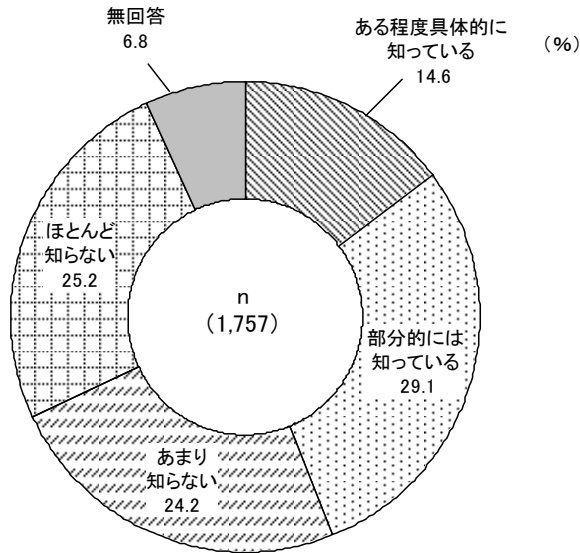
- “知っている”は、夫婦のみ（44.0%）で4割台半ばと高くなっている。
- “知らない”は、単身者（70.4%）で7割を超えている。





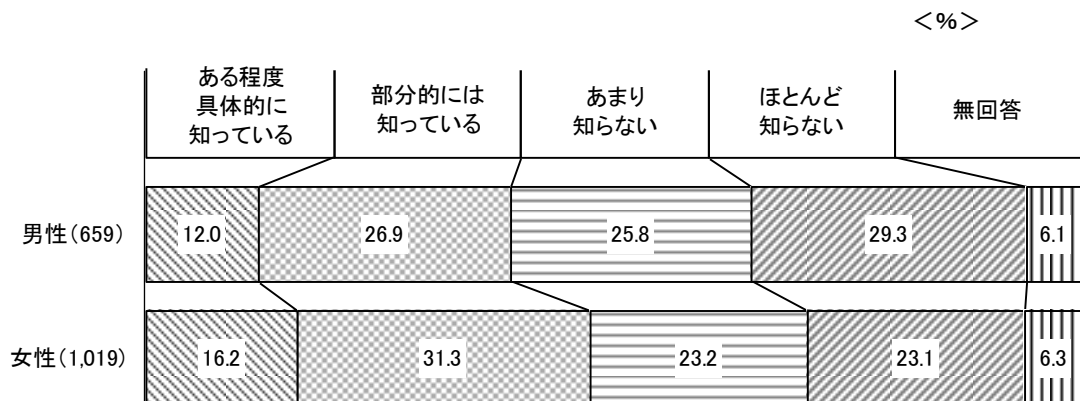
## 12-② 児童虐待に対する区民の理解度〔問 16〕

- 児童に関する虐待や暴力及び通告・通報制度について聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」(14.6%)と「部分的には知っている」(29.1%)を合わせた“知っている”(43.7%)としてみると、4割台半ばとなっている。



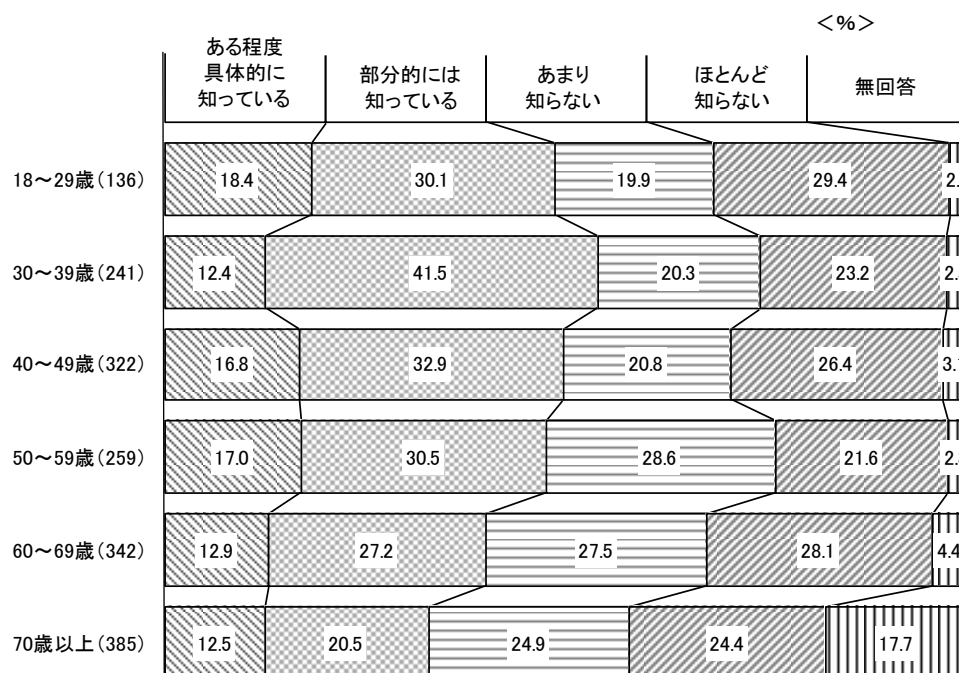
### 【性別】

- “知っている”は、女性(47.5%)で5割弱、男性(38.9%)で約4割となっており、女性が男性より8.6ポイント高くなっている。



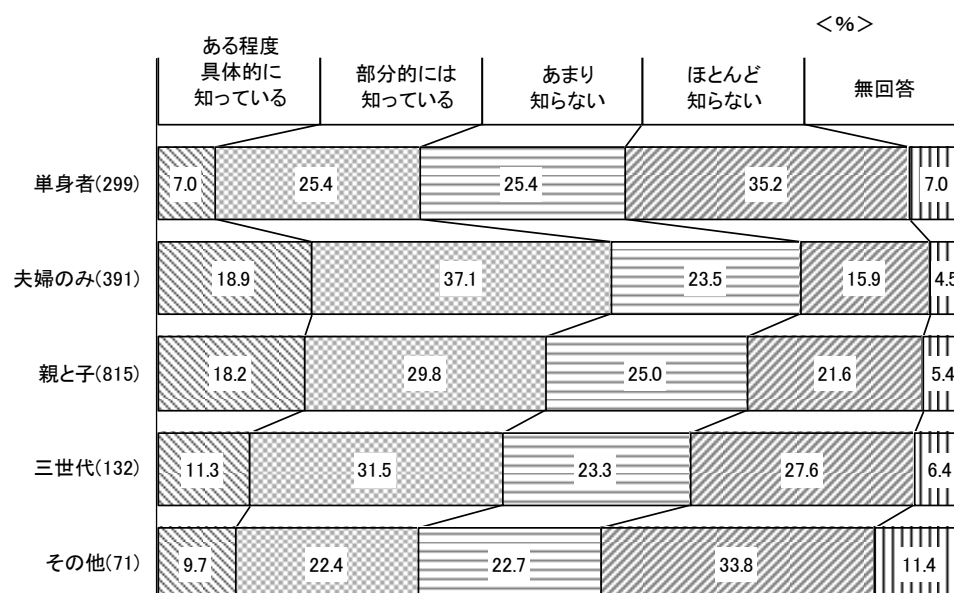
## 【年齢別】

- “知っている” は、30～39歳（53.9%）で5割台半ばと最も高くなっている。



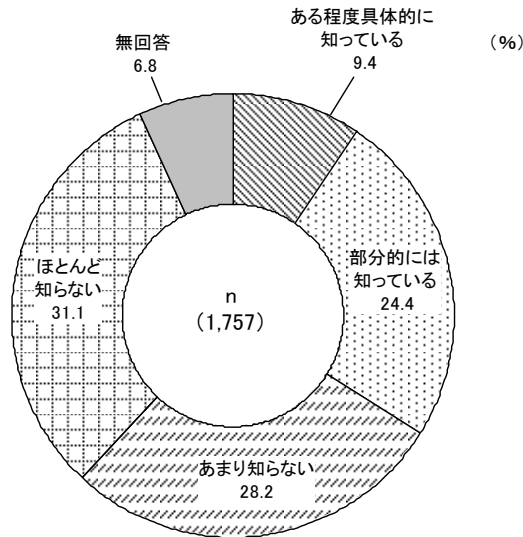
## 【世帯構成別】

- “知っている” は、夫婦のみ（56.0%）で5割台半ばと最も高く、次いで、親と子（48.0%）となっている。



## 12-③ DV（ドメスティック・バイオレンス）に対する区民の理解度〔問16〕

- DVに関する虐待や暴力及び通告・通報制度について聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」（9.4％）と「部分的には知っている」（24.4％）を合わせた“知っている”（33.8％）としてみると、3割台半ばとなっている。



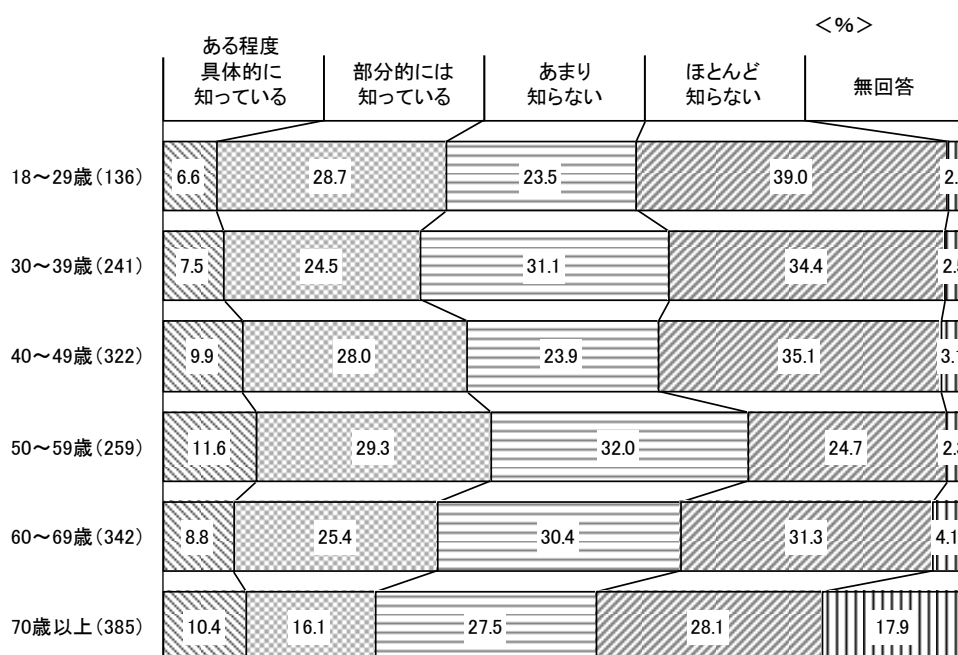
### 【性別】

- “知っている”は、女性（36.2％）が男性（30.4％）より5.8ポイント高くなっている。

	ある程度具体的に知っている	部分的には知っている	あまり知らない	ほとんど知らない	無回答
男性 (659)	7.0	23.4	30.2	33.4	6.1
女性 (1,019)	10.9	25.3	27.3	30.2	6.3

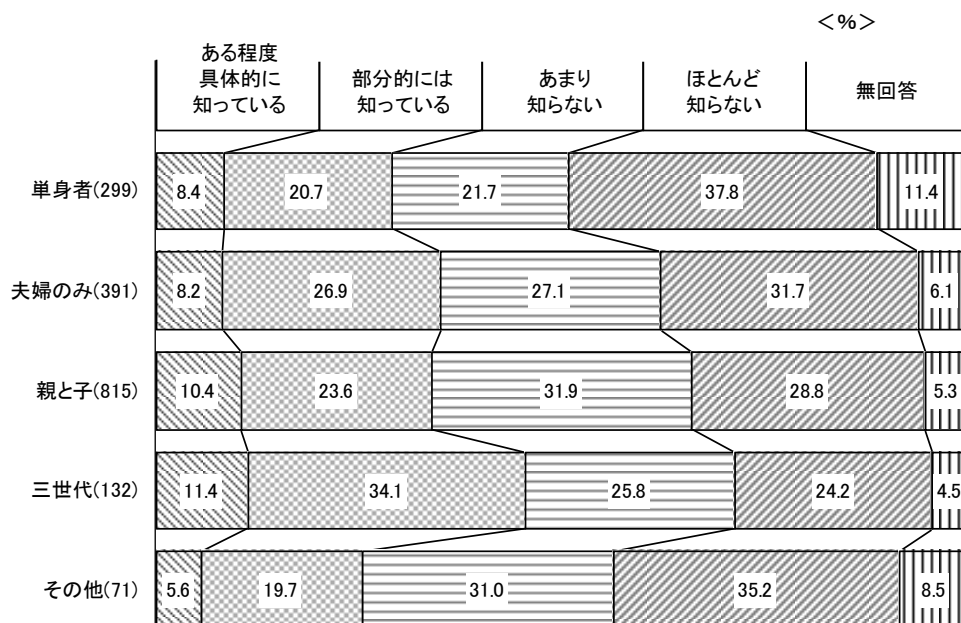
### 【年齢別】

- “知っている” は、50～59歳（40.9%）で約4割と最も高く、以下、40～49歳（37.9%）、18～29歳（35.3%）などとなっている。



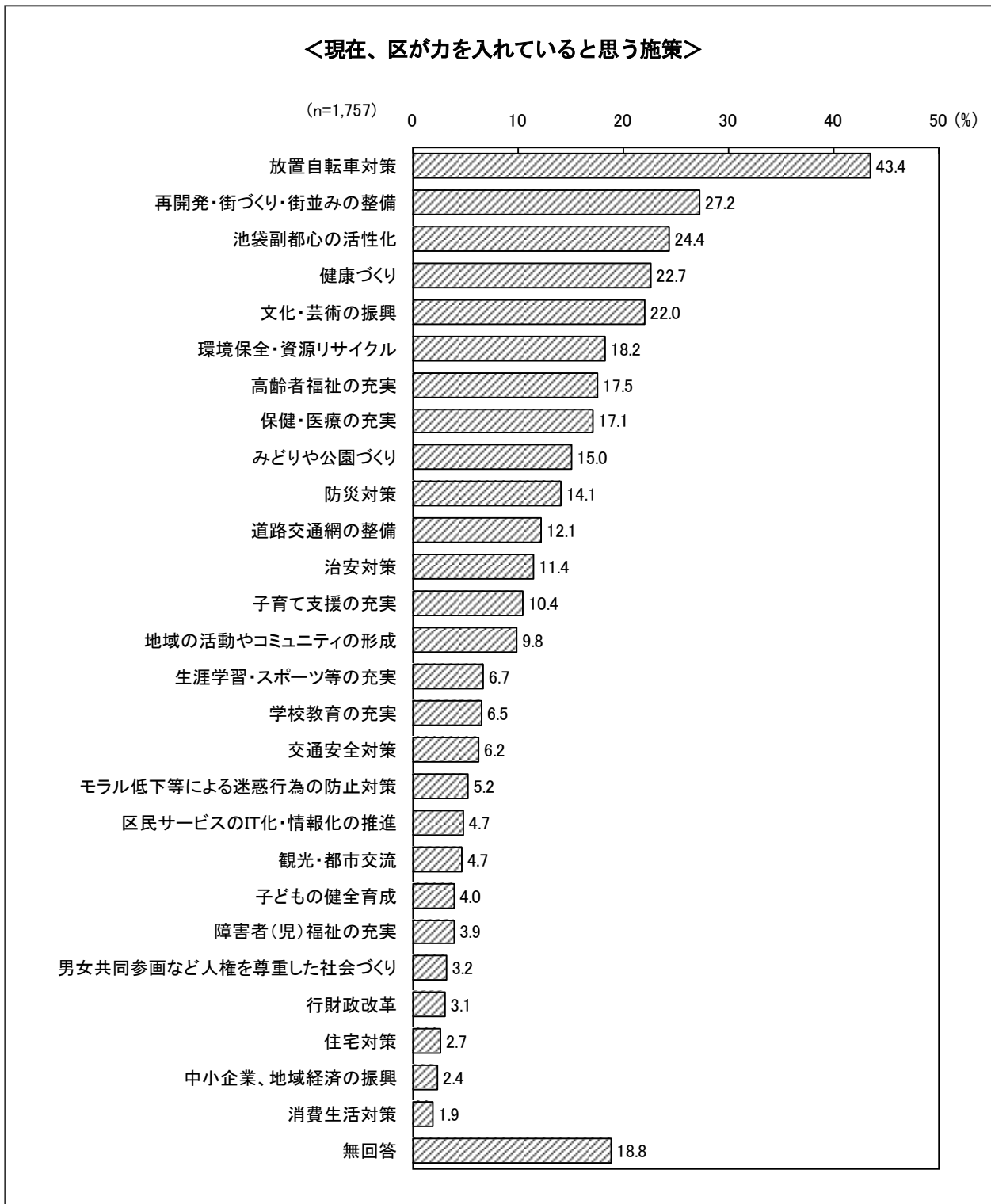
### 【世帯構成別】

- “知っている” は、三世代（45.5%）で4割台半ばと最も高く、以下、夫婦のみ（35.1%）、親と子（34.0%）となっている。



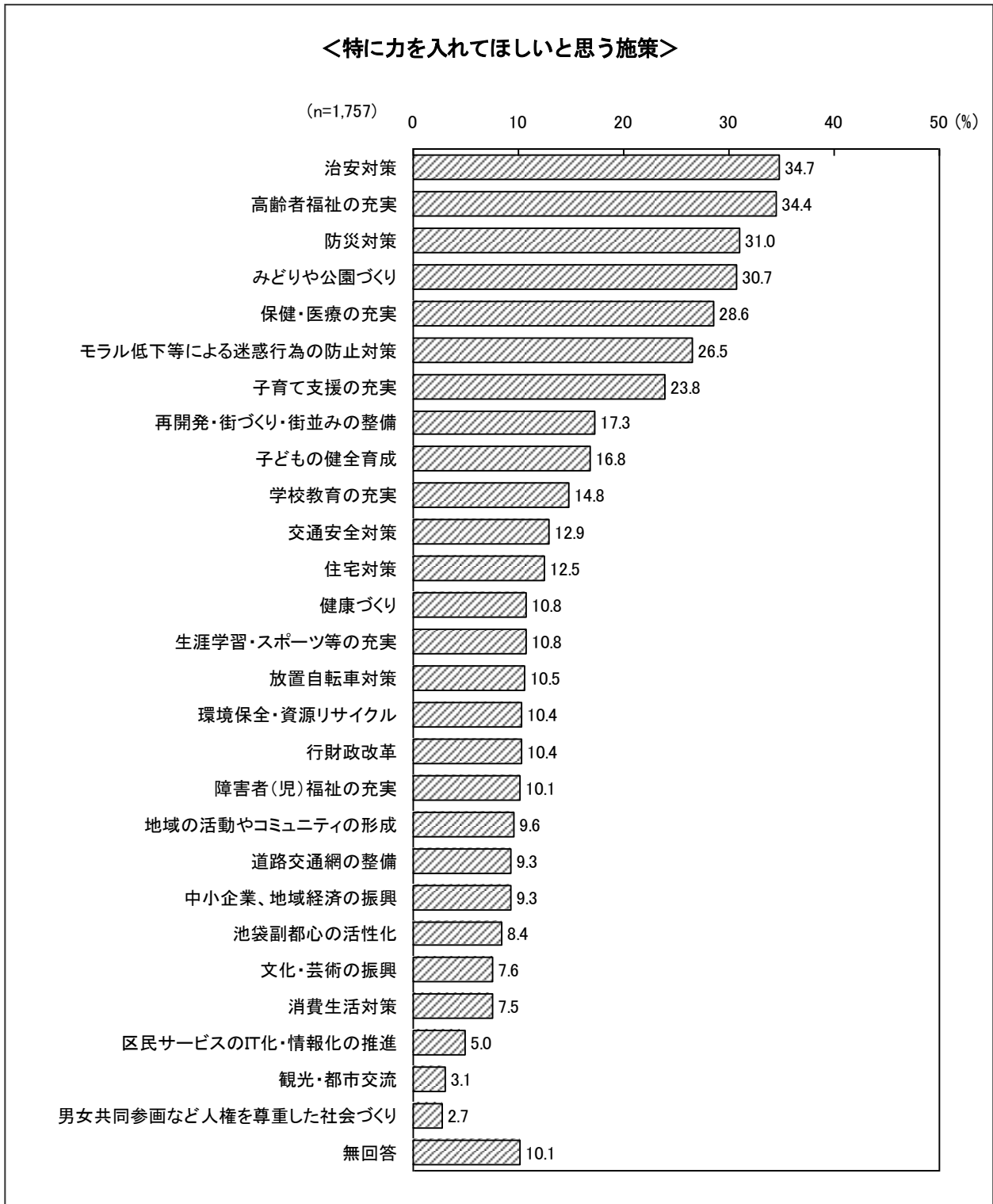
## 13 区政全般への要望〔問17〕

- 区政全般への要望について聞いたところ、現在、区が力を入れていると思う施策は、「放置自転車対策」(43.4%)が4割台半ばと最も高く、以下、「再開発・街づくり・街並みの整備」(27.2%)、「池袋副都心の活性化」(24.4%)などとなっている。



※5つ選択

●特に力を入れてほしいと思う施策は、「治安対策」(34.7%)が3割台半ばと最も高く、以下、「高齢者福祉の充実」(34.4%)、「防災対策」(31.0%)、「みどりや公園づくり」(30.7%)などとなっている。



※5つ選択

## 【経年比較】

- 前回の調査と比較すると、上位 10 項目中で、平成 22 年度よりも順位が高くなったものは、「治安対策」「防災対策」「再開発・街づくり・街並みの整備」の3項目となっている。
- 上位 10 項目中で、平成 22 年度よりも順位が低くなったものは、「高齢者福祉の充実」「保健・医療の充実」「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」「学校教育の充実」の4項目となっている。

## &lt;平成 25 年度&gt;

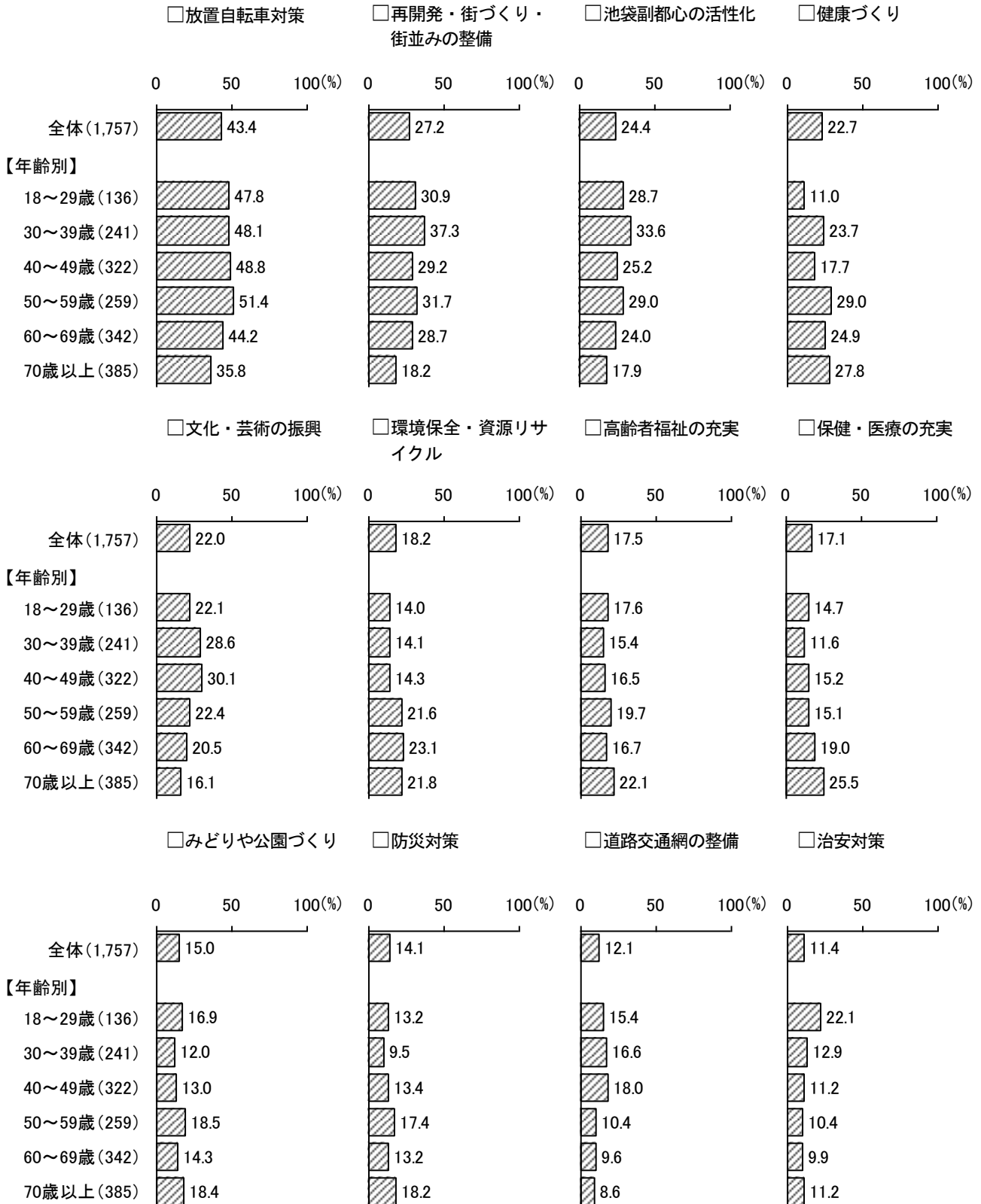
## &lt;平成 22 年度&gt;

順位	施策	%	順位比較	順位	%
1	治安対策	34.7	←	3	37.0
2	高齢者福祉の充実	34.4	←	1	44.1
3	防災対策	31.0	←	6	21.8
4	みどりや公園づくり	30.7	←---	4	30.5
5	保健・医療の充実	28.6	←	2	37.8
6	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	26.5	←	5	29.9
7	子育て支援の充実	23.8	←---	7	20.1
8	再開発・街づくり・街並みの整備	17.3	←	11	14.8
9	子どもの健全育成	16.8	←---	9	15.9
10	学校教育の充実	14.8	←	8	16.1
11	交通安全対策	12.9	←	15	11.8
12	住宅対策	12.5	←	18	10.8
13	健康づくり	10.8	←---	13	11.8
14	生涯学習・スポーツ等の充実	10.8	←	16	11.4
15	放置自転車対策	10.5	←	12	12.9
16	環境保全・資源リサイクル	10.4	←	14	11.8
17	行財政改革	10.4	←	10	15.2
18	障害者（児）福祉の充実	10.1	←	17	10.9
19	地域の活動やコミュニティの形成	9.6	←	20	10.5
20	道路交通網の整備	9.3	←	21	9.0
21	中小企業、地域経済の振興	9.3	←	19	10.7
22	池袋副都心の活性化	8.4	←---	22	8.9
23	文化・芸術の振興	7.6	←	24	8.2
24	消費生活対策	7.5	←	23	8.5
25	区民サービスのIT化・情報化の推進	5.0	←---	25	4.2
26	観光・都市交流	3.1	←	27	2.3
27	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	2.7	←	26	3.0

【年齢別】

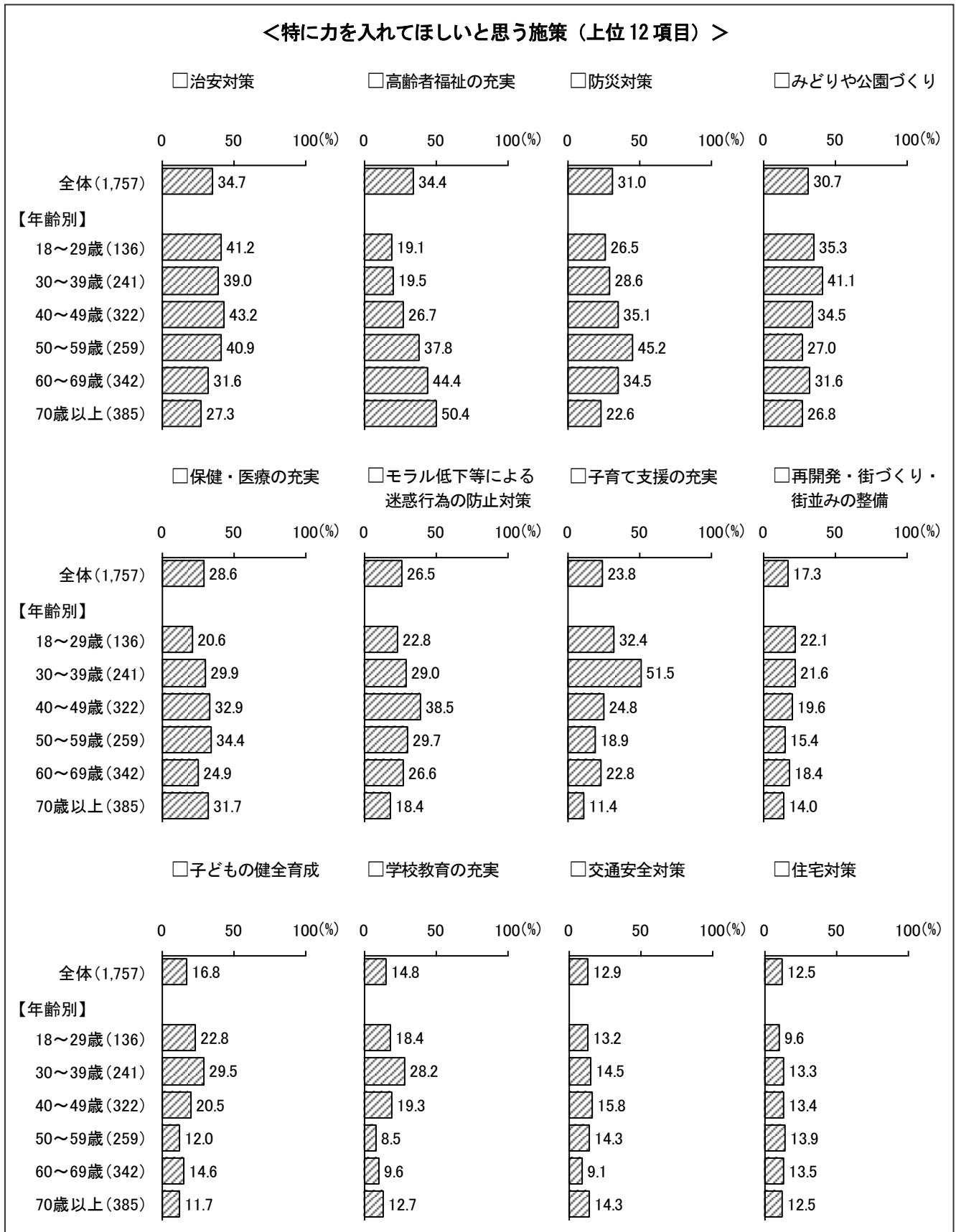
- 「放置自転車対策」は70歳以上（35.8%）を除く全ての年齢で4割を超えている。
- 「再開発・街づくり・街並みの整備」は30～39歳（37.3%）で最も高く、以下、50～59歳（31.7%）、18～29歳（30.9%）と続いている。

<現在、区が力を入れていると思う施策（上位12項目）>





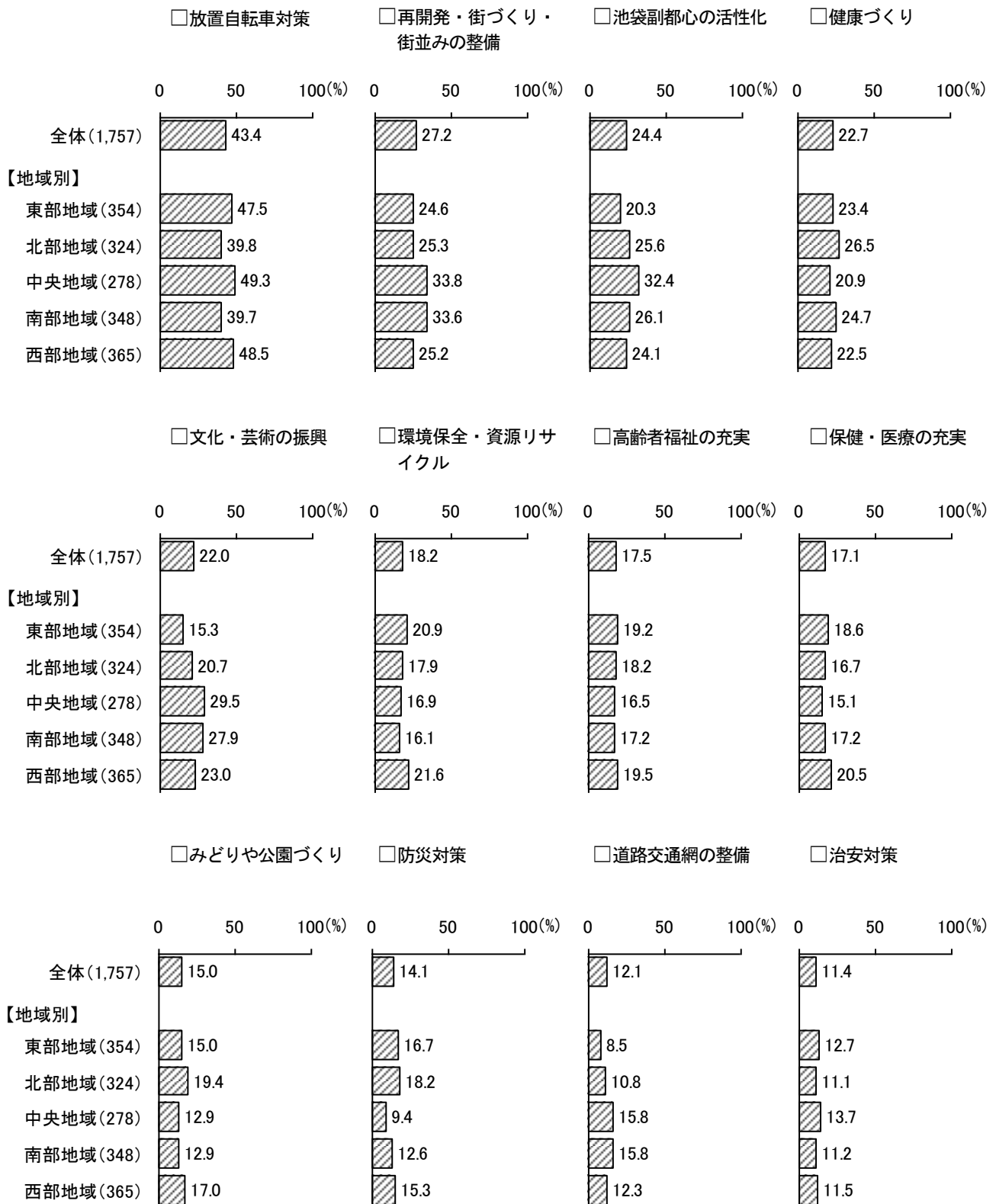
- 「治安対策」は40～49歳(43.2%)で最も高く、以下、18～29歳(41.2%)、50～59歳(40.9%)と続いている。
- 「高齢者福祉の充実」は年齢が上がるほど高くなり、70歳以上(50.4%)で約5割となっている。



【地域別】

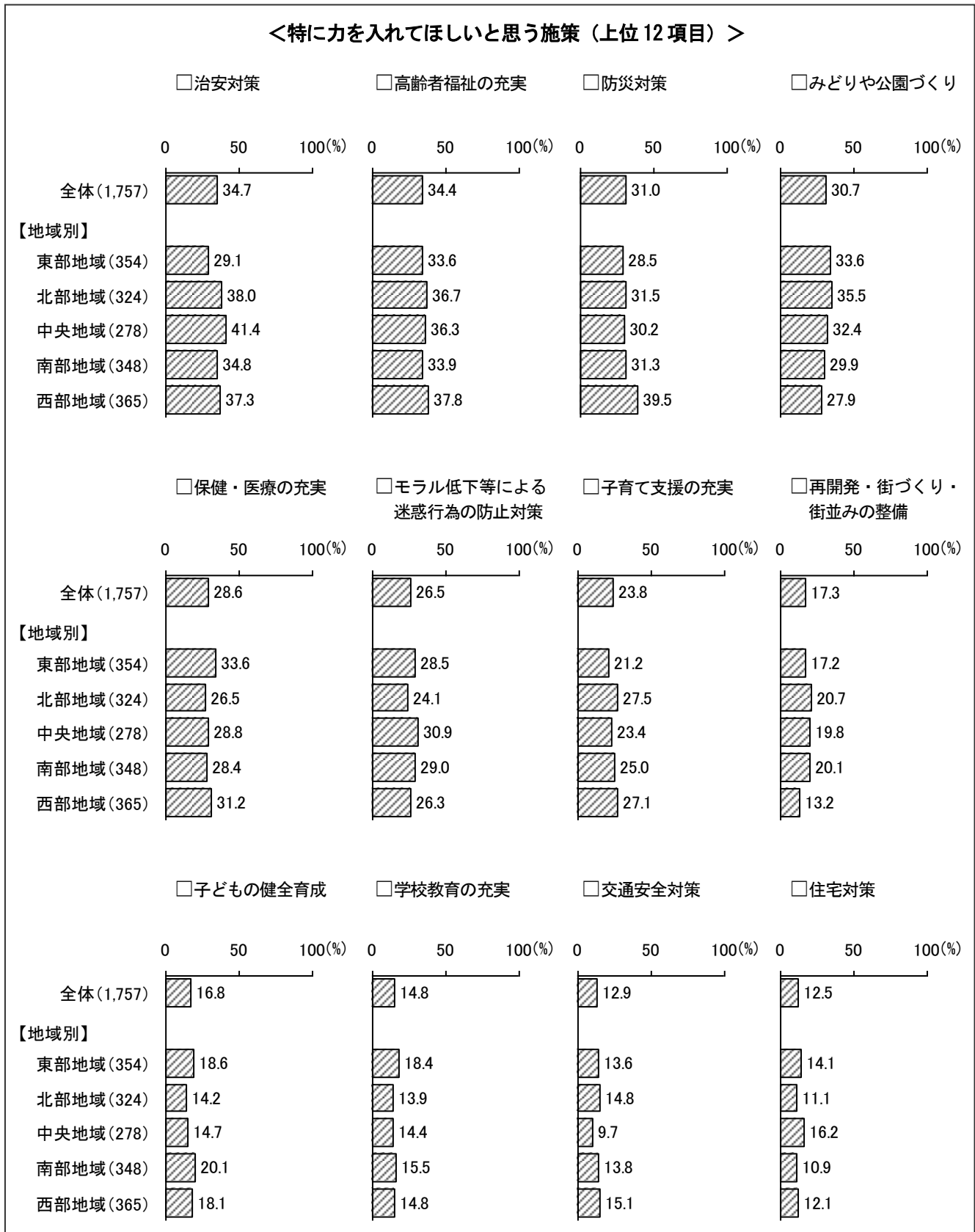
- 「放置自転車対策」は中央地域（49.3%）と西部地域（48.5%）で約5割となっている。
- 「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（33.8%）と南部地域（33.6%）で3割台半ばとなっており、他の地域を8～9ポイント上回っている。

<現在、区が力を入れていると思う施策（上位12項目）>



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

- 「治安対策」は中央地域（41.4%）で唯一4割を超えている。
- 「高齢者福祉の充実」は西部地域（37.8%）で3割台半ばを超えており、次いで北部地域（36.7%）で3割台半ばとなっている。



## ● 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査と比較するため、◆が今回調査、◇が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

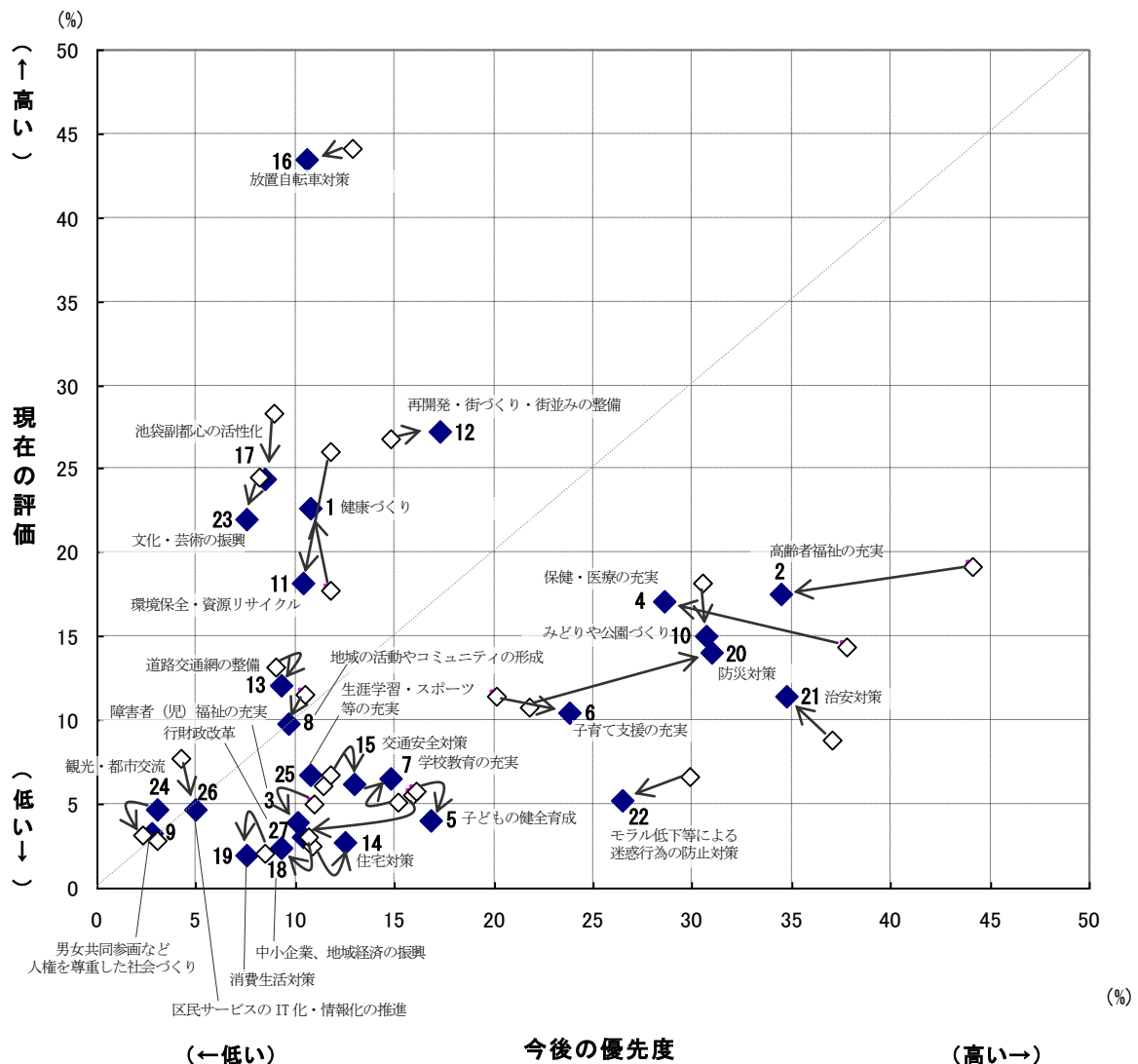
### 《数値化の方法》

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

- 現在の評価  
各項目の回答割合 (%)
- 今後の優先度  
各項目の回答割合 (%)

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

- 現在の評価が低いが、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「治安対策」「高齢者福祉の充実」「防災対策」「みどりや公園づくり」となっている。このうち、「防災対策」については、前回（H22）と比較すると優先度が9.2ポイント高くなっている。



## Ⅲ. 調査票



# 協働のまちづくりに関する区民意識調査

～ 調査ご協力をお願い ～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。豊島区では、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかで感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



平成25年7月

豊島区長 高野之夫

## 《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内在住の18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人を対象として実施するものです。なお、2、3年前と比べた最近の地域の生活環境についての設問があることから、居住年数2年以上の方を対象としています。
2. アンケートのご回答は、原則としてあて名のご本人が行ってください。（ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方に相談いただいても結構です。）
3. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆様の個人情報、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、感じになっていることをお答えください。

※ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、

**7月26日(金)** までにポストにご投函ください。

封筒には、バーコードがついていますが、これは返送先の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-3981-4201 (直通)

【FAX】 03-3981-1021

# I. 豊島区の印象について

## 1. 住み心地

問1-1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうですか。(1つに○)

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. わからない

問1-2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

1. 以前より住み良くなった
2. 以前より住みにくくなった
3. 変わらない
4. わからない

→ «問1-2で「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします»

問1-3 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

## 2. 定住意向

問2 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. いつまでも住み続けたいと思っている
2. 当分住み続けたいと思っている
3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある
4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている
5. わからない

## 3. 地域への愛着

問3 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

1. 愛着を感じている
2. やや愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない
5. どちらともいえない



## II. 地域の生活環境について

### 1. 地域の生活環境の評価と今後の優先度

問4 以下の設問は、地域の生活環境を10のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表したものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。



◎ 「最近の評価」の欄は、2、3年前と比べた評価で、あてはまるところに、1つずつ○をつけてください。

◎ 「今後の優先度」の欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号をご記入ください。

◎ もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そとうち 思ら うか とい うと	いど えち なら ない も	そとうち 思ら わか ない とい うと	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
① 福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	※1～8の中から3つ選んで、番号を書いてください。        
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	1	2	3	
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	4	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	1	2	3	
	5	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	7	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	1	2	3	
	8	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	1	2	3	
② 健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	1	2	3	※9～13の中から2つ選んで、番号を書いてください。     
	10	がんに関する正しい知識が広がり、がん検診が受けやすい環境にある	1	2	3	
	11	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	1	2	3	
	12	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	13	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そ ど う 思 わ れ た か ら と い う と	い ど え ち な ら い と も	そ ど う 思 わ れ た か ら と い う と	
③ 子 育 て	14	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	1	2	3	※14～19の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	15	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	16	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	
	17	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	1	2	3	
	18	家庭の状況に応じた子育てサービスが利用できる	1	2	3	
	19	区と民間事業者が連携を深めながら、保育サービスの向上や施設整備が図られている	1	2	3	
④ 教 育	20	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている	1	2	3	※20～26の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	21	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	22	地域や保護者による学校教育への関わりを通じ、特色ある学校づくりがなされている	1	2	3	
	23	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	24	学校の周辺及び通学路が安全である	1	2	3	
	25	家庭での教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	26	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	1	2	3	
⑤ コ ミ ュ ニ ティ ・ 協 働	27	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	1	2	3	※27～34の中から3つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	28	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	29	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	30	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3	
	31	地域の課題に対する関心が高まっている	1	2	3	
	32	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	33	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	34	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そ ど う ち 思 う か と い う と	い ど え ち な ら い と も	そ ど う ち 思 わ か な い と い う と	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
⑥ 環境	35	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	※35～42の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	36	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	37	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	1	2	3	
	38	温室効果ガス削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	42	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑦ 都市再生	43	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※43～52の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	44	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	1	2	3	
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	新庁舎整備をはじめとして、池袋駅を中心とした広範なまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	47	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	身近な生活道路が快適に通行できる	1	2	3	
51	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なくなっている	1	2	3		
	52	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			そ ど う 思 ら う か と い う と	い ど え ち な ら い と も	そ ど う 思 ら わ か な い と い う と	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
⑧ 安全・安心	53	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	※53～58の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	1	2	3	
	55	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	56	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	57	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	58	交通事故が少ない	1	2	3	
⑨ 観光・産業	59	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	1	2	3	※59～64の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	60	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される	1	2	3	
	61	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	62	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	
	63	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
⑩ 文化	64	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	※65～72の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	65	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている	1	2	3	
	66	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である	1	2	3	
	67	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	68	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	1	2	3	
	69	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている	1	2	3	
	70	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	1	2	3	
	71	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	
72	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3		

## Ⅲ. 区の情報・窓口サービス・政策等について

### 1. 区に関する情報について

問5 あなたは、区に関する情報をどのような方法で入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 広報紙(広報としま)	6. 知人・家族から
2. 区のホームページ	7. 区の窓口や電話での問い合わせ
3. テレビ広報	8. 入手できない
4. 区の掲示板	9. 入手したことがない
5. 町会などの回覧板	10. その他(具体的に: )

### 2. 区の窓口サービスについて

問6 豊島区では、これまで日曜窓口や平日の夜間窓口などを行っていますが、土曜日、日曜日、平日の夜間窓口ではどちらが利用しやすいと思いますか。(1つに○)

1. 土曜日	2. 日曜日	3. 平日の夜間窓口	4. どちらともいえない
--------	--------	------------	--------------

問7 土曜日・日曜日の開庁や平日の夜間窓口では、どのようなサービスを利用したいと思いますか。現在、行っていない業務も含めてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 証明書等(住民票・所得証明など)	4. 税・保険料等の払い込み・納付相談
2. 転出入の手続き	5. その他各種手続き・相談等
3. 税・国保・年金の手続き	

「問7で「5. その他各種手続き・相談等」とお答えの方におたずねします」

問7-1 土曜日・日曜日の開庁や平日夜間窓口で利用したいと思われる手続き・相談等とは何ですか。(○は3つまで)

1. 高齢者福祉・介護保険関係	5. 公営住宅関係
2. 障害者福祉関係	6. ごみ・リサイクル関係
3. 子育て関係	7. その他(具体的に: )
4. 消費生活関係	

問8 窓口サービスの向上に向けて、今後、職員対応について、どのような点に注意すべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. 身だしなみ	5. 明るい挨拶
2. わかりやすい説明	6. 待たせない事務処理の工夫
3. 親切・丁寧な対応	7. 個人のプライバシーへの配慮
4. 言葉遣い	8. その他(具体的に: )

## 2. セーフコミュニティについて

平成24年11月、豊島区はWHO（世界保健機関）が提唱する「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防することができる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と質を高めていくまちづくり活動のことです。

問9 過去1年間のなかで最も印象に残っている、あなた自身のけがや事故の経験についてお聞きます。（1つに○）

1. 手当が必要なほどのけがはしたことがない
2. けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある
3. けがをして、医療機関に通院したことがある
4. けがをして、医療機関に入院したことがある

問10 豊島区では、環境浄化団体や警察と合同で、定期的に環境浄化パトロール活動を実施しています。あなたは、池袋駅周辺（繁華街）の治安についてどのように感じますか。

（1つに○）

1. とても安心感がある
2. やや安心感がある
3. どちらともいえない
4. やや不安感がある
5. とても不安感がある

問11 交通事故が発生した場所や注意すべき地点を知っていることで、事故防止につなげることができます。お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることをご存じですか。（1つに○）

1. 複数の具体的な場所を知っていて、注意している
2. 一つは具体的な場所を知っていて、注意している
3. 事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない
4. 事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった

問12 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが、転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、（あなたの家庭では、）どのような対策をとっていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家具や本棚などを固定し、転倒を防止している
2. テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
3. 転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている
4. 食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している
5. 窓ガラスが割れて飛散しないようにしている（強化ガラス、フィルムを貼るなど）
6. 特に対策はしていない

問13 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことが

ありますか。(1つに○)

1. 参加したことがある
2. 自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある
3. 訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない
4. 身近な地域で参加できる訓練がない
5. 訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)

問 14 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。(1つに○)

1. 自分が避難する「救援センター」はどこか知っている
2. 「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない
3. 「救援センター」という名前を聞いたことがない

問 15 外出中に、大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどのようにしますか。(1つに○)

1. 安全が確認できるまで、職場や学校、外出先などにとどまる
2. 駅やバス停などにむかい公共交通機関の運行再開を待つ
3. 家族の安否を確認するため、直ちに徒歩などで帰宅を開始する

問 16 豊島区では平成25年2月に「虐待と暴力のないまちづくり宣言」を行いました。

子どもや高齢者、配偶者などへの虐待・暴力を早期発見・防止するためには、私たち一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。あなたは、以下について、どのような行為が虐待や暴力にあたるか、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。(それぞれ該当する番号に1つに○)

	ある程度 具体的に 知っている	部分的には 知っている	あまり 知らない	ほとんど 知らない
(1) 高齢者虐待 〔主な通告、相談先〕 ・区立高齢者総合相談センター ・区の高齢者福祉課、警察など	1	2	3	4
(2) 児童虐待 〔主な通告、相談先〕 ・区立子ども家庭支援センター ・児童相談所、警察など	1	2	3	4
(3) DV(ドメスティック・バイオレンス) (配偶者やパートナーへの暴力) 〔主な通告、相談先〕 ・区立男女平等推進センター ・区の子育て支援課、警察など	1	2	3	4

#### 4. 区政全般への要望

問 17 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(〇はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
健康づくり	1	1
高齢者福祉の充実	2	2
障害者（児）福祉の充実	3	3
保健・医療の充実	4	4
子どもの健全育成	5	5
子育て支援の充実	6	6
学校教育の充実	7	7
地域の活動やコミュニティの形成	8	8
男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
みどりや公園づくり	10	10
環境保全・資源リサイクル	11	11
再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
道路交通網の整備	13	13
住宅対策	14	14
交通安全対策	15	15
放置自転車対策	16	16
池袋副都心の活性化	17	17
中小企業、地域経済の振興	18	18
消費生活対策	19	19
防災対策	20	20
治安対策	21	21
モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
文化・芸術の振興	23	23
観光・都市交流	24	24
生涯学習・スポーツ等の充実	25	25
区民サービスのIT化・情報化の推進	26	26
行財政改革	27	27



IV. あなたご自身のことについて（※ 統計的に分析するために使用します。）

①あなたの性別をお答えください。（1つに〇）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②あなたの年齢について、お答えください。（1つに〇）

1. 18～19歳	5. 50～59歳
2. 20～29歳	6. 60～69歳
3. 30～39歳	7. 70歳以上
4. 40～49歳	

③あなたの職業について、お答えください。（1つに〇）

1. 自営業主	5. 専業主婦（主夫）
2. 家族従業	6. 学生
3. 勤め（全日）	7. 無職
4. 勤め（パートタイム）	8. その他（具体的に： ）

④あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。（1つに〇）

1. ずっと住んでいる （一時的に豊島区を離れた人も含む）	2. 他の地域からきた
----------------------------------	-------------

⑤あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに〇）

1. 2年以上～5年未満	3. 10年以上～20年未満
2. 5年以上～10年未満	4. 20年以上

⑥あなたのお住まいの町名について、お答えください。（番号に〇印を付け、（ ）内に数字もお書きください。）

記入例 (1) 駒込 (2) 丁目

1. 駒込（ ）丁目	8. 南池袋（ ）丁目	15. 南長崎（ ）丁目
2. 巣鴨（ ）丁目	9. 西池袋（ ）丁目	16. 長崎（ ）丁目
3. 西巣鴨（ ）丁目	10. 池袋（ ）丁目	17. 千早（ ）丁目
4. 北大塚（ ）丁目	11. 池袋本町（ ）丁目	18. 要町（ ）丁目
5. 南大塚（ ）丁目	12. 雑司が谷（ ）丁目	19. 高松（ ）丁目
6. 上池袋（ ）丁目	13. 高田（ ）丁目	20. 千川（ ）丁目
7. 東池袋（ ）丁目	14. 目白（ ）丁目	

⑦あなたの世帯の構成について、お答えください。（1つに〇）

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	(具体的に： )

→「⑦で「3」または「4」とお答えの方におたずねします」

⑧あなたの家族に中学生以下のお子さんは何人いらっしゃいますか。(1つに〇)

1. いない	3. 2 人
2. 1 人	4. 3人以上

⑨あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに〇)

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)
2. 集合住宅(分譲)	4. その他(具体的に： )

豊島区では、より一層の区民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。あなたが日々暮らしていく中で最近「豊島区が変わったな」と感じる事(豊島区が良くなったこと、悪くなったこと、取り組みをもっと進めてほしいことなど)についてご自由にお書きください。

---



---



---



---



---

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて**7月26日(金)**までにお近くのポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)



協働のまちづくりに関する区民意識調査

平成 25 (2013) 年 10 月発行  
(平成 25 年 7 月実施)

豊島区政策経営部企画課

東京都豊島区東池袋 1 - 1 8 - 1  
電話 0 3 ( 3 9 8 1 ) 1 1 1 1